朝夕刊共十二頁

大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社 滿洲日報社
振替大連六〇 私書函一三五號

代表電話
編輯局 四〇〇二・四〇七三
營業局 四七六七・六三四八
廣告部 三六九五・四四九一
印刷所 四〇四八・〇四九九

支社 東京・大阪・新京・奉天

“臨時利得稅”斷行に 岡田首相同意を表明

非常時財政の强化を目標に 十年度には三千萬圓

【東京特電五日發至急報】四日午後一時卅分から開始された大藏省の最終豫算省議が終了すると同時に、續いて增稅問題に關する愼重な審議が繼續されたが、結局**非常時財政の强化を圖る意圖から臨時利得稅斷行と決定**し六時省議を終つたが、藤井藏相は直に官邸に岡田首相を訪問、省議の結果を詳細報告諒解を求むるところあり、**首相は右增稅案に對して同意を表明した、なほ取稅の名稱は臨時利得稅と稱し十年度は三千萬圓、十一年以降は四千萬圓見當**に決定を見る筈で、新稅の骨子は大體大正七年の戰時利得稅を基礎となしてゐる模樣である

【東京四日發國通至急報】岡田首相は藤井增稅案に同意を與へた新稅の名稱は臨時利得稅と稱す

【東京四日發國通至急報】臨時利得稅は十年度三千萬圓、平年度は四千萬圓見當と見積らる

首・藏相の不手際 增稅問題で暴露

焦慮する政府首腦部

【東京特電四日發】機構問題が曲りなりにも落着して小康を得て居る政局は最近明年度豫算編成、臨時議會開催などを控へ重苦しい空氣が濃厚となりつゝある、卽ち陸海軍をはじめ各省は大藏省の峻嚴な豫算查定に對し不滿の色濃く、深刻なる復活交涉が始まらんとして居るが、藤井藏相としてはまづ增稅を表明したため軍部の要求を容れる外なく、しかも增稅問題をめぐる藏相、首相の政治的行動は拙劣極まり鮮からず政府の威信を墜し現內閣輕むに足らずとして財界は動搖するなど進退兩難に陷り、更に對政黨關係においても國策審議會の設置問題が挫折して却て政友會關係を惡化せしめたのみならず政、民の聯携運動も若槻總裁の辭任問題により今後一層表面化する形勢となつたので政府は內憂外患交々至つた恰好で頗る焦慮の態に見受けらる

深刻な質問出でん

注目されるけふの閣議

【東京四日發國通】總額二十六億二千八百萬圓に及ぶ明年度豫算並に臨時議會に提出すべき災害對策豫算、在滿機構改革に伴ふ豫算等を審議決定すべき臨時豫算閣議は愈々五日午後二時から首相官邸で開かれる事となつた、當日の閣議では先づ藤井藏相より豫算編成事情を說明し、これと關聯して歳入不足六億二千四百萬圓の補塡には公債發行によるの外特別利得稅を新に設くる方針である旨開陳した後各閣僚よりは早くも數字に亘らざる前哨戰復活要求をなし、更に一部增稅案に對しても相當深刻な質問が發せられる筈、而して當日は大體以上の程度に止め、各閣僚は夫々大藏省查定案を一先づ持歸り各々事務當局と協議の上愈々六日の閣議よりは陸、海軍省を始めとし農林、內務等の各省より猛烈なる復活要求を爲すものと見られる

臨時議會召集日 本月二十六日か

けふの閣議で決定

【東京四日發國通】臨時議會召集期日は愈々五日の閣議で決定されるが大體會期は一週間で十一月二十六日召集、二十七日開院式十二月四日閉院式となる模樣である

推戴計畫

總裁に町田氏 民政幹部の腐心

【東京特電四日發】總裁問題につき民政黨幹部は五日の兩院議員と評議員の聯合會議で總裁の飜意決議をなせば、一日休憩して總裁と會見、更に聯合會を開いて飜意の望みなきを傳へ、幹部一任を求めた後直に總務會を開き若槻總裁の指名により一氣に町田商相の推戴をなすべく計畫を進めこれ以上不手際を繰返さゞる樣腐心してゐる

災害對策豫算 一億圓以內

藤井藏相の言明

【東京四日發國通】民政黨の櫻內幸雄、川崎克兩氏は四日午後二時藏相官邸に藤井藏相を訪問して民政黨の災害對策案を提示これが實現を迫つた後增稅問題に關する質問を爲したるに對し藤井藏相は臨時議會に提出する災害對策豫算は總額一億圓を超えるやうな事はない又增稅額は三、四千萬圓であつて稅種は臨時的の特別稅であると言明した

若槻、町田兩氏の直接折衝に俟つか

總裁問題で黨員の態度强硬

【東京三日發國通】民政黨の首腦部は若槻總裁の辭意を絶對的のものと認め町田商相を後任總裁に推す準備を整へんとしたところ多數の代議士は幹部の態度に不滿を抱き總裁に留任を勸告すべしと强硬に主張し町田氏亦後任總裁辭退の決意を固めたので遂に二日の議員總會及幹部會の結果五日の黨大會に代る兩院議員と評議員との聯合會を開き改めて若槻總裁の辭意を飜へさしむる强硬方針で進むことになつた、然し假令大會に代る聯合會の決議により留任を懇望しても若槻男の飜意は依然困難であり首腦部は窮地に陷り種々善後策を講じてゐるが總裁問題の解決は今後尙相當長びき黨內動搖の惧れあり事態が紛糾するに至れば若槻總裁と町田氏とが直接折衝して圓滿に打開策を講ずる以外に方法はない狀態である

留任は出來ない

若槻總裁車中談

【東京四日發國通】若槻民政黨總裁は總裁辭任問題未解決の儘四日午後福島市にて開かれる民政黨東北大會に臨む爲め四日朝上野驛發同地に向つたが車中左の如く語る

大會に代るべき所屬貴衆兩院議員と評議員の聯合會を五日に開いて私に留任するやうにとの話があつても私は事が濟んだあとであるから之に聽從することが出來ない、事柄に依つては考へ直す事も出來るが事柄に依つては考へ直すことが出來ない場合もある、私の今日の場合は色々考へた末の事であるから黨員諸君の厚い友情を充分感謝いたし乍らも考へ直す事が出來ないのである、目下大藏省で計畫してゐると謂はれる增稅內容は見てゐないから批評は出來ないが然し日本の現狀では增稅なしでは濟まされないと思ふから政府は善處する必要があらう、政民聯携に就て民政黨はまだ話を申込まれてゐない、然しこの問題に就ては民政黨は既に方針が極つてゐるから總裁の更迭とこの問題とは何等關係がない、申込まれる聯携の內容が民政黨の方針に合へばよい、合はなければそれまでゞある、同じ意味において對政府關係も同樣であらう

日滿郵便條約

近く正式締結を見ん

滿洲國交通部郵務司荒木郵務科長は遞信省當局との間に日滿郵便條約及び爲替條約締結に關する內交涉を行つてゐたが在滿機關問題も解決したので同交涉も急速に進展しこのほど兩當事者間に大綱の內定を見荒木氏は一日退京歸國の上滿洲國政府の同意を得正式決定を見る筈である

滿洲移民事業は拓務局に移管

拓務省の抱負實現

【東京四日發國通】拓務省では在滿機構の改革問題解決を契機として現地の統治並に海外移植事業指導奬勵の實狀に副ふべく現機構の根本的整備改革と機能發揮の具體的對策樹立に着手する事になつた先づ現在管理局、企畫課に於て管掌しつゝある滿洲移民の事業を拓務局に移管し拓務局をして一切の外地移民事業、拓殖事業を統轄せしめんとしてをり、兒玉拓相の試金石とも稱し得べき拓務機構並に官制改革の抱負實現成行は注目に値するものがある

渡洋作戰堅持の論據極めて薄弱

わが海軍方面で冷笑

【東京四日發國通】アメリカの進攻的渡洋作戰主義は日本の比率撤廢自主國防主義の正論と正面衝突し今次の豫備會商に一大溝渠を構成するに至つた而してアメリカは渡洋作戰の論據として東洋に於ける屬領フイリッピン防護の爲めなりと豪語してゐるが遠隔地にある屬領の保護がそれ程渡洋作戰を必要とするならば何故に英國はアメリカの西海岸にある西印度諸島の屬領保護の爲めに渡洋作戰主義を確立しないか而もイギリスはアメリカと十對十のパリテイにあり敢て不安を唱へないのに獨りアメリカのみが東洋に於ける日本の六割の軍備に脅威され軍縮精神の破壞者たる渡洋作戰主義を敢て堅持するは論據極めて薄弱であるとされアメリカの主張する處はフイリッピンの爲めの渡洋作戰に非ず渡洋作戰の爲めのフイリッピンであると我海軍方面では冷笑してゐる

英首相

我代表部招待

【ロンドン三日發國通】松平代表以下日本代表部員を招いて三日午後チエッカ別莊で行はれた英マック首相招待の午餐會は二時間に亘り行はれたが食事の後マック首相は愛孃イシユベラ孃と共に初めて來た山本代表に建物や庭園など見せて歡待し午後三時五十五分散會した、日本代表部は辭去後「けふは非公式招待で軍縮問題には觸れなかつた」と語つた

英米側對案の提示を待つ

わが所信は大體披瀝

【東京四日發國通】ロンドン海軍豫備交涉は十月二十六日の日英第二次同三十一日の日米第三次會談を以つて帝國政府代表は我軍縮案の根本原則を說明英米側よりの用語に關する質問並に右根本原則に立脚せる具體案の質問に對し概括的說明を了したので日本側は最早これ以上述べる必要もないから專ら我軍縮原則に對する英米側の對案提示を靜かに俟つ事となつた仍つて豫備交涉は今週から英米の獨自の軍縮對案の提示が期待されるに至つたので果して英國が如何なる日米折衷の具體案を示すか又帝國の態度と對蹠的立場にある米國が如何に反擊して來るか目下夫々の代表部で祕策を練つて居るから最近く行はれる日本對英米交涉は最高潮に達し來年の海軍會議の運命を決するものとして極めて注目されて居る

大連特務機關縮小に內定

機構問題の紛糾に際して臨時開設された大連の特務機關は問題の解決に伴ひ近く縮小さるゝと共に常設機關となることに內定し新組織に就いては岡村參謀副長が五日歸任の上軍司令部に於いて協議を遂げ菱刈司令官の決裁を經て決定するものと見られるが、大體奉天特務機關の出張所となり少佐級の主任者を置き奉天特務機關長は今後一ケ月のうち十日內外を大連に滯在することゝなる模樣である

郡山滿鐵理事

【奉天電話】事務視察のため二日來奉した郡山滿鐵理事は四日午前十一時二十分發列車にて五龍背に向つた

バレー氏來滿

【安東電話】日露戰爭當時フランス有力紙の從軍記者として活躍し爾來日本に來ること八回ひたすら日本の立場を世界に闡明しつゝあるフランス政治經濟雜誌の權威ビエルタン・コチヂャン紙の記者バレー氏は三度來滿約一ケ月の豫定で滿洲財政經濟の調查を爲しフランスに報告する爲め三日午前十一時過安先づ大連に直行した、乃木大將や桂公は氏の親友であつたと語りなか〳〵元氣であつた

點心

技術屋の典型 仕事が趣味

杉廣三郎氏

◇…新線がどし〳〵完了する、そのたびに國線は膨脹して行く……此の大世帶鐵路總局の技術方面の總元締……きさくな好々爺？一寸見ると映畫の齋藤達雄を思ひ出させるのが長身の次長、杉廣三郎氏である。技術家らしい訥辯ではあるが懇切な明るい應對振りは我國地下鐵の生の親であり重役さんであつた事の片鱗。

◇…氏は四十年の東大出工學士、鐵道省の計畫課長をやつただけあつて企畫方面の大家である。趣味はと問へば卽座に「無趣味」と答へる、棒（ゴルフクラブ）は持つた事もないさうだけれども將棋、碁は時間潰しに一寸といふ、撞球は學生時代からだが六十もどうかと大いに謙遜する。

◇…部下思ひで仕事の多忙な際はあたりの迷惑を考へ自宅でする程で、一も仕事、二も仕事、三も仕事で、仕事の捗るのが無性に愉快で他に趣味なしと云ふ所に杉氏の面目躍如たるものがある。

郵商の紐育船 大連で爭奪戰か

郵船那古丸下旬入港

日本郵船會社東洋―紐育急行線に配屬されるN型新造船（同ライン船はすべて船名頭文字にNが附く）那古丸（總噸數七、一四〇トン）は豫て橫濱船渠に建造中であつたがこの程進水を見、十月二十五日同會社に引渡され愈々その新姿を同航路に現すことになつた、しかして同船は橫濱出帆後まづ南洋、臺灣方面の米國向蒐荷を行ひたる後來る二十三日大連に入港し同樣滿洲特產其他米國仕向貨物を積載し紐育へ向ふことゝなつてゐるなほ同紐育急行線には現在N型長良丸、能登丸の兩船が就航してゐるが、今回の那古丸と共に近き將來において野島、能代、鳴戶丸の新造船を配し六隻就航を目指してをり、すでに野島丸は長崎造船所において去る十月二十四日進水し近く那古丸同樣就航すべく、以上の六隻完航の曉には大阪商船紐育急行線の競爭ラインとして大連においての米國向貨物は勿論、米國の滿洲向貨物の蒐荷に相當激甚な競爭が開始されるであらう

ソ聯連絡貨物運賃の値下げ

【滿洲里特電四日發】ソ聯連絡貨物運賃は一日附を以て五割の値下げを斷行した、通過旅客の運賃も十一日ごろから滿洲經由は三割五分滿鐵經由四割五分の割引實施の豫定でソ聯は早くも北鐵讓渡成立を見越して準備せるものと見られてゐる

聯盟委任統治委員會へ

伊藤公使派遣

【東京四日發國通】目下壽府に開會中の國際聯盟委任統治委員會は愈々十一月五日から一九三四年度の日本委任統治年報を審査することになつた、右委員會に於ける年報の審査は元來ならば全く事務的のものである爲め外務省でも當初は從來の慣例通り在壽府の帝國總領事館橫山正幸氏を我代表として出席せしむる方針であつたが最近に至り

一、英米側がロンドンにおける海軍々縮豫備交涉の行惱みに對する一方策として再び極東の政治問題の軍縮交涉への介入を企てつゝあるかの如き情勢が窺知される

一、昨年三月我が聯盟脫退實現に伴ひ聯盟小國側一部には我委任統治樣式へ一種の疑義を提出せんとしてゐる

等の形勢あるを觀取した廣田外相はこれを重大視し今回特に慣例を破つてポーランド駐劄公使伊藤述史氏を任地より壽府へ急派し聯盟委任統治委員會に出席萬全の策を執らしめる事になつた

孫科氏上海着

【上海四日發國通】立法院長孫科は昨日南京より上海着最近の政情につき大要左の如く語つた

中央の對西南關係に就ては蔣、汪とも胡漢民の直接談合を希望し胡漢民の北上を望んでゐるが、行掛り上胡が腰を上げることは望み得ない、五全大會が延びたのでゆつくり交涉を進める筈だ、中國新憲法草案は先程立法院の審議を終り中央に送つたが五全體國民大會の延期で憲法の公布も無期延期となつた

支那廿三年度總豫算

九億一千餘萬元

【上海特電四日發】國民政府二十三年度（本年七月一日以降明年六月卅日迄）總豫算は曩に中政會で七億七千七百餘萬圓に決し立法院に廻附中であつたがその後中政會より補充、修正を加へて九億千八百餘萬元とし主計處で總豫算書を作成して立法院の再審議に附することゝなつた、その內容は次の如し（單位元）

歳入

科目	金額
●經常收入●	
鹽稅	一九〇、三三三、八五一
關稅	三六六、四一三、七〇一
煙酒稅	一三三、一〇四、八七二
印花稅	一三、八八四、二六六
統稅	二一六、九九五、六九九
礦稅	二、七三四、九九九
交易稅	一〇〇、〇〇〇
銀行稅	二、六〇〇、〇〇〇
國有財產收入	三、九〇一、三七五
國家行政收入	二〇、九六五、〇五〇
國有事業收入	二三、二六六、二六〇
國有營業純益	八、二五九、六五七
地方收入	六、三六八、〇〇〇
其他	七、二三八、三六〇
計	七七三、四七〇、〇九一
●臨時收入●	
關稅	一六、四〇〇、四五〇
國有財產收入	一、六四三、五〇三
國有事業收入	三三九、〇一〇
行政收入	二五〇、八〇六
借款收入	五〇、〇〇〇、〇〇〇
其他	七六、〇〇七、一七四
計	一四四、六四〇、九四三
總計	九一八、一一一、〇三四

歳出

科目	金額
●經常費●	
黨務費	五、六六〇、七〇〇
國務費	一二、二九五、五八〇
軍務費	二九三、〇一四、六〇〇
內務費	四、四七七、八六九
外交費	八、六三五、八八六
財務費	六七、九四四、一三四
教育文化費	三三、四四三、一一七
司法費	一二、〇一七、五二〇
實業費	三、九三四、三九〇
交通費	四、九六七、九四二
蒙藏費	一、四三五、五一〇
建設費	一、八二三、一八〇
豫備費	四四、四四五、七三五
撫恤費	三、五六一、六六五
債務費	二二七、五三〇、一三一
第二豫備費	七、三四三、〇五五
計	七五一、六六七、一二四
●臨時費●	
黨務費	六〇、〇〇〇
國務費	四二九、七〇〇
軍務費	三九、九七六、三一〇
內務費	六一、〇〇〇
外交費	二〇一、〇〇〇
財務費	一二八、六六〇
教育文化費	一、三七六、一四八
司法費	九四六、三九〇
實業費	二〇〇、〇〇〇
交通費	一三三、八一〇
建設費	三四、一七六、八五六
國有營業支出	五〇、三二八、七七六
豫備費	三六、一三四、二〇〇
計	一六六、四四三、九一〇
總計	九一八、一一一、〇三四

于學忠居据り

【北平特電四日發】蔣介石氏は北平滯在中黃郛政權を中心として北平に於ける諸勢力の協力一致を計り黃郛氏の實力を增大して今後の對日策遂行を容易ならしめる事とした、なほ河北省主席于學忠は其のまゝ居据わる事となり人事には何等觸れなかつた

柞蠶糸加工工場設置問題

吉岡氏內地へ

【安東電話】滿洲特產の一柞蠶は大部分福井方面に輸出され加工精製の上再び滿洲へ輸入さるゝ情態に鑑み少くとも在留內地の消費に應ずるだけの柞蠶糸加工工場を安東に設け延いては安東產業發展に資すべしとする聲高かつたが、この計畫を愈々具體化すべく安東吉岡正隆氏は四日午前時十分發內地に向つた、計畫としては五百萬圓の資本を內地資本より募つて相當大規模なものならうとするのでその成行は內地蠶糸工業とのデリケートな關係ある事とて注目されてゐる

臧民政部大臣

【奉天電話】滯奉中の民政部大臣臧式毅氏は四日午後一時五十分發あじあで歸京した

堀切氏新京へ

【ハルビン四日發國通】滯哈中の貴族院議員堀切善次郎氏は四日午前九時分飛行機にて新京に向つた

村田本社長

村田本社長は四日新京に於ける上久米太郎氏表彰式主宰の後、地一泊、五日新京出發、秋山販賣部長を帶同して全滿各地駐屯の軍部隊慰問の途に上り約二週間歸社の豫定である

人事

▲岡村寧次氏（關東軍參謀副長）五日あじあにて大連發新京行豫定
▲秋田豐作氏（鐵路總局機務處轉課長）四日午後四時五十分列車にて北上
▲三宅亮三郎氏 同六時三十分列車にて來連
▲武井外一氏（鐵路總局技師）十時三十分着列車にて來連
▲八田厚志氏（鐵路總局囑託）上遼東ホテルへ
▲塚原傳太郎氏（東京自動車會社支配人）同六時三十分着車にて來連同上
▲里見甫氏（國通主幹）ヤマトホテルへ
▲鶴見憲氏（新京日本大使館）同上

松本孃から本社長へ 遞、拓兩相のメッセージ

昨日新京支社を訪れて手交

【新京電話】うら若い女性として最初の皇軍慰問並に日滿親善の重大なる使命を帶びて愛機白菊號を操縦し東京、新京間二千三百キロ翔破の壯擧を見事に完成し四日午前十時四十分國都新京に到着した松本きく子孃は一先づ大和新館に落付き旅裝を解き少憩の後午後二時山口飛行士、佐藤機關士と共に本社新京支社を訪問し義人村上氏表彰式に參列のため來京中の村田本社長に對し携行せる床次遞相、岡田前拓相の兩氏より村田社長へのメッセージを手交した、なほ五日は日滿各機關を歴訪し岡田首相より林國務總理へ、貴衆兩院議長より菱刈軍司令官へ、廣田外相より謝外交部大臣へ、其他携行せるメッセージを手交する筈である

拓相のメッセージ

松本きく子孃の日滿親善駐滿皇軍慰問の爲日本女性飛行家として最初の壯圖たる訪滿飛行の決行は日滿兩國民の親善緊密の關係を一層躍進せしむべきを信じ切に其の成功を期待しつゝあり此の機會において滿洲日報社の發展を祝す

昭和九年十月
拓務大臣 岡田啓介
滿洲日報社長村田愨麿殿

遞相のメッセージ

日滿親善並に在滿皇軍慰問の爲松本きく子孃に依つて決行せられまする東京新京間二千三百粁の鵬程翔破の壯擧は日本女性としての意義ある處女航空でありまして之により日滿兩國の親善を一層深め更に在滿皇軍慰問の使命を全うすべきを信じ洵に慶祝に堪へませぬ茲に謹んで貴社の隆盛を祈ると共に貴紙を通じ滿洲國民並に在滿同胞に對し衷心より敬意を表する次第であります

昭和九年十月
遞信大臣 床次竹二郎
滿洲日報社々長村田愨麿殿

訪滿女鳥人第二陣 馬淵孃奉天に着く

花束を受け歡迎宴で祝盃を擧ぐ

【奉天電話】白菊號の訪滿に次いで第二陣を承る馬淵てふ子孃のサルムソン機は四日午前八時半京城を出發、途中平壤上空に於いて機關に故障を生じて不時着直に新義州に向ひ、午後二時出發一路奉天に向ひ同四時奉天上空に銀翼を現し秘冬の夕陽を浴びながら巧な旋廻飛行によつて市內上空より在奉各新聞社宛てのメッセージを入れた通信筒を投下したる後多數觀衆の出迎へ裡に東飛行場に着陸した 女性の身で單身操縦、此の壯圖を遂に完成した馬淵孃は、心持ち陽燒けした顏に喜びを漂はせながら訪滿の第一歩を印し、日滿各團體よりの花束を受けて歡迎宴に臨み祝盃を擧げた

問題にならぬ

(米國)
6マクネアー 4ゲリンジヤー 7ルース 3ゲーリック 5フオックス 8アヴアリル 9ミラー 2バーグ 1ホワイト

東京	000	010	000	1
米國	231	240	23A	17A

【東京特電四日發】アメリカの世界最強野球チームと東京倶樂部の第一回戰は四日午後二時から神宮球場で開始されたが何分ルース、フオックス、ゲーリック三本壘打王を始めアメリカ強打者揃ひなので、フリーバッテング三十分間にアメリカから持つて來たボール三打を見物席に打ち込み本壘打の連續だ、ファンの偶像ルースの人氣は大したものでグローブより顏の方が大きく、ボールも二つ位グローブの中に隱れ日本選手が彼のバットを借りて打つても身體がきかないし、日本のルース宮武だけは彼のバットで左翼見物席にホームランを打ち込んだ

旅順高公覇を握る

全滿中等ア式蹴球戰

滿鐵蹴球部及び本社主催の第三回全滿中等學校蹴球大會第二日たる旅順高等公學校對大連商業優勝戰は四日午後一時より大連運動場に於て綱顚(主審)世古、李慶義(線審)三氏審判、旅順高公先蹴で開始、大商敢戰せるも旅順高公の攻撃鋭く八對〇で大商惨敗した、右試合終了後米野本社編輯局長より優勝チーム旅順高公に優勝盃及び本社牌を、又大商に本社牌をそれ〴〵授與し午後三時半閉會した

(前半)
高公 0 1 2 1 0 1 2 7
大商 0 0 0 0 0 0 0 0
(後半)
高公 1 0 0 0 1 0 2 4
大商 0 0 0 0 0 0 0 0
合計 0—11
(五分毎の得點)

經過 ◇前半…高公トスに勝ち風上(プール側)に陣し大商サックオフ高公直ちに攻入りゴール前に殺到するもシュートきまらず五分右より攻入り得點するかと見えたが成らず漸く六分高公潭のシュートきまつて先取▼十分またも高公孫右よりのシュートあるもGK好守更に十一分潭のシュート成る▼續いて十四分高公右より攻入り中央にパス大商GKはじくを潭さび込んで得點を増す▼更に二十分には孫のシュート二十九分には吳のロングシュート、三十一分には陳、三十二分には孫のシュートそれ〴〵成り7—0で前半を終る

◇後半…大商風上を利して盛んに攻入るも高公の守り堅く四分高公入り孫のシュートGKをはずすを菅原ミスキックしてゴール入▼爾後大商攻入らんとするも高公FBの好守にはばまれ返つて二十二分高公左より攻入り李のシュート成つて益々得點を大きくす▼最後の攻撃戰に入る三十三分高公吳より孫に渡つて孫、又三十四分には左より攻入り孫のシュートそれぞれ成る、11對0のワンサイド・ゲームで終る(寫眞は優勝戰と優勝チーム旅順高公)

(高公) (大商)
GK (2) (32)
FK (6) (2)
CK (14) (0)

17A1 日米野球戰 東倶慘敗す

【東京四日發國通】日米大野球戰第一日は薄曇りの四日午後零時二十分先づ歷史的な入場式を行ひ、それより兩軍の守備練習があつて後一時五十五分、大隈侯の始球式があり、かくて一時五十八分全スタンドを埋める六萬餘の觀衆は熱狂裡に東京倶樂部先攻でクリーク(球)池田、天知(壘)三氏審判の下に此の豪華野球戰の火蓋は切られ豫想外の開きを見せ、結局十七A對一で米國軍勝つ、試合三時五十四分、兩軍のメンバー、スコアー左の如し

南京で防空演習

上海戰の經驗に鑑み

【上海特電四日發】國民政府軍事委員會では北上中の蔣介石氏の歸京を待つて南京で大規模の防空演習を續行することに決定した、國民政府が上海事變の經驗及び最近の列國軍備の趨勢に鑑み、歐米各國より航空機の大量購入をなす一方、國民間に航空、防空思想の普及に專念し所謂「航空救國」に大童となつてゐることは周知の事實であるが、防空演習はこれが最初でその成績は中國航空兵力のバロメーターとも見られ各方面から注目されてゐる 演習指揮官に任命された陸軍大學校長兼長江要塞司令楊杰氏は日本陸大を優秀な成績で卒業し最近歐米各國の軍備特に防空施設の實情を視察して來た近代的戰術家で目下準備を急いでゐるが南京の成績を見た上で杭州、南昌等においてもこれを行ふ豫定である

財政經濟の轉機 増税案打診(上)

衝撃甚大なる一投石

◇遂に岡田首相が、齋藤前內閣の政策を踏襲するといふ單純なる意味において、明年度は増税せぬと言明したのは財政經濟に素人である首相のことだから、單にさう思つた所を語つたまでゝ、今日増税實現の決定を見たからといつて二枚舌を咎める譯にも行かぬが、兎に角首相の否認を裏切つて、増税案が急に飛び出す事になつた。而して初めから増税論者である藤井藏相が、今日此の決意をしたことは、敢て驚くには當らぬが、相談を受けた後ろ楯の高橋前藏相がこれに應諾したことは多少意外の感がある。産業振興を唯一無二の經濟政策とし、事業界のインフレを促進することに努力して來た増税尙早論者の高橋老としては、藤井藏相に全幅の信頼を繋いでゐるとはいへ、今迄行つて來た所謂高橋財政を變更し財政上の一轉機を劃する増税であるから、例の財界講義の一くさりは必ずあるものと思つてゐたら案に相違して、已むを得ざれば増税不可なしとの意見で槪ね賛成だといふから、臨機應變の妙策に富む高橋老は又別に良い考へでもあるのだらうと心窃に望みを繋ぐ人もあるやうだ。

◇増税は明確に國民の負擔を増すことである。幾ら特別利得税と銘打つて、軍需工業のインフレを重心とし、非常時利得を税源に狙つても、亦その利得の減ずる時の廢税を約束しても、必要の財源として一旦賦課されたものが容易に廢減を見ないことは、過去の事例が明示してゐるところである。又此の特殊税源への課税が凡ゆる方法を以て、大衆化されると同時に恒久化さるゝ事象も、多くの場合免れ難き所である。隨つて今回の増税も各界に影響甚大なる一投石として、幾多の衝撃を政界財界等々に與へることは明かだ。特に注目すべきは、尨大軍事費豫算を鞭減する最後の切札として、恰も取つて置きの形であつた増税を今日の機會に實現することは、財政と軍事との關係に重要なる轉機を劃することが看取される。殊に八億に達せんとする滿洲事件費と兵器資材の改善を主とする陸軍の充實費及び海軍の補充計畫に要する軍事費が全豫算の四割三分を占むる狀態に於て、之を赤字公債で支辨してゐる間は直接國民の負擔として痛感されずに濟んだが一度増税となると、軍事費と國民負擔の直接的關係に就て痛切なる影響が考へられることになる。

◇だから軍部は軍事費の査定に當り、其の削減額を復活し補填する財源として非常時利得だけを目標とする増税を強調し、大衆的負擔を回避する趣旨を明かにしてゐるのであるが、右の如く課税の轉嫁は先づ業界が其の勞銀に無關心ではない筈で、失業豫備群を有せる時打算的の節約が賃銀低下に動向することは餘りに明白だ。又生産と消費との複雜なる交錯を巧に利用する資本家階級の離れ技が、結局國民大衆への負擔に移行する方法も考へられるであらう。殊に今回の増税をトップとして、全面的増税が行はるゝ機運を見逃してはならぬ。卽ち斯かる増税の波動を現在の税制を基準として考へる時は、赤字公債を解消して、財政を常態に恢復する至當の理論の下に、今迄の赤字公債の負擔——少くとも差當りて其の利子——と今後も赤字公債に依る程度のものとを併せて逐次國民負擔の増加に動向することは殆ど疑ひを容れない。固より國防費を國民全體が負擔することは當然ではあるが、以上の觀點において四割以上の軍事費が増税を促すといふ事實は、否認することが出來ない。

◇今回の増税決定も軍事費支辨のために、軍部の强硬な要望を基調とするものであるが、それが軍部の要望するが如く非常時利得のみに局限されるならば、軍事費に依りて特殊利得を有する軍需工業を中心として、法人も個人も當然甘受すべき至當の負擔で、何人も異議ない所である。併し今迄は業界を委縮させるものとして、荒木前陸相の熱心なる提唱にも拘らず高橋財政の容るゝ所とならずして今日に至つた。然らば今日は最早業界に何等の懸念なくこれを行ひ得る時機に達したかといふに、それは人に依りて所見を異にし、殊に全面的増税を促進する前提として、證券界の悲觀的考察を初め、インフレ景氣も段落だとして、一種の失望を以て迎へてゐる者もあるが、金融界も事業界も大所では敢て反對してゐない。寧ろ此の上やつたら惡性のインフレとなるといふ警戒から、増税に贊成してゐる者もあるので、財政上の要求と共に財界も亦至當の結論?として迎へてゐる。此の消息が果して何を語るか頗る興味がある。(東京YH生)

狡い保險會社

◇僕の友人である電々會社新京勤務員某氏は、勸められるまゝに他の同僚と共に○○保險に加入を申込み、體格檢査もパスし、保險料もその社員に支拂ひ、一兩日中には本證劵が送付されようとする間際に、不幸感電して卽死した。

◇よつて遺族は○○生命に對して保險金の支拂方を申出たところ會社側は意外にも保險料の領收證は單なる預り證に過ぎず、本證劵は交付してないとの理由で保險金の支拂を拒絕してゐる。

◇ところが、同時に加入した他の二人の同僚に對しては、會社は事件直後に本證劵を屆けて居りこれで見ると會社が咄嗟の間に如何に陰險な手段を弄したかが判るわけで、これを聞いて切齒扼腕せぬ者はない。

◇聞けば○○保險は第一回の保險料は殊更に預り證として置いて責任を回避してゐるとの事だ、保險はその名のごとく人生の危險を保證するもので、さればこそ世人は如何なる犧牲を忍んでもこれに加入するのだ、それを加入者の無知に乘じて加入者のために不利な解釋をして恬然たるごときは、法律上の責任は第二として保險事業そのものゝ使命を自ら輕んずるものではないか、保險會社の反省を促すと共に保險に新に加入せんとする人にも、かゝるトリックにかゝらぬやう警告したい。(電々會社 草木生)

臨時競馬

三日目成績

▲第一(秋抽八頭)二千1一八(保利)二分五一秒四2快風3康勝、單六、〇、複1四、八2五、九3六、六
▲第二(新古呼七頭)千六百1白泉(石田)二分三秒四2長輝3三鳳、單八、〇複1六、三2九四
▲第三(秋抽五頭)千六百1千兩(岡野)二分二一秒一2淀3潮單二三、四複1六、七2五、三
▲第四(各抽七頭)二千1亞細亞(奥田)二分四七秒二2瑞陽3陽炎、單六、三複1五、九2二二、七
▲第五(各抽古馬八頭)千六百1快走(堤)二分八秒一2拳天富士3高砂、單一〇、〇複1六、〇2六、二3一、五
▲第六(各抽古馬)千八百1豐富(門)二分二九秒一2丹玉3譽單六、〇複1五、三2七五3八二
▲第七(秋抽十頭)千四百1太郞(山下)二分四秒2若狹3千歲單七、四複1五、三2五、六3一一、二
▲第八甲(各抽古馬)千六百1宇治(石田)二分九秒2淡月3丹陽、單七、〇複1四、九2五、三3六、六
▲第八乙(各抽九頭)千六百1小車(川原)二分一〇秒二2光3愛飛、單一五、〇複1七、〇2一〇、四3八、七
▲第九(秋抽九頭)千四百1草上飛(横山)二分四秒2有明3美扇、單一一、六複1六、二2九、五3九、四
▲第十(各抽古馬十頭)千八百1丹生(山下)二分二九秒三2一姫3麒麟、單七、〇複1八、二2七、六3二二、九
▲第十一(各抽十三頭)千八百1常盤(保利)二分三〇秒一2播磨3石光、單一五、六複1五、五2五、〇3五、九
▲第十二(各抽六頭)二千1一走(長友)二分四八秒三2弘濟3南海、單一五、五複1六、五2五、九

清朝實錄の出版

ラマ廟をも修繕 日滿文化協會の準備

【東京特電四日發】滿洲國と支那に一揃宛保存されてゐる清朝實錄は清の太祖から穆宗に至る三百年間の實際的政治の機密文書で未だ公開されたことがないが、昨年十月組織された日滿文化委員會では十二月より滿洲國皇帝御秘藏の七百五十八帙、三千八百一冊を經費二十三萬圓、二年計畫で出版することになつた、完成の上は東洋研究に新材料を提供し滿洲國教化に貢するところ大なるべく期待されてゐる、また同委員會古建築保護修繕は先づ熱河の八大喇嘛廟と離宮から始むべく、既に伊東忠太博士が工務所を建設したが來年の六日迄を調査期間とし七月より着工する筈、右につきさき頃渡滿した水野梅曉氏は語る

熱河の喇嘛廟は八廟の一つ一つが山嶺を中心として一大市街を創つた素晴らしいもので、世界的な大美術だ、二十日過ぎ再び渡滿して滿洲國文化のため盡したい

天理教移民團

あめりかで出發

【神戸四日發國通】ハルビンの東北約六里の地點を中心に約一千町歩を開拓宗教天國を建設する天理教第一回移民團々長深谷德郎氏以下四十三家族、二百十一名の一行は何れも天理村と染め抜いた紺の法被姿に更生の意氣高く歡艦あめりか丸に乘込み、數千の見送人の歡呼と旗の波に送られて正午[illegible]大連に向け鹿島立つた、同移住團は青森、福島、秋田の東北地方出身者を始め全國より網羅された大工、左官、理髮師等各方面の熟練者を集めてゐる

連鎖商店創立

連鎖商店では合資會社としての改組創立總會を三日午後一時より開催、定款、株の申込みその他を決定していよ〳〵更生のスタートを切つた

奉天金組竣工

【奉天電話】今春來平安通り四番地に起工中の奉天金融組合新事務所は昨今漸く竣工したので、同組合ではこの三、四の二日續き休日を利用し現在の春日町事務所より引越を行つたが、これに伴ひ來る十一日午後三時より臨時總會を開催し、事務所移轉に伴ふ定款一部改正を附議する筈

實業相撲選士

來る十、十一兩日大阪堺大濱に於て擧行される大毎主催の全國中等學校相撲大會に滿洲代表として出場する大連實業學校相撲部金主將以下四選士は同校北村教諭に引率され三日出帆のうらる丸で多數校友の見送りを受けて遠征の途に就いた

明治の佳節奉天で全滿在鄕軍人大會

宣言決議で非常時意識高調

軍縮代表へ激勵電

【奉天】明治節の佳き日をトして全滿在鄕軍人大會が午後二時四十分より、奉天驛前地藏島小學校講堂に於て左の如く開催された

一、開會の辭（村瀬中將）
二、會長推薦（谷田中將に決定）
三、經過報告
四、各地代表意見發表
五、祝辭祝電
六、宣言決議
七、起草委員選擧
八、宣言決議議決並に處置
九、閉會の辭（座長谷田中將）
一〇、萬歲
一一、閉會

村瀨中將の開會の辭に大會の幕は切つて落され、醫大の講師十川彌一氏の進行係でプログラムは順を追うて展開され各地代表の憂國の熱辯あり、續いて決議文起草委員は座長推薦により山本（安東）井上（蘇家屯）樋口（營口）加藤（撫順）村田、林、加藤、奧島、服部（奉天）二十分休憩の諸氏が指名され、二十分休憩の間に決議文作成、谷田座長朗讀發表するや滿場一致可決、なほ軍縮代表への激勵電文をも可決、谷田中將の閉會の辭ありて後、木下大佐の發聲により萬歲三唱、大喝采裡に會神に宵闇迫る午後四時ごろ終了した、因に同大會の出席者は村瀨中將、谷田中將を始め山ノ內、大屋敷、水町少將外地方代表二十三名、講堂は當地有志で滿たされてゐた、尚閉會後一同は忠靈塔に參拜後午後六時より鹿鳴春において懇親會が開催された

宣言

今や皇國の鴻業は愈々その步武を進め東洋平和の礎石益々堅きを加へんとするの秋に方り、內外の情勢は極めて多岐多難にして特に虎視眈々たる隣邦の策動並に軍縮會議の動向は東洋平和の確立を阻害せんとする、茲に吾人は滿天下に要望す、宜しく日滿兩國興廢の岐路に直面せる擧國一致翕然として蹶起し國策遂行に邁進以て聖業を翼賛せんことを

決議

一、吾人鄕軍は其本分に鑑み國難突破の先驅者たらんことを期す
二、滿洲國の現狀に對し內外の認識を是正し國論の統一を期す
三、滿洲新機構に關する政府案の速かなる實現と本問題を政爭の具に供せんとする策動の絕滅を期す
四、海軍軍縮に關する帝國案の徹底的貫徹を支持し國防自主權の確保を期す

皇紀二千五百九十四年明治佳節に際し於奉天

全滿在鄕軍人有志大會

軍縮代表激勵文

在滿在鄕軍人は各位の御健鬪を感謝し我主張の貫徹を期待す

惱む鞍山體育協會

改組して存續

體協の下に三團體組織

【鞍山】維持負擔其他の關係から更生か解消かとかれて問題となつてゐた鞍山體育協會の善後策については其の後地方事務所、製鋼所及市中側各當事者間において夫々研究中であつたが、ウインタースポーツの季節を控へてこの際早急解決の必要ありとし、二日午後二時前記三團體より代表委員各數名出席の上協議を遂げたが、その結果市民の體育はやはり全市民一致これに當るべきものとして體育協會の更生改善をはかることに一致その方法としては從來全部を體協にて統制實施し來つたものを分つて二種類として柔道、劍道大弓は體協直裁すること、野球庭球、スポンヂ、排球、スケート、角力等は三團體別に維持經營することに一決、九日更に總會を開いて正式に決定することを申合せて散會

依つて今後の鞍山體育界は滿鐵製鋼所市中の三團體が體協の統制下に對立的に發展向上することゝなつたわけで、屢々對抗試合も演ぜられ他都市對抗の場合等も三團體リーグ戰を行つて優勝者を鞍山代表として派遣する由であるが、市民運動會は特別制度に依つて盛大に擧行すると

大谷光暢師

撫順を視察

表忠碑、殉職者碑に參拜

【撫順】來滿中の大谷光暢師同裏方は既報の如く二日奉天北陵參拜後午前十一時二十分奉撫國道を自動車で來撫、表忠碑前に出迎への在撫有力者に挨拶をなしそれより表忠碑、炭礦殉職社員碑に參拜して午後二時本願寺に到り一般信徒に親教、同二時裏方の親話あり終つて盛大な歸敬式を行ひ炭礦ホテルに向つたが、一泊の上三日は午前七時ホテル發炭礦各所を見學同九時本願寺發再び自動車で奉撫國道を經て奉天より天津方面視察に向ふ豫定

鞍山郵便局集配時刻

【鞍山】ダイヤ改正に伴ひ郵便局の集配時刻は一日から左の通り改正實施された

△郵便函開函　一日三回午前七時二十分大連方面、午後五時三十分內地朝鮮新京撫順方面、同九時各地（但し午前七時三十分の一號便は醫院前、大正通、上臺町、守備隊前は開函せず）

△配達　通常郵便物は一日二回午前八時、午後一時、鐵西は一回小包は午後一時一回

七人組滿人强盜の殘黨悉く逮捕

三日の佳節・奉天署に凱歌揚る

【奉天】一日吹雪の宵、奉天宇治町十六番地不二商會佐久間方を襲つた七人組滿人强盜の首魁朱華喜（二七）は自己の拳銃に傷き逮捕され二日留置場內で死亡したが、殘る一味逮捕のため奉天署にては鋭意探査の結果二日午後に至り所在を突き止め、三日午前四時拂曉を期して三浦司法主任、松尾次席以下全刑事隊は本署に集合し自動車三臺に分乘、北市場、大東邊門、魔軍屯の三方面に分れ出動し、それ〴〵寢所に寢込を襲ひ朝の靜寂を破る大亂鬪の末午前八時に至り犯人六名を逮捕、モーゼル一挺彈丸十數發を沒收し近來稀に見る大捕物陣で、三日佳節の輝かしい陽光を浴びて凱歌を揚げ歸署したが

犯人は

山東省博平縣生れ奉天保安堡七條胡同　洋車夫　史長江（三三）
山東省博平縣生れ同上　洋車夫　王文昌（三二）
山東省淄陽縣生れ奉天北市場守前里　洋車夫　柴運寶（三七）
山東省博平縣生れ奉天大東邊門外　洋車夫　郎恒有（二二）
山東省善縣生れ奉天魔軍屯大倉組工事現場　苦力　郭庚文（二五）
山東省善縣生れ同上　苦力　張桂江（三六）

の六名で、取調の結果今回の宇治町不二商會事件の他若松町木塚木局殺人事件、白菊町競馬場事件、柳町滿人雜貨商事件、宇治町第二中川事件等を行つた兇惡なる强盜團の一味であることが判明したが、立川署長は本捕物に際して機構問題直後であり亦明治節に當つて斯くも機敏にこの大捕物を敢行した署員に對して慰勞のため金一封を送り表彰したが、司法係では以上の犯行を追究するため目下鋭意犯跡調査中である（寫眞は捕はれた一味）

全滿中等學校辯論大會

非常な盛況

【奉天】滿洲醫大主催全滿中等學校辯論大會は三日午後一時より春日小學校講堂で開かれたが、非常時を反映した若人の純眞な獅子吼に講堂を埋め盡した約五百の聽衆を陶醉させ、午後四時過ぎ盛大裡に散會した、入賞者並に選外入選者次の通りである

一等（醫大學長カップ）「親和」奉天商業　福岡次夫
二等（醫大豫科主事カップ）「新日本建設に於ける青年の自覺」育成　鳴神次雄
三等（辯論部長カップ）「我等は日本人」奉天中學　堀江一夫
選外
「自己批判」南滿中學堂　徐日發
「世界歷史上に於ける日本の地位」撫順中學　織田富夫
「巨火を點して」育成中學　外山立也

開原院內在貨

【開原】當地院內在貨の十月下旬における數量次の如し（單位石）

品目	數量
大豆	二三、七九〇
高粱	三、五六〇
包米	二六〇
粟	一、一二〇
其の他雜穀種子	二、一八〇
籾	九、〇八〇
精米及玄米	六四〇
合計	三〇、六三〇

藝酌婦の花代誤算を許さず

奉天署の不良征伐策

【奉天】奉天署保安係ではかつての龍の家問題、又最近城東區に於ての抱妓の待遇問題等樓主と抱妓その間に感心出來ぬ問題が起るので、管內に於ける各料理店の內情調査を行ふべく內偵中であるが、月末に於ける藝酌婦の花代計算に於いても屢々計算違ひを生ずる店には單に誤算とせず、帳場にはしつかりした者をおかしめ抱妓の不安を一掃せしめる方針であると右に就き保安係では語る

その中には抱妓二十人中十人迄計算違ひの者があり、それが單に今月だけと云ふのでなく每月繰返してゐる店には斷乎として處分する方針であるが今の所無許可賴母子の調査をしてゐるのでこれが一段落を見て不良料理店主の處分をする方針であるが中には相當惡辣な手段で抱妓から搾取してゐるのもある樣だ

匪首郭新會

惡運盡き捕はる

復縣警務局の活動

【瓦房店】復縣警務局では去る三十一日交戰一時間匪首郭新會（三七）に三彈を浴せかけて遂に生捕にした、郭は滿洲國成立前に於て既に匪賊と化し、部下十數名と共に原籍地たる復縣第四區大房身（瓦房店より七十二支里西方）四區、五區を中心に各地の村公署を襲擊して銃器を掠奪或ひは富豪を襲うて人質を拉致、身代金を强要、放火射殺等あらゆる兇暴を逞しうし治安を攪亂しつゝあつた大匪不敵の頭目であるが、復縣警察隊の追擊急なるため莊河縣に逃れ一時行方を晦ましてゐたが本年九月上旬又復舊城附近に舞戾り神出鬼沒衰農を荒し廻つた稀代の首魁である、警務局では本部を舊城警察署に移し、搜查隊數班を編成し保甲團員千六百餘名も協力、不眠不休寢食を忘れて搜查に腐心してゐたが被害者は後難を恐れて屆出をなさず亦匪賊の立ち廻り先を知りながら報告せざる事實判明せるを以て匪賊の行動を報告せざる者は嚴然處分する布告を發し、潛行搜查中十月三十一日午前十時頃第五區管內王家屯東方高地の廟に潛伏してゐる報告に接した、此の報告により警務局は俄然色めき有山警佐岡本、益原、高橋の各指導及警察隊員二十餘名、トラックに分乘時を移さず急行騎馬隊と共に王家屯廟高地を包圍し一時間半交戰の結果、匪首郭新會は身に三彈を負ひ步行出來ず這ひながら山を下る處を生捕にした、この戰鬪に勇敢にも賊軍に接近し頭目に重傷を負はした殊勳は姚啓堂、申坤榮の兩警士である、岡本取調官に對し犯行の全部をスラ〳〵と自供し死刑は覺悟だが、今一度妻子に會はしてくれと願出た、係官も如何に獰猛の匪首でも罪を憎んで人を憎まず妻子の憐に變りなく面會を許してやると云へば淚を流して喜んだと云ふ、是れで縣內は全く安全鄕となつた譯である（寫眞は匪首郭新會と逮捕の殊勳者）

銀紙運動

集つた、集つた袋に山盛り三杯

鞍山料理店組合の紅裙連や健兒團の大童な活動

【鞍山】本紙の銀紙愛國運動は全滿各地で多大の後援を受けたが、殊に當地では創立直後の鞍山健兒團により率先各要所に「要らない銀紙をお國の爲につくしませう」の投入函を設置して大小市民の愛國心に訴へたところから俄然全市民の絕大なる後援を受け、學校を始めとして官衙、會社、商店からカフエー、料理屋に至るまであらゆる方面に本紙報國が實行されて蒐集實績は素よりその精神的効果は實に偉大なるものがあつた、本社では十月末を以て第一回の蒐集銀紙を大連の本社に集めることゝなつたので支局では關係方面に右通知の上目下發送準備中であるが、鞍山健兒團では本日早速各投入函の銀紙を集めて逸早く支局へ持參されたが又柳町料理店組合では藝妓一同によつて集められ、僅かの期間中に集まつた銀紙はメリケン袋大の袋に三杯、目方にして三貫餘匁恐らく幾萬枚に達する銀紙であらうなほ支局では第一回分として卽日列車便にて大連に發送したが未發送者は至急支局まで持參されたい

煖房具の檢査

【奉天】嚴寒に向ふ折柄例年ストーヴの失火による火災の損害は莫大な額に上るので、事前にそなへて奉天署に於ては過般來附屬地內に於ける一萬六百七十五戶のストーヴの一齊檢査を行つたが、現在のところでは危險の注意を受けたもの

▲煙突九一五▲ストーヴ六一二
▲煙突一八六▲ストーヴ二三六
取付け箇所の變更を命じたるもの

計一千八百九十九戶であつたが現在ストーヴの取付けをなさゞる家屋もあり、引續き檢査を行ふ筈である

滿人の極樂境八日に開業

六、七兩日披露映畫會

【鞍山】既報鞍山鐵西滿人市街唯一の娛樂場として開館を急いでゐた鞍山劇場株式會社の滿人向映畫常設世界館は今回愈々工事竣工其筋の使用認可を受くるに至つたので同館では、六、七兩日に亙り新設館披露映畫會を開催、日滿各方面の有志數百名を招待その前途を祝福するとゝもに八日より早速一般公開することゝなつたが、工費だけでも二萬五千圓を投じて新設された近代的映畫館として早くも製鋼所滿人從事員乃至は鐵西市街並附近部落滿人間に異常の人氣を呼び開館を待たれてゐる

瓦房店の奉祝

【瓦房店】明治節の式典は三日午前十時より瓦房店小學校において擧行、定刻官民百五十餘名正裝禮服に威儀を正して參列、式場は秋を彩る白菊の花を兩側に飾り拭き淸められた講堂に一同着席、雪本校長靜かに恐懼して御眞影開帳一同敬禮、君ケ代合唱次に雪本校長「夏の夜も寢覺めがちにて明しける世の爲思ふ事多くして」と御製を讀みあげ御治世を述べて大帝の御偉德を偲び國是の遂行に努力せねばならぬと悔告唱歌も高らかに十一時修了した

營口の明治節

【營口】爽凉たる晚秋の十一月三日は明治大帝の御偉德を偲び奉り萬民一齊に記念すべき佳き日で營口にては朝來昨日迄の寒さも何所へやら紺碧を流した樣な空に一點の雲もなく小春日和の暖かさに加へて風もなく恰も無風の狀態で鷄の曉を告げる聲も和やかに明治節奉祝に相應しい日であつた、午前九時から同四十分迄營口領事館で拜賀式擧行官民の往來織るが如く引續いて同十時より營口小學校にては同校庭にて國旗揭揚式に次いで講堂に於て擧式十一時より營口神社にて福島神職始め氏子總代に依つて嚴肅に祭典執行、正午より小學校講堂で官民の奉祝宴を催した定刻となるや高橋庶務係長開會を宣し一同國歌を合唱、武田地方事務所長の祝辭に次いで營口憲兵分隊長大畑大尉の發聲で天皇陛下萬歲を三唱、宴に移り次いで松本地方委員の音頭にて大日本帝國萬歲を三唱、官民和氣靄々の裡に散會午後零時四十五分であつた

開原の明治節

【開原】當地における明治節佳節は淸澄なる天候に惠まれ午前十時開原神社において在住官民多數參拜裡に明治節祭を嚴かに執行、十一時半より公會堂にて祝賀宴あつて大帝の御偉德と大御代を偲び奉つた、此の日開原小學校にては去る十月三十日の教育勅語奉戴記念日を卜して五年生以上の生徒の謹書になる教育勅語を奉納するところあつた

邦人質屋の贓品を沒收

【奉天】滿洲國警察官が城外の日本人質店に於て質店取締令を濫用して贓品を沒收した事件があつた小西邊門外木原市郎が小東關大街に永成當（質店）を經營してなりその店に第二區警察署員某が先月二十九日午後一時ごろ來て「贓品を出せ！出さねば三百圓の罰金に處す」と言明したので滿人店員劉は警察官の言ふがまゝ十六圓五十錢で入質した品物を渡し劉は早速この旨店主木原に報告したところ未だ治外法權撤廢されざる今日滿洲國警官の指圖を受ける道筋でないと二日午前十時領警に屆出て來たので、領警では早速事實調査すべく目下瀋陽警察廳に問合せ中

會と催し

◇鞍山附屬地外滿人無料施療　遼陽赤十字支部が九日劉二堡、十日唐馬寨、十一日八卦溝
◇熊岳城小學校開校記念式　十一月一日同校にて
◇飯島曹長慰靈祭　五日午後二時より湯崗子驛西側山頂の記念碑前にて
◇南滿瓦斯鞍山支店移轉　かねて北四條八に事務所新築中のところ今般竣工を見たので三日同所に移轉
◇鞍山圖書館浮世繪展　四日から六日まで每日午前九時より午後八時迄公開
◇鞍山滿電慰安映畫會　需要家慰安のため四、五兩日富士校講堂
◇鞍山署射擊會　降雨のため延期中のところ五日午前八時より石家峪射擊場にて

各地人事

▲鄭山滿鐵理事　七日午前八時四十七分着列車で來安、同日午後七時卅五分離安湯崗子一泊豫定
▲田村主計大尉（佐鎭航空隊主計長）八日午前八時出發赴任
▲井之上遼陽警察署長　二日警察署長會議出席の爲め奉天往復
▲多田晃氏（滿鐵地方課長）同上
▲鹿野豐氏（大石橋滿鐵病院內科醫員）安東病院に轉勤三日午後八時半第一七列車にて離石す

日本棋院大手合戰譜（十九局）

先　三段　宮下秀洋
　　初段　松浦勝治

制限時間各七時間（但し一分以內は切捨）

●一四一ろ十三（5分）　○一四二ぬ十二　●一四三を十二　○一四四ち十四（1分）
●一四五ち十五　○一四六ち十三　●一四七さ十五　○一四八さ十三
●一四九り十八　○一五〇ぬ十九　●一五一ほ十四　○一五二ほ七（2分）
●一五三へ八（1分）　○一五四ろ五　●一五五は五（1分）　○一五六り七（13分）
●一五七ぬ七（5分）　○一五八ぬ八（2分）　●一五九ぬ六（4分）　○一六〇り八（1分）

—【8】—

對局者の言葉

所要時間累計（白五時五十三分）（黑六時廿四分）

（黑）百四十一、百四十三でホツとしました（白）百四十四以下百四十八まで先手なので打つて了つたのですが（白）百五十二は白五十四のツケから打つのが手順でしたが一實は黑百五十三と此方から出られるのをうつかりしてゐました（白）百五十六で百五十八位からでは間に合ひさうもありません

戰の跡

◇黑百四十三で漸く安心したものゝ、白百四十四以下百四十八まで先手で此地を滅茶々々にされた上、五十一以下の三子の取りが殘つて居るのでは黑はダメ許り打つてゐたのにすぎない畢竟黑百二十九と白百三十と交換したゝめの餘波に外ならず、此れでは形勢全く不明に陷つた◇白百五十に次いで黑（を十九）ならば白（わ十八）黑（わ十八）ならば白（を十九）で何れも白に死形はない◇白百五十二は手筋には相違ないが、黑百五十三の妙手があるのならば、百五十四のツケを先きにすべきだつた◇黑百五十三で（ほ八）から迫るのは百五十五に次いで白（は七）と切りを入れられる、其時黑（は六）ならば白百五十三と出られるし、黑（に七）の方ならば白（い六）と先手にワタラれる◇黑百五十五で（い六）だと白（は七）黑（は六）白（ほ八）と出る手順がある、そこで黑（ほ九）と强引に行くと、白（は十）黑（に七）白（に六）黑ツギ白百五十五で恰もよく取られてしまふ

物凄い一瞬時だ

ギリシヤのレスリング選手ジム・ロンドスと「山の人」と綽名さつたディーンとのリグレイ・フイールドにおける熱戰。觀衆は無慮四萬だつたといふ。文字通り虛々實々の力鬪を演じたあげく、第二回の迫擊でロンドスはディーンを苦もなくリング外に投げ出したが、寫眞は將にリング外へ飛行しやうとするディーンのくるめかしき一瞬です

ラヂオ

五日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

- 六・三〇　ラヂオ體操
- 七・〇〇　ラヂオ體操
- 八・三〇　（東京より）經濟市況
- 九・四〇　經濟市況
- 一〇・〇〇　料理獻立「物菜料理」大連羽衣女學校紫藤タカ子
- 一〇・四〇　經濟市況、公設市場値段

午後の部

- 一二・〇〇　時報、經濟市況、ニュース、レコード
- 〇・五〇　（東京より）日米對抗野球試合實況（明治神宮外苑野球場より中繼）
- 二・〇〇　經濟市況（野球中斷）
- 三・三〇　經濟市況、ニュース
- 五・〇〇　（大阪より）子供の時間　お話「殉死と埴輪」天坊幸彥、コドモノシンブン
- 六・〇〇　ニュース、告知事項、職業紹介事項
- 六・三〇　（東京より）講演「博物館の本分」杉榮三郎
- 七・〇〇　（東京より）連續講談（第一夜）「青砥政談」一龍齋貞山
- 七・三〇　東海道演藝道中（第十二夜）＝桑名附近桑名町中橋座より中繼＝解說西村樂天▲前奏樂「お江戶日本橋」▲浪花節「木曾川治水記薩摩義士」敷島大藏▲俚謠「名取祭はやし」▲宮詣での唄▲新民謠（一）宮田小唄、（二）競馬小唄―桑名町連中
- 八・三〇　時報、ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組のおしらせ
- 八・五〇　義太夫伽羅先代萩（政岡忠義之段）彈語り―野澤吉種

奉天（MTBY 八九〇KC）

午前の部

- 六・五〇　（東京より）ラヂオ體操
- 七・一〇　（新京より）ラヂオ體操（日語）
- 八・三〇　（東京より）經濟市況（滿語）
- 八・四五　天氣實況（日滿語）
- 一〇・〇〇　料理獻立
- 一〇・四〇　（東京より）經濟市況
- 一一・四〇　（東京より）ニュース
- 一一・五九　時報（滿語）

午後の部

- 〇・〇五　經濟市況（日滿語）
- 〇・三〇　ニュース
- 〇・五〇　日米對抗野球試合實況（大連と同じ）
- 一・〇〇　（新京より）演藝（滿語）
- 二・五〇　（東京より）經濟市況（野球實況なき場合）
- 三・〇〇　（東京より）ニュース
- 三・三〇　經濟市況（日滿語）
- 四・〇〇　公示事項、ニュース（日語）
- 四・二〇　（新京より）滿語講座―高宮盛逸
- 四・四〇　日語講座―近藤喜助
- 五・〇〇　（ハルビンより）子供の時間
- 五・三〇　ニュース、番組豫告（滿語）
- 六・〇〇　（東京より）全國ニュース
- 六・三〇　講演（大連と同じ）
- 七・〇〇　連續講談（大連と同じ）
- 七・三〇　東海道演藝道中（大連と同じ）
- 八・三〇　時報、全國ニュース、天氣實況、番組豫告
- 九・〇〇　（奉天より）演藝（滿語）

京城（JODK 九〇〇KC）

午前の部（滿洲時間）

- 六・〇〇　（大阪より）基礎獨語講座（十六）目黑三郎
- 六・三〇　（東京より）神典講義古事記（三）文學博士植田直一郎
- 六・五一　ラヂオ體操
- 九・〇〇　氣象通報
- 一一・〇〇　時報、今日のプログラム發表
- 一一・〇五　歌謠曲（一）サーカスの唄（二）さらば故鄕（三）急げ幌馬車（四）希望の首途（五）南の島へ（六）並木の雨　大谷俊雄、伴奏DKオーケストラ
- 一一・四〇　ニュース

午後の部

- 〇・五〇　日米對抗野球試合實況（大連と同じ）
- 三・〇〇　ニュース、職業紹介事項
- 五・〇〇　お話（大連と同じ）天坊幸彥
- 五・二〇　（東京より）コドモの新聞、關屋五十二
- 五・二五　（東京より）基礎英語講座（二二）岡倉由三郎
- 六・〇〇　ニュース、天氣豫報
- 六・三〇　講演（大連と同じ）
- 七・〇〇　連續講談（大連と同じ）
- 七・三〇　東海道演藝道中（大連と同じ）
- 八・三〇　時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

本社特選高段新手合【其八】

平手
先　六段　平野信助
　　六段　飯塚勘一郎

【圖は六二飛迄の局面】

△平野氏持駒　銀歩歩歩歩
▲飯塚氏持駒　なし

△三三步成　▲五四玉
△四三と　▲同玉
△二三飛成　▲五四玉
△四三銀　▲同金
△六二角成　▲五三銀打
△四四角　▲同玉

累計八十四手

講評　土居八段

▲飯塚君はこゝで、幾分とも混戰に導びく意圖の下に五四玉と上つたのだが、敵に四三と、と嚴しく攻められたので、同玉の已むなきに至つた。

△平野君の四四角迄の手段は、最善を盡したよい攻め筋である。

觀戰記　七段　荻原淳

◇巧妙を極むる平野氏の攻擊飯塚氏は、身惡戰の苦境にありながらも、よく五四玉と指して、敵もし四二と、ならば七二飛廻りの含みで、敵に飛角の交換を强要する意圖に出たのである。が、平野氏の四三と、の輕手によつて、惜しくも七二飛廻りの順を消されその上、同玉から二三飛と手順に成られ、なほ次に四三銀の好手によつてこゝに、六二角と成られては、流石力戰强豪の飯塚氏も挽回に策なく敗色愈々濃然たるものがある。

ラヂオ相談

晝間聽えぬ自己組立の受信機

【問】一、自己組立のスーパー八球（ヘテロダイン受信機を使用中ですが、朝の七時頃から夕方四時頃迄は全く聽取出來ません。何とか聽取出來る方法はないものでせうか。改造して出來るものなれば、改造の方法を御知らせ下さい。二〇一A球使用一、此の種受信機組立に最も有益の參考書有れば書名、發行所、價格を御知らせ下さい。（間島YZR生）

【答】一、晝間は受信感度が惡いですから、間島では京城位しか受信出來ません。

一、袖步のラヂオ、ラヂオ讀本＝無線實驗社編各一圓、JOAKラヂオ講演錄一圓、誠文堂發行（電々會社・係）

接續し放しても差支へないか

【問】一、アンテナアースを何時もつけて居りますが、受信機に惡影響はないでせうか。スキッチは取付けて居りません。

二、眞空管の良否及故障の見分け方を素人にわかるやうに御教示願ひます（藤四郞生）

【答】一、雷雲のある際危險ですから保安用として切換スキッチを取付けた方が良いです。

二、素人の方に出來る方法としては、受信機の相當ソケットに押込んで比較試驗するより外に方法がありません（電々會社係）

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談小規

一、ラヂオに關する一切の事項
一、ハガキに限る
一、宛名　大連市東公園町滿洲日報社內「ラヂオ相談係」

昭和九年十一月

滿洲日報社

滿洲土建界の巨人

新天地開發の第一線に印せる其の足跡よ

本年度工事費一億三千萬圓

滿洲事變以來全滿に於ける土木建築界は頓に殷盛を極め、殊に昭和八年度には工事費總額一億三百萬圓を算し、更に本年度には實に一億三千五百萬圓と目せられ、所謂滿洲景氣は土建景氣であるとまでいはれる盛況を呈してゐる。隨つて內地及び朝鮮一流の土木建築請負業者の滿洲進出も夥しく、これに滿洲生粹の業者を加へて、滿鐵指定請負人、換言すれば請負人としての實力、信用兼備の大立物のみを數へても實に八十名に及び、これ等千軍萬馬の驍將連が我が同胞の血と肉とを以て培ひたる新天地に、開發の先驅者として匪賊の脅威に怯げず、酷暑と闘ひ、嚴寒を征服し、只管に我が生命線を護り、且つ築き上げる爲めの活躍振りは眞に雄々しく目覺ましいものがあるが、中にも左記諸氏の如きは人物手腕に於て、實力信用に於て我が滿洲土建界否日本土建界の巨人として誇るに足るものであらう。

三田芳之助（三田組主）△高橋誠一（大林組取締役、大連支店長）△柳生龜吉（東亞土木專務取締役）△高岡又一郎（高岡組主）△長谷川甚雄、坂本泰通（長谷川坂本組主）△碇山久（碇山組主）△岡常次郎（岡組主）△榊谷仙次郎（榊谷組主）△原半次郎（原組主）△福井米次郎（福井組代表取締役）△加藤眞利（大倉土木取締役、大連支店長）△蔦井新助（蔦井組代表）△小原恒雄（間組大連出張所主任）△小橋朝雄（西松組大連出張所主任）△松井悳吾（鹿島組大連出張所主任）△湯淺義知（大同組代表）△今井行平（今井組主）△長尾重雄（共進組代表）△尾崎棹雄（草場組代表）△鈴木玄吉（鈴木梅本組代表）△多田耕一（多田工務所代表取締役）△川邊謙司（福昌公司取締役）△渡邊俊藏（清水組滿洲支店長）（順不同）

土建界の大御所

立志傳中の人・榊谷仙次郎氏

雄姿颯爽滿鮮を風靡す

一使用人から身を起して、今は鮮滿は勿論內地請負業者にまでその名を謳はれてゐる人に榊谷仙次郎氏がある、氏が郷里廣島縣の田舍から飛出して朝鮮に渡つたのは、日露戰役の戰端開かれた明治三十七年のことで、未だ二十二歲の青年であつた、生來負けぬ氣の強い彼は「今後の

日本 は、歐米先進國に學び產業開發と文化施設の完成のために大土木事業を起すに相違ない」ここを直感し、當時朝鮮に於ける土木建築界の重鎭たる荒井組の現場係員として土方の群に身を投じたのであつた、その後鮮內組に轉じ釜山大邱金泉鐵道及び京釜線敷設工事に從事したが請負業に入つてこゝに三年、その間彼の腦裡に響いたのは何であるか?「自分は請負業で立つのなら、今の狀態では何時まで經つても監督になる資格もなければ、一本立になつて獨立することなど到底望めないのだ、然し自分は未だ若いのだ、今から

勉強 しても決して遲くない」こう思ひ出すと矢も楯もたまらず、遂に彼は二十九年上京して東京工手學校土木科に入學、四ケ年間一心に研究して四十二年卒業と同時に大連に來り菅原工務所に入つたのである、かくて安奉線改築工事、鞍山地築工事等を擔任して非凡な腕前を見せ、その時から榊谷は必ず一人前の請負業者になると同輩から言はれるやうになつた、案の通り大正十年同所を退きこゝに榊谷組の看板を揚げて創業した譯である、時代の潮流に棹さしてメキメキと好調に業績を擧げ

擴大 し各主要都市に出張所を設け、更に朝鮮にまで手を伸ばし京城に支店その他各地に出張所を新設して名實ともに鮮滿一流業者の貫祿を具へるに至つたのである、一方昭和三年、滿洲土木建築業組合の組織を改めて滿洲土木建築協會となるや選ばれて初代協會長の榮冠を獲得したが更に天は彼に好機を齎した、即ち滿洲事變である、鋭敏なる彼は此處ぞとばかり馬力をかけた、今や滿洲建國三星霜、その間氏は全滿各地を走破した人煙稀に見る大黑河から北は索倫南は熱河承德方面に至るまで現地を屢々視察して獻身努力を續け、時には

中央 に乘出して政界要人と會見し協會を代表して折衝を重ねる等公私共多忙を極め、事業即ち榊谷といはれる程である、本年四月會長任期滿了するや推されて再び任に就いたが、齡未だ五十二、氏の活躍は寧ろ今後にあらう、讀書を趣味とし毎朝五時起床既に讀破萬卷に達すといはれる、いま其の業績の大要を見るに、昭和八年度は滿鐵本社、鐵道建設局、關東軍、滿洲國、民間等の工事請負に於て總額七百萬圓と目され、本年度は又北黑、洮遼、圖寧、熱河等各新線工事を請負つて相當の額を示し、同業者の衆望の的となつてゐる、組員亦精鋭揃ひで、土木部長土肥隆氏は滿鐵技師、東亞土木常務等の

要職 を經て入店した人、同部技師今村眞護喜氏は帝大出の工學士、鐵道省勅任技師を勤めた程の權威者、同筒井彌一、岡田實、阿波田岩太郎諸氏に建築部には主任千葉盛男、大塚渕三、事務部には圓轉滑脫を以て名ある支配人堀純一氏並に榊谷氏の愛嬢河野英雄、秦八造諸氏あり、組員總數三百餘名（日人）業界稀に見る陣容として垂涎に値するものがある

斷然群を拔く

本年度の『大倉土木』

◇……加藤重役の雄々しき活躍

加藤眞利氏は三歲にして父を亡ひ母の手一つに育てられ、郷里鹿兒島で小學校を終へ、東京工手學校に學び、明治三十七年同校卒業さ共に大倉組に

入社 して以來三十餘年間大倉組のため粉骨碎身、今日まで十年一日の如く勤めて來たといふのは氏の性格を物語る何よりの證據で、つまり沈着と粘り強い所に其の長所がある、現土建協會長榊谷氏は安奉線改築工事に從事して今日の地位を得る端緒を作り、加藤氏も亦同鐵道工事に從事して認められ、三十餘年後の今日再び滿洲に相會して共に土建界の重鎭と稱へられるのも何かの因緣であらう、本年四月土建協會の役員改選に際し推されて副會長の要職に就いたが、これも三十餘年の涙ぐましい努力の結晶に外ならぬ、大倉土木の本年中に於ける請負總額一千三百萬圓と稱せられ滿洲に於ける請負業者中斷然群を拔き社業隆々たるものあり、昭和三年五月大連出張所主任となつて以來こゝに七年、功に依つて昭和八年六月同會社の臨時株主總會に於て取締役に推され、同會社の重大責務を負ふことになつた、今後の活躍こそ見物と言ふべきである、同會社の陣容は技師長に牛島芳氏あり、氏は東京工科學校土木科卒業、滿鐵に入社、後累進して鐵道建設の中樞たる鐵道保線課長、大連鐵道事務所長を經て昭和五年退社と同時に大倉土木の招聘により技師長となり今日に至つたもので、現在建築主任を兼ねてゐる、山邊鋼氏は東京高等工業附屬建築科卒業後建築界に身を投じ大正八年入社以來滿洲各地の

現場 監督を經て昭和三年五月大連出張所主任を命ぜられた、たまたま滿洲事變起り滿鐵軍部の建築工事續出するや、大いに手腕を揮ひ、一躍社內に重きを爲すに至つた、又事務主任たる新納謙吉氏は老練の手腕家を以て鳴り大大倉の會計を完全に處理して功あり昭和八年六月參事を命ぜられた

◇……寫眞說明

（上）榊谷仙次郎氏（榊谷組主）
（中右）高橋誠一氏（大林組取締役）
（中左）川邊謙司氏（福昌公司取締役）
（下）加藤眞利氏（大倉土木取締役）

滿洲に君臨の大林組

輝く其の業績

高橋・皆川の名コンビ物語

高橋誠一氏は山形縣東村山郡高楯村に生れ明治四十五年七月京都帝大理工科大學土木工學科卒業後直に大林組に招聘され、土木係として入社したのであるが、その初手柄は京都桃山御陵の奉仕に始まる明治大帝の御偉德を慕ひ奉りて、桃山

御陵 に參拜するもの、境內の莊嚴さに感動せざるはないが、この御陵築造工事の大命を拜受したのは大林組で、いたく光榮に感激し、土木係全業員を嚴選に嚴選した結果、新入一ケ月も經たぬ高橋氏に出張を命じた、責任重大であり、且つ自己の腕前を現はすは此の時とばかり感じた高橋氏は、晝夜懸命の努力を續けた、其の甲斐あつて無事大任を果すことが出來、早くも將來の大林組を背負つて立つ傑物であると一般から認められるやうになつた、その後三年昭憲皇太后のおかくれに際し同社は再度奉仕を仰せ付けられ、氏は再び選ばれて京都に赴き無事職責を全うし氏の敏腕に一層の箔を加へた、大正八年遂に

建築 土木理業視察のため米國に派遣され、在米二ケ年有半各地を巡歷して十年六月歸朝、工務監督に昇格した、その後十三年十二月には營業部第三部長となり多年の功績により銀盃を贈られ、更に十五年には評議員、昭和七年には理事に就任、同年十二月滿二十周年勤續により金盃を贈られたのである、かくて滿洲事變を契機に未曾有の大土木建築工事は全滿に渉りて勃興し、內地一流請負業者は滿洲に向つて大々的進出を試みたのに鑑み大林組では、從來の出張所を支店に昇格せしめ、工事の擴張を敢行すると共に人事の刷新を計ることゝなり、氏を初代支店長として

出馬 せしめ、滿洲に於ける業界爭霸戰の陣頭に押し立て、自由の才腕を揮はせることゝした、果せる哉、在職一年有半、業績大いに擧り、從來は建築のみを以て進んでゐた出張所時代から更に鐵道新線工事を請負ひ、名實ともに滿洲に於ける一流業者としての貫祿を備へるに至つたのである、これがため昭和九年一月遂に最高幹部なる取締役に推薦され、他方本年四月滿洲土建協會の總會にて理事に推され、今や內外共に信望厚く、今後の活躍亦期待されて大なるものがある、明朗にして座談の巧者、忽ちにして他を自己籠中の人としてしまふ天才の持主である、然し大林組の滿洲における今日の名譽獲得は出張所

當時 の代表者である皆川成司氏の二十數年間に得た體驗の發揮にもある、皆川氏は能く滿洲の事情に精通し、建築に關しては第一人者として知られ體軀堂々、而も智慧の廻りの早さ！斯界切つての俊敏といはれる、福岡縣田川郡金川村の產、明治三十四年福岡縣立工業校卒業後農商務省製鐵所に入社、翌三十五年島根縣土木課に轉出、同三十六年步兵十四聯隊に一年志願として入隊、翌年退營して軍用鐵道監部定州建築班に勤務するやうになつたが、同四十年には、更に朝鮮に渡りて京城居留民團役所土木建築主任として活躍してゐる內、今後我等の展びて行く大舞臺は

……築業を開始し業績大いに揚つて、同八年大連土木建築會社常務取締役に就任、次いで大正コンクリート會社、大連窯業、東洋防水材製造會社重役を兼任、大正十年には間組滿洲引揚と同時に滿鐵指定請負人の資格を得て氏の人望は益々加はり、昭和三年福昌公司土木部顧問に招聘され、同六年大林組大連出張所

主任 として就任したのであるが、時こそ來れ滿洲事變後支店に昇格するや、遂に支店次長の要職につき高橋支店長とガッチリ手を握り、今や滿洲の土木建築業界に君臨を擅にしてゐる。

背景に滿鐵會社

近來業績振ふ「東亞土木」

◇……鳴る柳生專務の辣腕

東亞土木企業會社は大正九年一月の創立にかゝり、元來は其の社名の如く起業會社であり、代行會社であつて、普通の請負業の經營は本旨ではなかつたが、近年は土木建築請負界に一大飛躍を試み、殊に滿鐵傍系會社といふ

魅力 は、一般業者から絕大の信用を獲占する結果となつたばかりでなく、滿鐵からは請負に於て特殊扱ひをして得る關係上、事變後は土木建築請負業專門となつたかの觀あり、隨つて其の請負高は

昭和七年度　四、八五〇、〇〇〇圓
昭和八年度　七、七八六、〇〇〇圓
昭和九年度　三、六〇〇、〇〇〇圓

に達し、滿洲における土木建築工事の五分の一乃至は三分の一を請負ひ、滿鐵々道建設局起業の鐵道新線工事中、熱河線第一、第六、北黑線第三、赤峰線第三、洮溫線第五各工區を初め陸軍關係諸工事を有利なる條件で請負ひ相當の

利益 を擧げた結果は、不振續きの同會社も破竹の勢ひを以て隆盛に向ひ株價も騰貴に騰貴を重ね配當亦驚からざるを見るに至つた、之といふのも現重役並に幹部諸氏が時世に適應したる營業方針を確立し銳意經營に邁進したる賜ものである、即ち同會社は其の創立當時は、社長相生由太郎氏（福昌公司先代）以下重役實に十七名を數へ、中に或は滿鐵會社幹部あり、或は滿洲に於ける事業界の大立物ありて、常に方針一定せず、時に船山に登るの觀あつたが、現在は

專務取締役（社長）柳生龜吉
取締役　酒井清兵衛
同　山領貞二
同　下津春五郎
同　丁鑑修
監查役　三輪環
同　鹿野千代槌

中堅 を選へ、技術部に前滿鐵幹部級野亨、事務部に高本晴彥等一騎當千の士を揃へ、整然躍進又躍進、新興滿洲國目がけて目覺しい適時安打を飛ばしたからである、專務取締役といへる柳生龜吉氏は一職人より臥薪嘗膽柳生組を創設し、志岐組前組主志岐信太郎翁の指腕に據り自組を他に讓り當時業績甚だ振はざる東亞土木に乘入つただけあつて酸いも甘いも知り盡した豪快なる傑物、適材適所とは蓋しこれをいふのであらう、齡漸く耳順、前途猶洋々たるものあり、唯惜むらくは頑固一徹の評あるも、これ短所にして同時に

長所 氏の今日ある所以であり、不振の東亞を確乎たる基礎の上に築いた根源でもある、若し夫れ對者の出樣次第では、淡々として盡きざる甘味を吐露する處、苦勞人に非ざれば能くせざる境地といふを得やう、右にも左にも氏の如きは東亞中興の盟主であり、滿洲事業界の一大權威者であるともいへる、切に好漢の自重を祈つてやまない所以である。

今後の飛躍

「を期待される蔦井氏」

仰がれる其功勞

建築界に於て苦勞力行の人と言へば先づ蔦井新助氏であらう、氏は十六歲にして大阪谷町所在の大阪土木建築會社に見習として入社し各地現場にて

實地 の研究を積み、明治三十三年の北淸事變同三十七年の日露兩役に從軍し、その功により勳八等に敍せられ、同三十九年大阪に於て千葉組に勤務してゐる內遂に卓越せる手腕を認められ、同四十一年同組代表として來連、滿洲の工事界に身を投じ、翌年三月同組の內地引揚に際して一人踏留まり、翌四十三年獨立して蔦井組を開いた、現在新京、安東、奉天、鞍山等に出張所を置き、資本金二十五萬圓の合資組織とし、大いに增員して陣容を整へ、昭和八年度には滿鐵本社、鐵路總局、關東廳、關東軍、滿洲國、民間等の

工事 八十五萬圓以上を請負ひ、今春の滿洲土木建築業協會の役員選擧に當り、衆望を集めて理事に就任した。

名バッテリー

長谷川・坂本兩氏

其の躍進や驚くべし

長谷川坂本組の今日の地盤を築き上げたのは故長谷川辰次郎氏である、氏は日露戰役直後來滿、菅原工務所の下請となり、大正九年獨立して長谷川組を創設し爾後數年間に滿洲

一流 請負業者の地位を獲得するに至つたのは又非凡な才腕といふべきで、昭和三年十一月遂に逝去したのは惜しい、令息長谷川甚雄氏遺業を繼ぎ、現在益々隆盛に向つてゐる、當主長谷川氏は大正四年新潟縣立三條中學を卒業、同九年早稻田大學政治經濟科を卒業して更に十二年三月、米國に留學滯米三年有半大正十五年九月デポー大學政治經濟科を優秀なる成績を以て卒業昭和三年十二月歸朝するや父の業を繼ぎ米國式の明朗さを以て經營に當り、內外の信用を集めて昭和四年長谷川坂本組と

改組 以來坂本泰通氏と共に同組の代表者となつた、今後の活躍は期待される、なほ氏は滿洲土建協會評議員並に幹事、滿蒙土地建物會社取締役、星ケ浦小松臺土地建物會社取締役等の要職をも兼任してゐる、一方坂本泰通氏は五十七歲とはいへ元氣潑剌、壯者を凌ぐ精力を有し且つ俠氣の所有者である、氏が業界に身を投じたのは明治二十九年當時鹿島組勤務として土木工事に從事した不撓不屈……

……の努力を以て十餘年間奮鬪の結果は遂に菅原工務所の土木部に轉出し青島鞍山等の出張所

主任 を經て大正十二年には獨立して鞍山に事務所を置き土木建築業を營む內昭和四年長谷川辰次郎氏歿後同組の主任となり長谷川氏の片腕となり技術方面の全責任を双肩に擔ひ堅實なる方針の下に業績を上げ本年三月長谷川坂本組と改組するまでになつた、先年ハルビンを水災から救つた話は餘りにも有名である。

◇牡丹江橋梁工事（榊谷組施工）

斯界の先覺者

福井〔米〕氏の奮鬪

堅實な福井組を築く

日露戰役直後來滿して事業を起せる人は相當多數あるが風雲急を告げ未だ日本に勝算立たずといはれてゐた當時滿洲に獨身乘込んで堂々と事業を開始した大膽な人間は福井組代表者福井米次郎氏である、福井氏は慶應元年七月富山縣氷見郡氷見村に生れ、

父の 業を繼ぎ米穀、肥料、海產物等の販賣に從事してゐる內當時未開の滿洲が今後益々有望であると達觀するや遠大なる理想を胸に描き兩親の許しを得て明治三十七年滿洲に渡り營口に於て海產物賣買に從事した、丁度その年日露の國交破れて宣戰布告され遂に陸軍御用達となつて食糧、雜貨類の供給に當り經濟的餘裕を見るに至つて同三十九年四月大連に移り土木、建築並に石材業を開くやうになつた、これ即ち福井組の今日を築く端緒である、かくて時代の潮流に乘つて家運益々

隆盛 となり大正四年青島に出張所を設け數年後世界的經濟パニックに遇ひ、大正八年七月同出張所を引揚げると共に極端に財政整理を斷行して堅實なる經營方針を樹立し幾多の難關を突破して今日に及んだのである、而して同店の營業範圍は主に耐火煉瓦、燒苦土、石材製造、建築材料、銅鐵、地金、屑鐵、鑛石等を販賣し傍ら土木建築請負を行つてゐるが、更に復州產耐火粘土、滑石、燒石類、螢石、マグネサイト、各種モルタル等の取引も亦鮮からず、殊に復州の粘土は內地製鐵所に於ても

必要 なもので、大正十二年頃には八幡製鐵所を始め吳海軍工廠、大阪兵器廠、住友製鋼所、室蘭製鋼所等より需要盛んにして福井米次郎氏の信望は益々高まり、福井組の前身大連工材株式會社々長を始め南滿洲製油株式會社取締役、遼東新聞監查役等に歷任して今日に至つた

創業百三十年

天下の清水組

其の柱石は渡邊俊藏氏

清水組滿洲支店の要職にある渡邊俊藏氏は清水組事務員として入社以來獨學今日の地位を獲得するに至るまでの前半生は「奮鬪」そのものであつた、今や時めく清水組は創業百三十餘年といふ業界空前にして恐らく絕後の歷史を有し即ち文化元年清水家と稱し、清水喜助氏の開設に源を發してゐるものであつて、代々

家憲 を嚴守し、今や我が國土木建築界の重鎭として自他共に許すまでになつたことは周知の事實である、かくて大正四年十月合資會社清水組と改稱資本金三百萬圓に增額したのであるが渡邊氏の入社したのは明治三十八年當時十五歲の美少年であつた、然るに日ならずして非凡なる智腦の持主であることが重役に認められ殊に庇……主の信任厚く、將來清水組の中堅となることを約束づけられた、京城支店勤務所を振出に大正五年大連支店勤務を命ぜられ爾來十數年間に清水組の滿洲に於ける盤石の地位を築き上げた、今こゝに滿洲に於ける清水組の

足跡 を見るに大連市役所を始め大連の表玄關たる埠頭に儼然たる埠頭事務所を始め小崗子滿鐵倉庫、大連市立彌生高等女學校々舍、朝鮮銀行新京支店、大連遼東ホテル、奉天ヤマトホテル等いづれも三十萬圓以上の工事を完成し事變後は敦圖線を始め鐵道敷設工事に手を延ばして以來一層請負額の膨脹を見、清水組の信望は益々高からんとしてゐる、即ち昭和八年度は請負總額實に三百三十萬と稱されてゐるのである

故組主の遺業を

尾崎氏擴大

業績大に振ふ草場組

草場組の今日の地位は故草場又二氏の遺業である、故草場氏は大正十年上田工務所の業務を擔當し、主として滿鐵の工事に從事してゐたのであるが、同年十二月同工務所の解消と同時に

業務 の全般を讓り受け、草場工務所として個人經營以來業績大いに振ひ業界の中堅と稱へられるに至つた、然るに惜むべし病魔の襲ふ處となり五十二歲の働き盛りを一期に他界した、殘された草場宏氏は未だ幼少にして義弟杳野武雄氏を支配人として營業を繼續し、一方宏氏の後見役を努めて草場組と改名し、關東廳、軍部、滿鐵等の請負工事に從事し、事變後は事業を一層に擴大して新情勢に適應し一方內容の刷新を計る意味に於て、遂に昭和九年二月個人經營を合資會社組織に變更し公稱資本金二十萬圓に增額し無限責任社員尾崎棹雄、杳野武雄、尾崎安松、笹々川基一有限責任社員草場宏、山下傳治郎、齋藤義雄以上七名の

社員 を以て更生の草場組を起し、爾來建築係の主任であり技術方面の擔當者であつた尾崎棹雄氏を代表者に變更し、杳野氏は支配人格と同等の地位を保ち、實權を掌握することゝなつたのである、現在の代表者尾崎棹雄氏は明治二十五年岡山縣赤磐郡佐伯上村に生れ、郷里の小學校を卒業するや上阪して大正四年三月大阪市立都島工業學校本科建築科を卒業、翌月合名會社竹中工務店に勤務してゐたが家事の都合にて同七年八月退店翌月青島に渡り同地青島守備軍民政部雇員として鐵道部工務課に勤務、爾來五年間懸命に努力した

結果 同十一年十一月には鐵道技手に昇格した、翌十二年廢隊となるや山東起業會社に轉出、工務主任を命ぜられた、その後大連に移り大正十三年五月東亞土木企業會社建築係主任として非凡な腕前を見せ、四洮、洮昂鐵道建設には現場に出張して大いに活躍したため業界認める處となり昭和二年草場工務所草場又二氏の招聘により建築主任として入店し草場氏の歿後は遂に代表者となるに至つたのである

『堅實第一』をモツトーの西松組

着々地盤開拓の小橋氏

西松組は東京市麴町區丸ノ內の八重洲ビルに本店を置く、資本金一百萬圓の合資會社であつて、社長は我が國土建界の古武士にして功勞者たる西松光治郎氏其の人である、明治三十九年の開業で、滿洲に進出は事變後の昭和七年十一月である、同組は堅實第一主義をモツトーとして着々

成績 を擧げ、殊に朝鮮においては押しも押されもせぬ一流の業者として信賴を一身に集め、現在長津江水電第一期工事一口にして四百五十萬圓といふ大工事を請負ひ業界羨望の的となつてゐる、滿洲においては本來の堅實第一主義を取り、鐵道建設以外は決して手を出さず、昭和八年度には雄羅線第二工區、昭和九年度には寧佳線第四工區を請負つたに過ぎないが、それでも昭和八年の請負高は滿洲のみで百二十七萬九千圓を示してゐる、大連出張所主任といふよりも滿洲における西松組の代表者は

業界 にその人ありと謳はれたる小橋朝雄氏であつて、氏は京都帝國大學工學部土木科出身、大正十一年望まれて同組に入り、土木並に建築の部長に擢かれ、同組が朝鮮に進出と同時に新方面開拓を氏に委ねて支店長となし氏の奮鬪努力の結晶は西松組の聲價を一層高めて遂に新興滿洲にまで氏を特派するに至つたものである、氏は溫厚にして着實、克く組風を體し、無理を嫌ひて一歩々々に地盤開拓に努むる處、西松組に其の人を得たばかりでなく、眞に土建界に取つても慶祝すべきである

土木 主任田本辰治郎、建築主任篠島義一、事務主任有馬敏行諸氏亦孰れも劣らぬ斯界の俊秀として重きをなしてゐる

土建界の耆宿

鈴木梅本組主

◇起業者側賞讃の的

鈴木玄吉氏は東京市淀橋區に生れ滿洲に於ける請負業者中最年長者である、明治初年或る材木店の店員となり同十二年鐵道線路工事に從事して以來請負業者を志し、十年間の

辛酸 を嘗め、同二十六年には獨立して請負業を開始するやうになつた、かくて同四十二年意を決して滿洲に進出、請負業の看板を揭げ翌年久保田組に入り專ら土木方面の全責任を負ひ十數年間久保田菊次郎氏と力を合せて仕事に精勵、大正九年大連土木建築會社々長に就任するに至つた、然れども同十一年久保田勇吉氏病歿後を承け翌十二年十月代表社員に推され敏腕を揮ひ昭和五年二月合資會社鈴木、梅本組を設立してその代表社員となり、資本金十萬圓とし全滿各地に支店出張所を置き昭和八年には滿鐵工事十九萬圓、鐵道建設局四十六萬圓、滿鐵傍系會社二十萬圓その他滿洲國

民間 工事四十萬圓の巨額に達する請負をなし、昭和八年度に於ては拉濱線第五工區、本年は洮大線三工區の鐵道工事を請負つて大いに業績を擧げ老軀を提げて極寒酷暑の北滿鐵道現場に乘出し、從事員を指揮する有樣は全く驚歎の外なく滿鐵建設局でも氏の活動に對しては賞讚の辭を浴せてゐる

[illegible]北の壯觀 新興滿洲帝國開發の先驅者 滿洲土木建築業界の[illegible]

見よ此の光輝 新興滿洲帝國躍進の先驅者 滿洲土木建築業界の驍將を

威風堂々微動だもせざる 滿洲土木建築協會の陣容

滿洲土木建築協會は滿洲における土木建築請負業者の向上進歩を圖り斯業に關する學術技藝の研究をなし併せて同業の堅實なる發達に努むる目的の下に明治四十一年（當時組合）滿洲に在住する土木建築請負業の權威者を以て組織せるに始まり、昭和三年九月組織を變更して公益法人と爲し今日に及んだものであつて、現在正會員（關東軍、滿鐵會社、關東廳、滿洲國その他滿洲における主なる事業會社の指定請負人）數實に八十名、準會員（正會員の支店出張所主任）亦百八十四名を抱擁し、新京並に奉天に分會を、鞍山、安東、撫順、ハルピンに支部を圖們、牡丹江、錦州、チチハル、北安鎭等の全滿樞要の地及び土木建築工事繁忙の地に連絡事務所を置き、以て該協會の機能發揮に遺憾なからしめ、滿洲土木建築界に多大の貢献をなし來つた、いま此處に事業の大要を述ぶれば（一）會報の發行（二）土木建築に關する學術技藝の研究、講演、著述及び技術員の養成（三）工事用材料品質、品格の査定（四）勞銀物價工事費及び工事成績の調査（五）勞働者の善導及びその需給調節、（六）工事用材料並器具類の紹介（七）官公署並公共團體其の他に對する諸問照會事項の應答（八）使用人及工事、業員の善行表彰又は惡風の矯正（九）會員相互間に生じたる紛議の仲裁判斷（一〇）官廳並公共團體其他の依頼に應じ土木建築工事に關する諸調査又は査定並に工事監督、請負業者の推薦等で、陣容又他に冠たり、隨つて其の一擧一動は常に斯界にセンセイシヨンを捲き起してゐる

滿洲土建界の元老 人格力量兼備の高岡組主 軍部の信頼厚きは業界第一

高岡又一郎氏は同業者中稀に見る德望家、其の證據は滿洲土木建築業協會の副會長に二期に亘つて推されてゐるのでも判る、氏は又學理の研究を實際に應用した人、本年還暦の祝ひを行ひ、特に滿洲に於ける建築界の元老でありながら

て高岡組と改稱し今や滿洲の建築界は高岡氏の右に出づるものなきまでに至つた、しかも滿洲に於て土木事業に成功せるもの多きに比し建築方面は殆ど破産せるもの多きに獨り高岡組のみ燦として建築界の王座を占めてゐるのは、これ一に高岡氏の二十數年間に學理さ獨立まで數年間に得た體驗及び其の人格の然らしむる處であるさいはれる、書畫骨董を愛し文學に趣味を有ち批評に於ても一家言を立てるさいふ餘裕綽々たるを見せる處他をして一層に畏敬せしめて餘りある。

堅實として鳴り 徳望斯界に高き岡氏 ◇…涙ぐましき出世物語

原組の覇業 全滿をモルタル化の計畫 意氣振ふ原氏

◇寫眞說明
（上）高岡又一郎氏（高岡組主）△（中）岡常次郎氏（岡組主）（左）渡邊俊藏氏（清水組主任）（右）長谷川義雄氏（長谷川坂本組主）△（下右）坂本泰通氏（長谷川坂本組主）（同左）原半次郎氏（原組主）

滿洲の育ての親 福昌公司の偉大な功績 川邊重役の釆配冴ゆ

頭腦の人 大同組の湯淺氏 斯界のダークホース

建設史に輝く 鹿島組の功績！ ◇…威容亦堂々

「建築の三田」 愈よ光る 組主の人格 業界畏敬の的

福井・高梨・岡の一 名トリオ 福井高梨組の偉容 名聲頓に揚る

石材王 多田工務所 本年度供給二十萬切 若き店主の譽れ

民間の信用 他の追從を許さず 異色に富む共進組

最高學府を 苦學卒業の碇山氏 伸び行く力愈よ物凄し

橋梁の間組 小原主任の才腕 東洋一の松花江橋完成

智德兼備の 名將は今井組主 餘裕綽々郎吟追分の妙

新制度下の滿洲國十省（二）

輝く北滿の寶庫　濱北、拉濱、北鐵東部の各線を含んだ農、商、工業地

濱江省

【ハルビン】濱江省の新設は今度の行政區劃改正の政治上の因襲と舊殼とを打破する主旨に最も適した處置だらう、卽ち北鐵南部線拉濱線方面、東部線附近の全部、濱北線中海倫までの沿線及背後地北鐵西部線地方一部並びにハルビンを中心にして松花江上下流一部の區域は從來吉林、黑龍江兩省に分轄されてゐたが實際に於いては特殊の地域をなし經濟的にも警備上にもハルビンを中心にして一範圍と見做すのが當然である、所謂「繩張り」式に分轄して不自然な區劃から脫して實狀に卽した一區域を形成したものと言ひ得やう、殊に

從來黑龍江省の一部として行政上ハルビンと隔絕してゐた濱北線沿線及び背後地をなす諸縣は北滿の穀倉と稱せられ、その特產物たる大豆の大部分はハルビン市場に送られた後各海港に仕向けられたもので經濟的に不可分の地域である、また輸入物資に於いて同樣である北鐵東部線方面は元より言ふまでもない、その他警備上においても兩地方は既に從來ハルビンを中心として治安工作を行つたものでこの方面から見ても最も顯著な改善である

濱江省の特色は地形的に

北滿特別區

及びハルビン特別市を包含することで殊に東部線方面の如きは完全に特別區の兩側を圍つてゐる、この點は行政上却て種々不便を伴ふかも知れない、そのため特區廢止問題が擡頭してゐるが特別區は北鐵と云ふ特殊鐵道のあることゝ、條約上の關係、外國人が多數居住することゝ、縣に比較して高度の文化施設が施されてゐること等複雜な事情によるもので、今直に廢止するは困難と見做され存續するに略方針を決定した模樣だが、省公署にも總務、民政、警務、敎育の四廳を置き特區公署と大體同樣の機構を有してゐるので、相互の連絡又は單一化を必要とするものも多いだらうと見做されてゐる、濱江省は北滿に於て最も人口多く產業も發達し交通至便な區域であるから北滿全般に對する經濟が中心區域として今後特色を發揮するだらう、その一部分たる東部方面が依然として治安不充分な狀態に置かれてゐるのみでハルビン附近の各縣は殆ど南滿方面とかはらぬ平穩な狀態に歸し、日本資本家の投資計畫なども續々進められてゐる、濱江省の

物產として

は濱北線方面の大豆其他農作物、北鐵東部線方面の木材、石炭等が主なるものであるが同省の特色は奧地とハルビン又は特別區との中間に位して交通の衝に當つてゐる點にある、卽ちハルビンを中心に濱北、拉濱兩線を始め夏期は船舶によつて下流三江省の各埠頭へ、上流は大賚、吉林方面に、又嫩江により江橋に通じ冬期は自動車によつて各主要地に連絡してゐる、之等交通の衝にある濱北省內の治安は奧地の開發に至大の關係を有してゐるから省新設と共に治安工作は最も急務と見做してゐる

經濟的中心地

たるハルビンが行政上の中心となつたことは今後の北滿開發上極めて意義深いものがあらう、濱江省に編入された地域及人口は左の通り（面積は單位滿方里）

▲ハルビン附近

縣名	人口	面積
双城	四五〇、一四三	三、五〇〇
阿城	二四〇、四三三	三、〇〇〇
五常	三四、一六〇	二、九六七
木蘭	一六、〇七〇	二、三三〇
東興	三三、三七〇	六、三三〇
巴原	二三三、一三三	四、六〇四
呼蘭	二八四、五一〇	六、七〇四
安達	六〇、八〇四	六、一三九
蘭西	一八〇、五五〇	九、〇三三
肇東	二六、四〇七	四、八四九
肇州	二三八、九六八	六、七四九

▲北鐵東部線方面

縣名	人口	面積
珠河	二〇四、一〇八	六、三〇〇
葦河	六六、三一三	六、七六八
賓縣	三三一、〇六八	三七、〇一四
延壽	一七〇、七六四	二三、六四〇

……（以下、延壽、寶清、密山、虎林等の表および「濱北線方面」の表は判讀困難）

合計　四、二二七、〇五一　六六、一五五

北部の沃野を喪ひ　南部牧畜地帶に進出　期待される鐵網道の普及

龍江省

【チチハル】滿洲國行政區劃の改定といふ歷史的な政治劇に登場したゞ一人薄倖な役割を引きうけて滿場の觀客から同情の淚をそゝがれたものがあつた、黑龍江省の嗣子龍江省が卽ちそれである、曩に左翼のコロンバイル地方を興安省に奪はれ、今また右翼のアムール沿岸を黑河省に、松花江岸を濱江三江兩省にそれぞれ掠ぎとられてその代償に得たものは哀れ天然不毛の地沙漠の洮遼七縣であつた、新區劃によれば龍江省は二十五縣で、現在の四十六縣に比較して二十一縣の減少である、卽ち一等縣……

新設省 の著るしい特色は國境線を失つたことである、アムールを隔て、蘇聯と相對峙し、曰く滿洲國汽船砲擊事件、曰く蘇聯兵の不法越境等々、枚擧に遑なき國境色濃厚な事件の勃發に神經を尖らせてゐる今日に比較して今後は興安、黑河、濱江、三江、奉天等各省と境を接し一望千里の北滿大平原に抱かれて夢を破ることなき理想的な平和……るであらう。更に新管轄縣及洮……を除いて完全に……賊地帶であり、……北の三線をはじめ……れる北鐵西部線、……〇〇、〇〇兩線の……て張りめぐらされ……賊の跋扈だに許さ……惜むらくは北安鎭……の恐怖今なほ去ら……に洮遼地方の所謂……

△農業 ……は龍江、明水、訥河、克山、拜泉の五縣に過ぎず拜泉の大豆、龍江の小麥等が大宗である

△畜產業 厄介視されてゐる洮遼地區も萬更捨てたものでなく、洮南の羊は五萬五千頭に達し、拜泉の牛馬とゝもに牧畜業發達の楅軸をなし、多分なる將來性を持つてゐる

△鑛業 訥河、嫩江附近の石炭、克東の花崗石などの非金屬鑛業があげられてゐるが、未だ開發するに至らず、金屬鑛業に至つては絕無と稱するも過言ではない

△工業 ……

……の編入はソ聯との紛爭に對する……を避けた反面、蒙古人の增加による滿、漢、蒙三民族の醜き鬪爭再び省治の癌を擔はされた感はあるが、斯かる問題は暫く措き省南遷は必然的に〃北滿〃の慣用を抹消せしめ、南滿の延長として政治經濟的には勿論、あらゆる面に利便を享有することになるであらう、卑近な一例をあげるならば朝に奉天を發した列車は夕には……るもなほ奉天省の洮南附近を……し黑龍江省遠しの感を抱かせてたものが、今後は龍江省の風光を車窓より賞しつゝ晝食をとられることゝなり、北滿恐怖病患者一掃して商人或は視察團の進出だけでも激增することは想像するに難くない、斯くの如き地理的に言すれば時間的に南滿との接近ひいては文化の接近となり、無……

……奉天及び興安の六省と境界を接し心臟チチハルから大動脈たる嫩江或は平齊、齊北線を通じて二百萬省民に送り出す血液こそ、內鮮滿蒙露五族混血融和の特異的なものであり、我等はその成育に多大なる期待を投げかけても差支へないであらう

……さなきだに……

財政難 ……

安取代行會社　下旬設立の豫定　柞蠶糸上場をも要望

……（本文判讀困難）……見る豫定である、從つて設立と同時に株式取引は安東取引所に於て……と期待されて居る

全滿の小賣物價　大連以外は續騰

【關東廳調査】全滿各地における十月分小賣物價を同月十五日現在により調査するに、大連が前月より八厘安と久しぶりに反落したのみで旅順以下沿線各地は何れも續騰してゐる、卽ち最高安東の二分三厘高を筆頭に營口一分五厘、奉天一分一厘、旅順は僅か九厘の騰貴である、これを前年同月に比すれば最高奉天三分一厘高、營口、安東各二分八厘高、旅順は五厘高と最低位にある、なほ指數基準の五年一月に比較すれば新京が一〇〇・八と當時より八厘高を示してゐるのみで、大連は八九・三となり……〇・七の低位にある、各地別に表示すれば左の通り

	前月基準指數	前年同月同上	五年一月同上
大連	九九、二	一〇一、〇	八九、三
旅順	一〇一、九	一〇〇、五	九〇、二
營口	一〇一、五	一〇二、八	九六、八
奉天	一〇一、一	一〇三、一	九五、一
四平街	一〇一、七	一〇三、七	九三、五
新京	一〇〇、五	一〇一、七	九八、四
安東	一〇〇、三	一〇一、〇	一〇〇、八
	一〇一、三	一〇二、八	九六、一

金解禁直前の昭和六年十一月……大連二割二分三厘高さなる、卽ち新京は三割六分高、奉天……割七分五厘高、安東二割五分……主要地別內容左の通り

大連 調査品目六十二種中騰貴……干瓢の二割高を始じめ鷄卵、……小袖綿、朝鮮米、白米（檢查一等、無檢査一等）▲下落は澤庵（二割五分）味噌（滿洲物）淸酒（菊正）石炭の四種▲保合五十二品

營口 調査品目五十六種中騰貴は綿ネルの二割高、干瓢の一割二分五厘高を始め煉乳、鹽、鷄卵、醬油（龜甲萬）白砂糖、淸酒（菊正）晒木綿、椎茸、白米（無檢查一等）蒲團綿の十二種▲下落は金巾、石炭、木炭の三種▲保合四十一種

奉天 調査品目六十種中騰貴は玉葱、干瓢、鹽、鷄卵、椎茸、綿ネル、煙草（ウエストミンスター）の七種▲低落は石炭一種▲保合五十二種

新京 調査品目六十種中騰貴は鷄卵、白砂糖、煙草（ウエストミンスター）角砂糖の四種▲下落は玉葱、鹽鮭、石炭、鰹節の四種▲保合五十二種

安東 調査品目五十九種中騰貴は綿ネルの二割八分六厘高をはじめ豆腐、鷄卵、澤庵（滿洲物）小袖綿、椎茸、煙草（ウエストミンスター）モス、白米（無檢查一等）毛糸（內地物）石油、蒲團綿の十二種▲下落は石炭一種▲保合五十六種

衰勢著しき　ソウエート貿易　三年間に實に半減

【ハルビン】蘇聯邦の外國貿易は一九三一年以來逐年減退を示し左の如き趨勢を辿つてゐる（單位千留）

	輸出	輸入	合計
一九三一年	八一一、三一〇	一、一〇五、〇三四	一、九一六、三四四
一九三二年	五六三、八三四	六九三、六九三	一、二五七、五二七
一九三三年	四九五、六三六	三四八、二三六	八四三、八七四

而して一九三四年度上半期に於ては更にこの傾向は甚だしい、殊に輸入の減少率が益々增大しつゝあるのは注目に價しやう、今昨年度同期と比較すれば

	三四年上半	三三年同	減少
輸出	一八一、四四四	二三四、五七一	四三、一二八
輸入	一一〇、五四四	一九〇、〇一四	八〇、三一〇
合計	二九二、〇八八	四二五、四八六	一三三、四三八
出超	七〇、八四〇	三四、六六六	

國別に見ると對獨貿易が第一位を占め輸出三千三百五萬七千留で輸出に於て一千四百七十萬留、輸入に於て八千二百七十六萬留の何れも減少、對英國は輸出三千三百五十六萬三千留、輸入二千百五十三萬九千留で輸出において百七十九萬留の增加、輸入において三百二十八萬二千留の減少を示してゐる之に次で佛國、和蘭、伊國の順位である、對亞細亞貿易は外蒙共和國への輸出一千六百八十六萬留、輸入六百十八萬五千留を首位とし波斯、烏梁海、日本、支那の順位であるが特に外蒙及び烏梁海への輸出が激增してゐるのは注目されてゐる、對米貿易は輸出六百五十二萬一千留、輸入八百七十七萬八千留で前者に於て十萬留、後者に於て三百十三萬留の增加を示してゐるが對歐洲諸國貿易に比してははるかに振はない、輸出品の主なるものは石油及同製品を首位とし木材、毛皮、小麥其他雜穀、肥料、石炭の順序である、輸入品は各種機械類を首位とし鐵及有色金屬並にその製品、生ゴム、茶、羊毛その他である、石油の輸出は之を昨年同期に比し激減し左の通り（單位噸）

	數量	金額
三三年上半	二、五三三、九三二	四四、九四七、〇〇〇
三四年上半	二、一三六、六五〇	三一、一三一、〇〇〇

特に金額に於て千三百八十三萬五千留を減じてゐる、主なる仕向國は佛、西、獨、米、瑞典、白諸國である、日ソ貿易は左の通り（ソ聯外國貿易人民委員部發表、單位千留）

	三四年上半	三三年間	減少
日本から	七二一	八三三	一六二
ソ聯から	一、六七二	二、八〇四	一、〇三二
合計	二、四〇三	三、七三六	一、三三三

卽ち日ソ貿易も本年上半期は極度の不振にあるが主なる品目は日本からの輸出は茶、罐詰及機械類、金屬製品、船舶類及附屬品等で日本への輸入は石油、石綿、魚類、化學及藥劑製品等である

佛國の二財閥　對滿投資に合流

【新京電話】對滿投資の目的を以て今春フランスのド・リヴイエ氏が來滿により佛國海外發展協會との間に諒解成立した日佛對滿事業公司は、現在のところ何等の活動をなしてゐないが最近に至り滿洲產業視察團の來滿あり、對滿投資の有望であることが益々確實となつて來たので、この度大使館の情報によればフランスにおける有力なる財閥と目せられる興業銀行組合並びにモアラン會社も海外發展協會に合流し大いに對滿投資に活躍することである

週間經濟　二十八日—二日

二十八日（日曜）日支諸懸案解決のため蔣支那駐日公使は愈々積極的工作を起す模樣にて我當局も好意的に折衝の害

◇北支問題で蔣介石氏近く柴山武官と會見の旨入電

◇北鐵交涉成立を前に最近ソ聯の車輛盜引千五百餘萬金留に上る

◇赤峰にも輸入日本品に對し落地稅を賦課する旨熱河省稅務監督署赤峰出張所より諒解を求めたるに對し我赤峰領事館は婉曲に拒絕せる旨入報す

二十九日（月曜）大連中央卸賣市場の場外取引益々甚しく市今後の取締方針注目さる

◇大藏省十年度經常部歲入決定總額十三億三千三百萬圓に決定

◇滿洲パルプ會社では安圖、撫松濛江三縣の材積を空中調査の結果二億三千七百餘萬石と判定

◇十一月三日より三日間朝鮮物產展示會を新京、ハルビンで開催

◇日本海員組合本部より停船命令來り大連在滯O・S・Kの船舶出帆を見合す

三十日（火曜）日本海員組合の爭議は本日解決の旨入電、本爭議の原因は前回爭議の解決案を大阪商船のみ實施せざるに起因せるも複雜なる內紛問題ある由傳へらる

◇藏相は愈增稅決意の旨入電す

◇大藏省は軍部の十年度豫算九億四千萬圓のみを承認の旨入電

◇藏相增稅決意に對し一般金融界は政府のインフレ方針に底が見えたといふ感を抱きデフレーションへの轉向を非常に警戒し出した模樣にて藏相への信賴を失はんとする傾向顯る

◇特產出廻期に入り內地向運賃上向く

◇大連揚げ臺灣バナナは今年度廿萬籠にて今後は增加を豫想さる

◇日滿合辦滿洲滑石股份有限公司に內紛生じ滑石業の統制危惧さる

三十一日（水曜）增稅說に怯……

◇滿洲石油會社の年產額は差當り十二萬噸と見らる

一日（木曜）日本の石油業法に對し米國の抗議について目下關係當局にて審議中であるが、英米石油會社を誘致して內地に內外石油會社共同出資の石油會社を設立し內外石油會社をして均しい立場から石油業法に服せしむる模樣の旨入電

◇新京土建界は依然殷盛にして最近の許可累計一〇七六件に達す

◇增稅說に對し起債市場怯え滿鐵社債覺束なき模樣

◇米國大豆二、三割增收を傳ふ

◇北鐵特產輸送最近の成績は拉濱線を壓倒す

二日（金曜）淸津埠頭を出庫指定地とする京圖、圖寧、拉濱各鐵道沿線の特產混合保管は十二月一日より實施するに鐵路總局と滿鐵北鮮管理局との交涉成立

◇大連稅關事務改善座談會開催さる

◇新京手形交換所開業す

◇奉天、南滿方面の棉花收穫は昨年より二、三割增收を豫想され相場は一割二、三分方昨年比高にて農民を喜ばせてゐる

◇日滿郵便爲替條約の細目協定成立す

……各市場諸株一齊崩落を傳ふ

主要記事

白銀の亂舞

關東州並に附屬地八年度工業生產額

滿洲に於ける英米商社の現況

南支印象記

滿鐵傍系株年內に賣出すか

北滿農作物減收豫想さる

八、九年度特產輸出の趨勢

英米煙公司業績好轉

滿洲各地方經濟事情

滿鐵消息

經濟滿日（十一月號）**出來！**

市內各書店にあり　賣切れの節は本社へ

（定價二十錢）

酬はれぬ必死の捜査

痴情による怨恨！子供と知合ひか

三人の口を叩き割つた譯は萬一の自白を恐れて

犯人は滿人か？日本人か？また原因は怨恨か？痴情か？右の疑問符は如何にして解かれるのか、現在見込み捜査の中心となつてゐる諸點は次の如くである

▲日本人と思惟される點

一、犯人はその足跡より少くとも屋内では裸足であつた——滿人には裸足は殆んどなし、又日本人といへども當夜は北風強く降雨中にも拘らず、足袋すらはいて居なかつた點より附近居住の者ではないかとの見込み

二、奥八疊に座布團が出されてをり、電氣コンロにニユームの藥鑵がかけてあつた——電氣コンロには點火され、湯は全部蒸發してゐたが、これは被害者萬壽子と面識ある日本人が訪れたためではないかとの見込み

▲滿人と思惟される點

一、殺人手段の殘虐なる點

二、妻萬壽子、長女美美枝の局部に傷を加へてある點——これは滿支人間に考へられてゐる最大の侮辱

三、計畫的な殺人で、兇器に斧を選んでゐる點

右の外妻萬壽子、次男壽、長女美美枝の三名が何れも口を斧でたゝかれてゐる點より犯人は被害者達が蘇生して犯行について語ることを極度に恐れた模樣があり、この點より犯人は被害者達がよく知つてゐる人物と思はれ、又午後十時過ぎに訪れたのを萬壽子がこれを迎へて座布團をすゝめ、湯をわかしてゐる點より相當深い關係にあるものではないかとも思はれ、又犯人が兇器を自ら持ち來つてゐる點より計畫的であることは明らかであるが、萬壽子と相當深く知る間柄でありながら計畫的殺意を持ち、主人の留守を狙つたこと等より痴情による怨恨説が目下有力であるが、謎は餘りにも複雜化されて判斷するものを苦しめてゐる

不眠不休・三晝夜 而も手懸りは皆無

見込捜査に獅子奮迅

木枯し吹きすさぶ二日午前零時過ぎ突發した聖德街親子四人殺し事件は久しく殺人事件を耳にしなかつた市民に戰慄の銃彈を浴せかけたが、その後三晝夜にわたる所轄署沙河口警察署全員の必死の努力も何等酬いられる處なく、僅かに單なる「流し」の強盜が犯した殺人說が弱められたのみで、犯人は滿人か日本人か、又犯行の直接原因は痴情か？怨恨か？これ等の疑問は依然として渦卷いてゐる、血畫の冷笑者犯人は、何處の屋根の下に潛んでゐるのか、捜査本部たる沙河口署司法室には三日四日の祭日、日曜にも拘らず、中澤司法主任はもとより池內首席檢察官、千葉本署捜査主任、廣石署長等がつめきつて第一線よりの快報を待ちわびてゐるが、中澤主任は非番巡査を召集し、四日午前十時より土木課の應援を求めて全市のマンホールを調べ、血に染められてゐるであらう處の犯人の衣類を捜査すべく第二段の活動を命じ一縷の望みを抱いてゐたが、これすら何等手掛りともなるべき物を發見するに至らず、一方全力を擧げて活動を續けつゝある沙河口署に呼應して自由な立場から犯人捜査をなしてゐる大連署では、三日夜石道街方面の滿人部落を初め附近滿人の家宅捜査を強行、その結果も何等新しき索線を見出し得ず、斯くて沙河口署が三晝夜に亘る不眠不休、總ゆる人事を盡した捜査の甲斐もなく、果して犯人は？謎の鐵扉は依然として開かれず、捜査陣は益々擴大し事件は愈々獵奇の影を濃く彩つて行く（寫眞はマンホールの捜査）

新京の愛國婦人會が敬老と孝子節婦表彰

日滿親善を婦人の手よりといふ理想の下に愛と力により活躍しつゝある愛婦新京支部では、三日の佳節を卜し午前十一時より新京商業議堂に於て敬老と孝子節婦の表彰並に愛婦有功章傳達式が盛大に行はれた（寫眞は孝子節婦の表彰式と表彰された節婦と孝子、向つて右より關相卿、辛干閘、矢野よし女）

近藤、川田兩氏がまた金密輸で拘引

神戸から逮捕の手配

東京、橫濱、大阪、神戸、門司並びに大連と日滿主要都港を結ぶ一大密輸ブロックを組織して巨額のダイヤモンドを日本に密輸入し、去る九月中旬その一味が當局の手に逮捕されるや全日本における寶石の相場に一大變動を與へた大密輸團の中心人物、市內山縣通り五五第二山縣ビル內輸出入地金銀公社債賣買三清洋行代表者近藤三彌(四〇)同洋行支配人川田清二(三〇)兩氏の大膽なる密輸ぶりは世人を驚かすに充分なものがあつたが、ダイヤモンド密輸事件一段落して僅かに一ケ月の今日、又復近藤、川田兩氏を中心に神戸水上署、大連署が相協力して活躍を開始した——四日早朝大連署司法係は神戸水上警察署より前記三清洋行代表者近藤三彌、支配人川田清二兩氏を初め市內居住者數名を指名逮捕方依賴の手配電報に接したので、司法係では時を移さず刑事隊を八方に飛ばし四日午前十時過ぎ三清洋行店員一名を本署に連行したのを手始めに同日午後二時三十分川田氏をも連行何れも留置、更に午後六時過ぎ遠藤刑事が近藤氏逮捕のため黑礁屯五二ノ五の近藤氏自宅にサイドカーを飛ばす等手配電報にある指名人を續々本署に連行しつゝあるが

今回の事件の內容に關しては手配電報簡單なるため正確なる點判明せぬも今回はダイヤモンドには非ず金塊の密輸に關するものらしく近藤氏等がダイヤモンド事件當時より寶石密輸と併行して金塊の密輸を行つてゐたものか、或ひは又ダイヤモンド事件後又もや都港ブロックを再建して方面をかへ金塊の密輸を行つてゐたものか、何れにせよ近藤、川田氏らの大膽にして廣範圍に亘る密輸ぶりには流石の係官も舌を卷く程である

盛況を極める美術家協會展

きのふ蓋開けの第一回滿洲美術家協會展は十一月のカレンダーをめくつても猶珍しき好天氣と日曜に惠まれ、朝來本社講堂會場には續々觀衆の姿を加へ滿洲の洋畫家連をオール・スターキャストした展覽會だけに我等が美展の雰圍氣を匂はしつゝ盛況を極めてゐる殊に近年著しき滿洲畫壇の進展は各種の畫傾向に研究の技を伸ばした力作を綜合して年々質的に固まりつゝある全貌が見える中でも會員連の努力目覺しく稻葉氏の色彩豐かな玩具の鄉土色、後藤氏の牧歌的東陵の夢境、境野氏の滿洲の感覺に基調したヒユリズムの仕事、二瓶氏の達者な技巧、高橋氏の森のファンタジー、市村、山城氏の洗煉された色彩小品、檜原氏の諧動的な元氣な畫面、久留島氏の質感を生かした風景、杉野氏の氣のきいた版畫、長谷川氏の紀元型の味を見せた花、永原氏の寫實傾向、大森、池田氏の大作を揃へて在滿畫人の氣を吐いてゐるなほ會期は八日まで……

謎のSOSは中國汽船か

大連無線入電によれば、二日午前八時五十分鎭南浦出帆大連に向け航海中の中國汽船同福號は同日午前八時四十分東經百三十五度北緯卅五度四〇の地點に於て浸水のため遭難行方不明となつた、目下手配中であるが所在不明で本紙夕刊既報の「謎のS・O・S」は同船から發せられたものと思惟される

滿洲射擊大會

滿洲射擊協會主催、本社後援の第一回滿洲射擊權大會は四日午前八時三十分より大連春日池畔市民射擊場に於て擧行されたが、全滿各地より七十六團體が參加、大連一中四班各部を通じ優勝して伏見宮盃並に本社優勝旗及び第二部優勝賞滿鐵總裁杯を、第一部に小崗子警察一班優勝し關東軍司令官優勝旗、第三部では沙河口青訓同窓會一七一點を得て首位を占めて關東長官杯をそれぞれ獲得し午後五時五十分盛會裡に散會したが主なる成績左の如し

團體 ▼第一部 一、小崗子警察一班一八六點 二、大連警察二班一八四點 三、大連警察二班一八二點 四、旅順體育研究所一八〇點 五、小崗子警察二班一七九點 六、水上署二班一七四點 七、大連警察三班一七二點 八、大廣場分會一班一七一點 九、第二分會一班一六九點 一〇、水上署二班一六九點▼第二部 一、大連一中四班一九六點 二、大連二中二班一八四點 三、沙河口青訓二班一八〇點 四、大連二中三班一七六點 五、大連商業一班一七三點 六、旅順中學一班一七二點 七、工大二班一七〇點 八、大連二中四班一六九點 九、工大一班一六八點 一〇、育成一六五點▼第三部 一、沙河口青訓同窓會一七一點 二、工大一六九點 三、工專一班一四〇點 四、電々會社四班一一一點 五、消費組合八九點 六、電々會社五班五五點

個人 ▼第一部 一、武居（電氣分會）四五點 二、星野（沙河口署）四三點 三、末戸（水上署）四三點 四、二重（小崗子署）四三點 五、向田（沙河口分會）四三點 六、土橋（奉天東分會）四二點 七、堀（奉天署）四二點 八、山崎（旅體研）四二點 九、上岡（小崗子署）四二點 一〇、緒方（大廣場分會）四二點▼第二部 一、佐藤（大二中）四四點 二、春木（大一中）四四點 三、有馬（大一中）四三點 四、湯山（大一中）四三點 五、野田（撫中）四二點 六、竹中（大一中）四二點 七、藤田（沙青）四二點 八、橫田（大一中）四二點 九、仙波（育成）四一點 一〇、梅津（大一中）四一點▼第三部 一、福島（沙青同）四〇點 二、西村（工大）四〇點 三、寺島（電々）三九點

全く跡を絕つた東部線の匪禍

技術事故が僅か一回

【ハルビン特電四日發】北鐵東部線は本年春から夏にかけて列車襲擊事件頻發し殆ど運行不可能の狀態にまで立至つたが、九月以來全くこれ等不祥事件は跡を絕つに至つた、路警處の調査に依れば襲擊事件その他匪賊被害の最も多かつたのは穆稜、石頭河子間で地形上匪賊に最も好都合なためであるが警察總隊其の他巡警の徹底的討匪により今では殆ど僅かに海林、山市間に多少賊がゐるが統制を缺き何事も出來ない狀態にあるのは右によつても從來の匪禍は赤系從業員が指揮したことが明らかで穆稜、石頭河子間で逮捕したこれ等赤系一味は數十名に上つてゐる、最近時林臨において自警團を組織し積極的に匪賊討滅を實行したのも掃匪に絕大な效果があつた、匪賊の襲擊事件は十月末に技術的理由で顚覆事件が一件あつたばかりで、東部線は全く秩序を回復した

北鐵圖書館長が不穩文書出版

出版法違反で悶着か

【ハルビン四日發國通】曩に不穩文書の集散所赤化宣傳の策動所の廉で閉鎖された北鐵中央圖書館は爾今斯る行動は絕對にせずとの一札を入れて再開してゐたが、同館長ウストリロロフ博士は去る八月頃「吾人の時代」の表題の下に眞向から白系露人に惡罵を浴せ、日滿兩國の政策を批判し最後に階級なき社會の點で無條件にソ聯邦を謳歌した書籍を出版し、之を頒布したこと暴露、警察で嚴重に取調べられる一方、家宅捜査を受け不穩文書を押收されたが、ウ博士は右書籍は上海で出版したと稱してゐるが事實は官憲の眼を晦ますため書籍の表題の下に上海出版としたのみで、相當の運動資金を投じてハルピンで秘かに出版したものと判明、治安維持出版法違反に抵觸する問題として一悶着は免れぬ事となつた

駈落の破戒僧

內地から護送

人妻と駈け落ちした破戒僧が姦婦と同道若松署員に護送され四日入港たこま丸で滿洲へ逆戻りして來た、長崎縣西彼杵郡西浦上村生れ黑龍江省北安鎭驛前川俣末男(三五)內緣妻村山さく(三〇)は大分縣南海部郡直見村生れ北安鎭北安寺僧侶下川智玄(三七)と戀に陷り、川俣の金五千餘圓を拐帶して、兩人は驅落、福岡縣若松市に夫婦氣取りで愛の巢を營んでゐたところチチハル領事館の手配により去月三十一日若松署に逮捕されたものである右犯人の引渡を受けた大連水上署の取調べによるさ裏面にはさらに複雜した事情があり、さくは北安鎭で料理屋を開くべく夫と相談の上若松へ女を探しに出掛けたもので、智玄とは偶然道伴れになつたに過ぎないと述べてゐた、なほ一應取調べの上兩名は午後九時發列車でチチハルへ護送された（寫眞は護送の兩名）

中等ラグビー

關東州內豫選

滿洲ラグビー協會の全滿中等學校ラグビー選手權大會州內豫選會は三、四兩日大連運動場に於て擧行したが滿鐵育成及び大連商業勝ち殘つて決勝の結果接戰の末九對三で大商に凱歌揚り州內代表權を獲得した、尚州內外兩代表の優勝戰たる鞍山中學對大連商業戰は來る十一日午後二時より鞍山中學球場において擧行することゝなつた

第一回戰

◇滿鐵育成50—0鐵道工場養成 三日午後三時半開始、審判柯（主審）上月、中山（線審）三氏

育成 31・19—0・0 工養

	トライ	ゴール	
育成	0 3 / 0 2	0 2 / 0 5	
工養			0—50

準優勝戰

◇滿鐵育成10—0旅順中學 四日午前十時開始、審判那須（主審）上月、木島（線審）三氏

育成 5・5—0・0 旅中

	トライ	ゴール	
育成	0 0	0 1	
旅中	0 0	0 1	0—10

◇大連商業21—3大連一中 四日午前十一時十分開始、審判高尾（主審）安藤中山（線審）三氏

大商 12・9—3・0 一中

	トライ	ゴール	
大商	0 3	0 0	
一中	1 4	0 0	5—21

優勝戰

四日午後三時半開始審判柯（主審）那須、高尾（線審）三氏

大商 6・3—3・0 育成

	トライ	ゴール	
大商	1 2	0 0	
育成	0 1	0 0	3—9

◇前半…育成のキックオフはセンター・スクラムとなり大商に球出て戰は開始、兩軍ともに元氣一ぱい最初よりスピーディーな戰ひとなりタイトは大商ルーズは育成にそれぞれ球出て熱戰を續ける裡四分大商先づ久保田の快走でトライを擧げて戰ひをリードす、育成刀戰の末しばしば好機をつかんで攻入るも線淺くためにルーズに球を得るもスタート付かず加ふるにクオターの橫走り多きためものにならず3—0で前半を終る

◇後半…風上を利して育成二分早やくも大商陣深く攻入るも大商バックマンの好タックルに阻まれて得點するに至らず返つて十分大商FWのマス・ドリブルは育成陣を見事に攪亂し柿田の一トライで得點を增す、爾後育成は猛烈に攻め立て大商陣左右兩翼深く攻入るも大商FB熊澤の好守にはばまれて逸機し返つて二十一分五碼前タイトの球大商に出て谷口左より割つて出てトライす、頹勢の育成奮戰の末二十四分長山のトライで追擊戰に移つたが大商守り堅く〇對3で育成惜敗した

光暢師を迎へ東本願寺法要

若狹町東本願寺別院では左記の通り大法要を同派管長大谷光暢師及裏方の臨場を得て親修する筈、尚ほ歸敬式希望の人は至急申込まれたし

御遷佛慶讃法要 十一月九日午後二時

酬德法要（死亡者追弔會）十一月十日午後二時

眞宗婦人會大會 十一月十日午後三時

歸敬式 十一月十日午前七時

尚ほ九日午後七時より河崎隨行布敎使の記念講演がある

けふのメモ

▼太宰府神社萬靈祭 連鎖街元ゴルフ場跡の新神社に於いて 午後

▼コクテール・パーテイー 午後五時より福本稅關長官邸に於て

▼浮世繪展覽會 午前九時より埠頭圖書館に於いて

▼圖書館週間 七日まで市內各圖書館に於いて

▼五果會美術展 午前九時より社員俱樂部に於いて

▼滿洲美術協會展 午前九時より本社講堂に於いて

安樂椅子

〃僕ア新京に戀人が待つてゐるんだよ〃とはしやいでゐた大連特務機關の岡田少佐は機構問題が圓滿解決したのでホツと安堵し、あたふた引揚げ準備にとりかゝつた。

……◇……

トタンに一寸待つた、と當分居殘りといふことになつたのでひどくふさぎ込むこと。

……◇……

こいつはテッキリ戀人に會へないからだらうとピンと來た某參謀〃戀人とはけしからぬ〃といきり立つたが〃じよ談ぢやない僕の戀人といふのは滿洲國軍人なんだよ〃と辯明多々。

……◇……

さてその辯明するところによるとフランス語では軍人は女性なので滿洲國軍政部顧問の岡田少佐はその滿洲國軍が所謂戀人だといふのである。

由比正雪 (77)

悟道軒圓玉演　武田一路畫

睨んだ千兩

怪しい旅人は額を叩いて、
「こいつア宜い。併し何れほどお歩きなさるネ」
傳達はうるさいやうに、
「さうだのう、一日に二十四五里は歩むことも出來るであらうか」
「二十四五里、それでは自慢する程のことはれえ」
「さうか。お前はもつと歩むか」
「さやうさ。江戸を立つて其の日の泊りが駿府だれ」
「何だ。江戸を立つて其の日の泊りが駿府（靜岡）だと。これ江戸から駿府までは四十八里あるぞ」
「それは言はず共存じて居ります。足の早いのは自慢だ。先づ京都まで二晩泊り、百三十里ありますぜ、一昨年の暮のことでしたが江戸から長崎へ往つた時には五日かゝりましたが、此の時は草臥ました」
「大仰なことを言ふナ」
「先づ三十五六里ならば屹度歩いて見せます。ところで御出家さまお前さんは増上寺の坊さんだれ。それは袈裟で判ります」
「ハ、ア、さうかナ」
「して、今日の晝食は何處にしますれ」
「さうだの、戸塚か、それとも平塚か」
「平塚などで晝食をするやうな料簡では長道は出來れえ。私は小田原が晝だと思つて居ます」
「馬鹿な事を云ふナ。江戸から小田原まで二十里以上ある」
「二十里あらうが三十里あらうが晝飯は小田原が宜うがせう」
「江戸を拂曉に出立したとは申せ、二十里離れた小田原が晝食とは大きな法螺だな」
旅人はアハヽと笑ひ、
「法螺ではございません、これは眞實さ。同じ食物でも小田原は萬事江戸前で私共の口にしつくり合ひます。それに領主は大久保加賀守樣、徳川の譜代大名で、高は十一萬石、今の殿樣は江戸ッ子ですから、町も江戸のやうに出來てゐます。急いで小田原へ行つて美味い物を食べませう」
話しながら寛つて來たは戸塚の宿。
「御出家さま御覧なさいまし、此所が武藏と相模の國境、燒餅坂に權太坂、信濃坂を戸塚の三坂といひます」
「お前は東海道の地形は詳しいナ」
「それは詳しい譯です、一月に二三度往來しますから。時に御出家さま、あなたは大金を持つてゐますれ」
傳達はこれを聞いて、さてはおれの察した通り此奴は胡麻の蠅だナ。さて油斷はならぬ
「イヤそれはお前の目違ひだ、わしは坊主のことゝて大金を持つてゐる身分ではない」
「隱すだけ訝しいや、お前さんは大金を持つてゐる。その證據には草鞋を見れば判ります」
傳達はびつくりして、
「ハ、ア草鞋で判るかナ」
「それは判りますア。大金を持つてゐると足の前に力が入り、從つて草鞋の前壺が早く切れますから隱す事は出來ません」
「ウーム成程、道によつて賢しさやら、然しこんな事は愚な方が宜い。併し何程持つてゐるかそれは判るまいナ」
「さうですれ、二百兩や三百兩ではなからう、その振分けの包には五百兩宛入つてゐるかナ」
傳達は眼を圓くしてヂッと旅人を見詰めたが、
「恐ろしい奴だ。いかにもお前の察しの通り千兩持つてゐる」
「たうとう白狀したれ。正直に言つてくれゝば私も嬉しいや」
「お前は道中を荒し廻る胡麻の蠅だナ、何うだ、おれの睨んだ眼に狂ひはあるまい」
「冗談云つちやア叶けれえ。私はそんな者ではござんせん。とは云へお出家さま、人を見たらば泥棒と思へと云ふこともあり、まア〳〵私を泥棒だと思つて、一緒にお出でなせえ」
なぞと話しつゝ、藤澤の宿も後にして馬入川を渡り、これから小田原の城下に入つて來た。

(日刊)　朝夕刊共十二頁

增税問題で暴露した首相、藏相の不手際
軍部と財界の板挾みに陷り政府首腦部の焦慮

【東京特電四日發】機構問題が曲りなりにも落着して小康を得て居る政局は最近明年度豫算編成、臨時議會開催などを控へ重苦しい空氣が濃厚となりつゝある、卽ち陸海軍をはじめ各省は大藏省の峻嚴な豫算査定に對し不滿の色濃く、深刻なる復活交渉が始まらんとして居るが、藤井藏相としてはまづ增税を表明したため軍部の要求を容れる外なく、しかも增税問題をめぐる藏相、首相の政治的行動は拙劣極まり尠からず政府の威信を墜し現內閣頼むに足らずとして財界は動搖するなど進退兩難に陷り、更に對政黨關係においても國策審議會の設置問題が挫折して却て政友會關係を惡化せしめたのみならず政、民の聯携運動も若槻總裁の辭任問題により今後一層表面化する形勢となつたので政府は內憂外患交々至つた恰好で頗る焦慮の態に見受けらる

……る前哨戰復活要求をなし、更に一部增税案に對しても相當深刻な質問が發せられる筈、而して當日は大體以上の程度に止め、各閣僚は夫々大藏省査定案を一先づ持歸り各々事務當局と協議の上愈々六日の閣議よりは陸、海軍省を始めとし農林、內務等の各省より猛烈なる復活要求を爲すものと見られる

各閣僚から深刻な質問發せられん
けふの閣議注目さる

【東京四日發國通】總額二十六億二千八百萬圓に及ぶ明年度豫算並に臨時議會に提出すべき災害對策豫算、在滿機構改革に伴ふ豫算等な審議決定すべき臨時豫算閣議は愈々五日午後二時から首相官邸で開かれる事となつた、當日の閣議では先づ藤井藏相より豫算編成事情を說明し、これと關聯して歳入不足六億一千四百萬圓の補塡には公債發行によるの外特別利得税を新に設くる方針である旨開陳した後各閣僚よりは早くも數字に亘らさ……

若槻、町田兩氏の直接折衝に俟つか
總裁問題で黨員の態度強硬

【東京三日發國通】民政黨の首腦部は若槻總裁の辭意を絕對的のものと認め町田商相を後任總裁に推す準備を整へんとしたところ多數の代議士は幹部の態度に不滿を抱き總裁に留任を勸告すべしと強硬に主張し町田氏亦後任總裁辭退の決意を固めたので遂に二日の議員總會及幹部會の結果五日の黨大會に代る兩院議員と評議員との聯合會を開き改めて若槻總裁の辭意を翻へさしむる強硬方針で進むことになつた、然し假令大會に代る聯合會の決議により留任を懇望しても若槻男の辭意は依然困難であり首腦部は窮地に陷り種々善處策を講じてゐるが總裁問題の解決は今後尙相當長びき黨內動搖の懼れあり事態が紛糾するに至れば若槻總裁と町田氏とが直接折衝して圓滿に打開策を講ずる以外に方法はない狀態である

留任は出來ない
若槻總裁車中談

【東京四日發國通】若槻民政黨總裁は總裁辭任問題未解決の儘四日午後福島市に於て開かれる民政黨東北大會に臨む爲め四日朝上野驛發同地に向つたが車中左の如く語る

大會に代るべき所屬貴衆兩院議員と評議員の聯合會を五日に開いて私に留任するやうにとの話があつても私は事が濟んだあとであるから之に聽從することが出來ない、事柄に依つては考へ直す事も出來るが事柄に依つては考へ直すことが出來ない場合もある、私の今日の場合は色々考へた末の事であるから黨員諸君の厚い友情を充分感謝いたし乍らも考へ直す事が出來ないのである、目下大藏省で計畫してゐると謂はれる增税內容は見てゐないから批評は出來ないが然し日本の現狀では增税なしでは濟まされないと思ふから政府は善處する必要があらう、政民聯携に就て民政黨はまた話を申込まれてゐない、然しこの問題に就ては民政黨は既に方針が極つてゐるから總裁の更迭とこの問題とは何等關係がない、申込まれる聯携の內容が民政黨の方針に合へばよい、合はなければそれまでゞある、同じ意味において對政府關係も同樣であらう

廣田外相の佐藤大使送別招待

駐佛大使佐藤尙武氏はいよ〳〵十月三十一日夜東京を出發歸任の途につく事になつたので三十日午前九時半から外務省に於て重光次官以下各局長と對佛外交關係、軍縮問題等に關し重要打合を遂げて後午後零時から廣田外相主催の送別午餐會に列席した、寫眞は大臣官邸庭園にて前列左から佐藤大使夫人、ヒラ駐佛大使、廣田外相、重光次官、佛大使夫人、佐藤大使の諸氏

日滿郵便條約
近く正式締結を見ん

滿洲國交通部郵務司荒木郵務科長は遞信省當局との間に日滿郵便條約及び爲替條約締結に關する內交涉を行つてゐたが在滿機關問題も解決したので同交涉も急速に進展しこのほど兩當事者間に大綱の內定を見荒木氏は一日退京歸國の上滿洲國政府の同意を得正式決定を見る筈である

英首相
我代表部招待

【ロンドン三日發國通】松平代表以下日本代表部員を招いて三日午後チエッカ別莊で行はれた英マック首相招待の午餐會は二時間に亘り行はれたが食事の後マック首相は愛孃イシユベラ孃と共に初めて來た山本代表に建物や庭園など見せて歡待し午後三時五十五分散會した、日本代表部は辭去後「けふは非公式招待で軍縮問題には觸れなかつた」と語つた

技術屋の典型
仕事が趣味
杉廣三郎氏

心點

◇…新線がどし〳〵完了する、そのたびに國線は膨脹して行く……此の大世帶鐵路總局の技術方面の總元締……きさくな好々爺？一寸見ると映畫の齋藤達雄を思ひ出させるのが長身の次長、杉廣三郎氏である。技術家らしい訥辯ではあるが懇切な明るい應對振りは我國地下鐵の生の親であり重役さんであつた事の片鱗。

◇…氏は四十年の東大出工學士、鐵道省の計畫課長なや躍如たるものがある。つただけあつて企畫方面の大家である。趣味はと問へば卽座に「無趣味」と答へる、棒（ゴルフクラブ）は持つた事もないさうだけれども將棋、碁は時間潰しに一寸といふ、撞球は學生時代からだが六十もどうかと大いに謙遜する。

◇…部下思ひで仕事の多忙な際はあたりの迷惑を考へ自宅でする程で、一も仕事、二も仕事、三も仕事で、仕事の捗るのが無性に愉快で他に趣味なしと云ふ所に杉氏の面目躍如たるものがある。

支那廿三年度總豫算
九億一千餘萬元

【上海特電四日發】國民政府二十三年度（本年七月一日以降明年六月卅日迄）總豫算は曩に中政會で七億七千七百餘萬圓に決し立法院に廻附中であつたがその後中政會より補充、修正を加へて九億千八百餘萬元とし主計處で總豫算書を作成して立法院の再審議に附することとなつた、その內容は次の如し（單位元）

歳入	
經常收入	
鹽税	一九〇、三三三、八三一
關税	三六六、四二三、七〇一
煙酒税	一三〇、一〇四、八〇三
印花税	一三、八八四、一六六
統税	一二六、九五九、六九九
礦税	一一、七七四、九九九
交易税	一〇〇、〇〇〇
銀行税	一一、六〇〇、〇〇〇
國有財産收入	三一、九〇一、三七五
國有事業收入	一〇、九六五、〇三〇
國家行政收入	一三、一三六、一八〇
國有營業純益	八、三四九、五六七
地方收入	六、五八八、〇〇〇
其他	七、二六八、三八〇
計	七七三、四七〇、〇九一
臨時收入	
關税	一六、四〇〇、四五〇
國有財産收入	一、六四三、五〇三
國有事業收入	三三九、〇一〇
行政收入	二五〇、八〇六
借款收入	五〇、〇〇〇、〇〇〇
其他	七六、〇〇七、一七四
計	一四四、六四〇、九四三
總計	九一八、一一一、〇三四

歳出	
經常費	
黨務費	五、六六〇、七〇〇
國務費	一三、二九五、三六〇
軍務費	二九三、〇二四、六〇〇
內務費	四、四七四、八六九
外交費	八、六三五、八八六
財務費	六七、九四四、一三四
教育文化費	三三、四四三、一一七
司法費	二、〇一七、五三〇
實業費	三、九三四、三八〇
交通費	四、九六七、九四二
蒙藏費	一、四三五、七三〇
建設費	一、八二二、一八〇
豫備費	四四、四三五、七三五
撫恤費	三、七六一、六六五
債務費	二五七、五三〇、三三一
第二豫備費	七、三四三、〇五五
計	七五一、六六七、一三四
臨時費	
黨務費	六〇、〇〇〇
國務費	四二九、七〇〇
軍務費	三九、九七六、三一〇
內務費	六一、〇〇〇
外交費	二〇一、〇〇〇
財務費	二四八、六六〇
教育文化費	一、三七六、二四八
司法費	九四六、三九〇
實業費	二〇〇、〇〇〇
交通費	二三一、八一〇
建設費	三四、一七六、八六六
國有營業支出	五〇、三二八、七七六
豫備費	三六、一二四、二〇〇
計	一六六、四三三、九一〇
總計	九一八、一一一、〇三四

河北軍政大改革
蔣氏の一石二鳥策

【上海特電二日發】蔣介石氏は今回の北平訪問を機に河北軍事行政の大改革を企圖してゐたが、確聞する處によれば于學忠軍約五萬を張學良の指揮下におくべく河南省警長を命じその後には韓復榘軍、商震軍等を中央軍に改編して駐屯せしめることに決定した、これは于學忠より河北省政府の實權を奪ひ黃郛政權を擴大して對日政策遂行の圓滑を期す一方、西北を中央の統制下に置いて西南との抗爭に後顧の憂ひなからしめんとする一石二鳥策とみられ各方面の注意を集めてゐる

西北には今なほ多數の小部隊が殘留し人民も共産思想にかぶれてゐるもの多く軍事的には奮鬪しても その跡の政治工作が非常に難しいであらうと、また過般來征戰を始めた共産軍大部隊は一部は廣東省の北部を衝くごとき氣勢を示してゐるが積極的に湖南省南部より貴州を通つて四川省に入るものと見られてゐる

于學忠居据り

【北平特電四日發】蔣介石氏は北平滯在中黃郛政權を中心として北平に於ける諸勢力の協力一致を計り黃郛氏の實力を增大して今後の對日策遂行を容易ならしめる事とした、なほ河北省主席于學忠は其のまゝ居据わる事となり人事には何等觸れなかつた

河北省の掃匪工作
大いに進展す

【上海特電二日發】支那軍某政府要人の語るところによれば、河西省における政府軍の掃匪工作は大いに進展して興國、石城、寧都の各城市は既に奪回したが首都瑞金は攻めるに難く守るに易い地の利を得てゐるので早くとも今年一杯はかゝる見込みである、尙奮匪……

渡洋作戰堅持の論據極めて薄弱
わが海軍方面で冷笑

【東京四日發國通】アメリカの進政的渡洋作戰主義は日本の比率撤廢自主國防主義の正論と正面衝突し今次の豫備會商に一大溝渠を構成するに至つた而してアメリカは渡洋作戰の論據として東洋に於ける領土保護の爲めに渡洋作戰が必要とするならば何故に英國はアメリカの西海岸にある西印度諸島の領土保護の爲めに渡洋作戰主義を確立しないか而もイギリスはアメリカと十對十のパリテイにありながら不安を唱へないのに獨りアメリカのみが東洋に於ける日本の六割……を强調してゐるが遠隔地にある領土の保護がそれ程渡洋作戰を必要とするならば何故に……の軍備に脅威され軍縮精神の破壞者たる渡洋作戰主義を敢て堅持するは論據極めて薄弱であるされば……作戰の爲めのフイリッピンであるとし我海軍方面では冷笑してゐる

孫科氏上海着

【上海四日發國通】立法院長孫科氏は昨日南京より上海着最近の政情につき大要左の如く語つた

中央の對西南關係に就ては蔣、汪兩氏と胡漢民氏との直接談合を希望し胡漢民氏の北上を望んでゐるが、行掛り上胡が腰を上げることは望み得ない、五全大會が延びたのでゆつくり交涉を進める筈だ、中國新憲法草案は先程立法院の審議を終り中央に送つたが五全體國民大會の延期で憲法の公布も無期延期となつた

大連特務機關縮小に內定

機構問題の紛糾に際して臨時開設された大連の特務機關は問題の解決に伴ひ近く縮小さるゝと共に常設機關となることに內定し新組織に就いては岡村參謀副長が五日歸任の上軍司令部に於いて協議を遂げ菱刈司令官の決裁を經て決定するものと見られるが、大體奉天特務機關の出張所となり少佐級の主任者を置き奉天特務機關長は今後一ケ月のうち十日內外を大連に滯在することゝなる模樣である

作蠶糸加工場設置問題
吉岡氏內地へ

【安東電話】滿洲特産の一……

明大々同會

明治大學々生有志に依つて滿蒙事情研究機關として最近明治大學大同會が組織され鵜澤學長を總裁に志田商學部長を會長に、鄭滿洲國國務總理、謝外交相、丁駐日公使石光眞臣中將、その他の日滿名流を顧問に推戴し全大學をして滿蒙を認識せしめ日滿共榮を理想に純眞なる精神的運動を興すこととなつた

圖們税關竣成

【圖們四日發國通】約二十萬圓の巨費を投じて今春以來新市街圖們驛前に工事を進めてゐた圖們税關は、今回正廳內外設備から首腦部の官舍、獨身合宿等全部竣成したので松原税關長の名を以て各方面に案內狀を發し四日正午新築落成式を擧行した

バレー氏來滿

【安東電話】日露戰爭當時フランス有力紙の從軍記者として活躍し爾來日本に來ること八回ひたすら日本の立場を世界に闡明しつゝあるフランス政治經濟雜誌の……

郵商の紐育船
大連で爭奪戰か
郵船那古丸下旬入港

日本郵船會社東洋―紐育急行線に配屬されるN型新造船（同ライン船はすべて船名頭文字にNが附く）那古丸（總噸數七、一四〇トン）は豫て橫濱船渠に建造中であつたがこの程進水を見、十月二十五日同會社に引渡され愈々その姿を同航路に現すことになつた、しかして同船は橫濱出帆後まづ南洋、臺灣方面の米國向蒐荷を行ひたる後來る二十三日大連に入港し同樣滿洲特産其他米國仕向貨物を積載し紐育へ向ふこととなつてゐるなほ同紐育急行線には現在N型長良丸、能登丸の兩船が就航してゐるが、今回の那古丸と共に近き將來において野島、能代、鳴戶丸の新造船を配し六隻就航を目指してをり、すでに野島丸は長崎造船所において去る十月二十四日進水し近く那古丸同樣就航すべく、以上の六隻完航の曉には大阪商船紐育急行線の競爭ラインとして大連においての米國向貨物は勿論、米國の滿洲向貨物の蒐荷に相當激甚な競爭が開始されるであらう

エルタン・コチヂヤン紙の記者バレー氏は三度來滿約一ケ月の豫定で滿洲財政經濟の調査を爲しフランスに報告する爲め三日午前十一時過安先づ大連に直行した、乃木大將や桂公は氏の親友であつたと語りなか〳〵元氣であつた

郡山滿鐵理事

【奉天電話】事務視察のため二日來奉した郡山滿鐵理事は四日午前十一時二十分發列車にて五龍背に向つた

圖們分署長に功勞記章
廣田外相が授與

【圖們四日發國通】圖們領事分館警察署長佐藤警部は昭和七年六月九日、同十二月四日の兩日嘎呀縣分署が匪襲を受けた時同分署長として少數の署員を指揮し勇敢に行動して遂に之を擊退し署及び部落民の危急を救ひ得たる功勞拔群にして一般警察官の龜鑑たりとし十月十五日附を以て廣田外相より警察官功勞記章を授與される事となつたので之が傳達式は右の目錄及び記章の到着を待ち龍井間島總領事館において擧行されることゝなつた

毛皮商貸附金
兩銀回收を急ぐ

【奉天電話】滿人側に於ける細毛皮商は例年夏期産地に出張多量の生毛皮を仕入れ自設工場に於て精製した上冬期需要期に賣出してゐるが、これら毛皮商に對する金融は專ら中國、交通兩銀行によつて行はれ例年夏期貸付を行つてゐる本年の貸付額は中國、交通兩行を合して約百十萬圓で、この中最近に至り半は回收濟みの模樣であるが、今年は一般に細毛皮の賣行不振より殘金の回收に不安を抱き、前記兩行では目下回收に狂奔してゐる

堀切氏新京へ

【ハルビン四日發國通】滯哈中の貴族院議員堀切善次郎氏は四日午前九時十分飛行機にて新京に向つた

臧民政部大臣

【奉天電話】滯奉中の民政部大臣臧式毅氏は四日午後一時五十二分發あじあで歸京した

村田本社長

村田本社長は四日新京に於ける村上久米太郎氏表彰式主宰の後、同地一泊、五日新京出發、秋山販賣部長を帶同して全滿各地駐屯の皇軍部隊慰問の途に上り約二週間後歸社の豫定である

人事

▲岡村寧次氏（關東軍參謀副長）五日あじあにて大連發新京行の豫定

松本嬢から本社長へ 遞、拓兩相のメッセージ

昨日新京支社を訪れて手交

【新京電話】うら若い女性として最初の皇軍慰問並に日滿親善の重大なる使命を帶びて愛機白菊號を操縦し東京、新京間二千三百キロ翔破の壯擧を見事に完成し四日午前十時四十分國都新京に到着した松本きく子嬢は一先づ大和新館に落付き旅裝を解き少憩の後午後二時山口飛行士、佐藤機關士と共に本社新京支社を訪問し義人村上氏表彰式に參列のため來京中の村田本社長に對し携行せる床次遞相、岡田前拓相の兩氏より村田社長へのメッセージを手交した、なほ五日は日滿各機關を歷訪し岡田首相より鄭國務總理へ、貴衆兩院議長より菱刈軍司令官へ、廣田外相より謝外交部大臣へ、其他携行せるメッセージを手交する筈である

拓相のメッセージ

松本きく子嬢の日滿親善皇軍慰問の爲日本女性飛行家として最初の壯圖たる訪滿飛行の決行は日滿兩國民の親善緊密の關係を一層躍進せしむべきを信じ切に其の成功を期待しつゝあり此の機會において滿洲日報社の發展を祝す

昭和九年十月　拓務大臣　岡田啓介

滿洲日報社長村田愨麿殿

遞相のメッセージ

日滿親善並に在滿皇軍慰問の爲松本きく子嬢に依つて決行せられまする東京新京間二千三百粁の鵬程翔破の壯擧は日本女性としての意義ある處女航空でありまして之により日滿兩國の親善を一層深め更に在滿皇軍慰問の使命を全うすべきを信じ洵に慶祝に堪へませぬ茲に謹んで貴社の隆盛を祈ると共に貴紙を通じ滿洲國民並に在滿同胞に對し衷心より敬意を表する次第であります

昭和九年十月　遞信大臣　床次竹二郎

滿洲日報社々長村田愨麿殿

訪滿女鳥人第二陣 馬淵嬢奉天に着く

花束を受け歡迎宴で祝盃を擧ぐ

【奉天電話】白菊號の訪滿に次いで第二陣を承る馬淵てふ子嬢のサルムソン機は四日午前八時平壤城を出發、途中平壤上空において機關に故障を生じて不時着直に新義州に向ひ、午後二時出發一路奉天に向ひ同四時奉天上空に銀翼を現し初冬の夕陽を浴びながら巧な旋廻飛行によつて市内上空より在奉各新聞社宛てのメッセージを入れた通信筒を投下したる後多數觀衆の出迎へ裡に東飛行場に着陸した女性の身で單身操縦、此の壯圖を遂に完成した馬淵嬢は、心持ち陽燒けした顏に喜びを漂はせながら訪滿の第一歩を印し、日滿各團體よりの花束を受けて歡迎宴に臨み祝盃を擧げた

旅順高公覇を握る

全滿中等ア式蹴球戰

滿鐵蹴球部及び本社主催の第三回全滿中等學校蹴球大會第二日たる旅順高等公學校對大連商業優勝戰は四日午後一時より大連運動場にて綿綿（主審）世古、李廣義（線審）三氏審判、旅順高公先蹴で開始、大商奮戰せるも旅順高公の攻撃鋭く八對〇で大商慘敗した、右試合終了後米野本社編輯局長より優勝チーム旅順高公に優勝盃及び本社牌を、又大商に本社牌をそれ〴〵授與し午後三時半閉會した

	（前半）	（後半）
高公	0 1 2 1 0 1 2 ＝ 7	1 0 0 0 1 0 2 ＝ 4
大商	0 0 0 0 0 0 0 ＝ 0	0 0 0 0 0 0 0 ＝ 0

（五分毎の得點）合計0—11

經過

◇前半…高公トスに勝ち風上（プール側）に陣し大商サックオフ高公直ちに攻入りゴール前に殺到するもシュートきまらず五分右より攻入り得點するかと見えたが成らず漸く六分高公潭のシュートきまつて先取▼十分またも高公孫右よりのシュートあるもGK好守更に十一分潭のシュート成る▼續いて十四分高公右より攻入り中央にパス大商GK[illegible]ごくを潭とび込んで得點を重[ね]更に二十分には孫のシュート[、二十]九分には吳のロングシュー[ト、三]十一分には陳、三十二分には[孫の]シュートそれ〴〵成り7—0[で前]半を終る

◇後半…大商風上を利して[高公]に攻入るも高公の守り堅く[illegible]公入り孫のシュートGKをは[illegible]を菅原ミスキックしてゴール[illegible]爾後大商攻入らんとするも高[公F]Bの好守にはばまれ返つて二[illegible]分高公左より攻入り李のシュ[ート]成つて益々得點を大きくす▼[illegible]の攻撃戰に入る三十三分高公[illegible]り孫に渡つて孫、又三十四分には左より攻入り孫のシュートそれぞれ成る、11對0のワンサイド・ゲームで終る（寫眞は優勝戰と優勝チーム旅順高公）

（高公）GK 夏　FB 珠福　聲栄任新高華祺玉 / 忠寶安德隆宇永學邦承志 / 耿祭劉張于陳李潭吳孫張

（大商）GK 王　FB 王張　角菅原　陳田島賀森井 / 古古高大王

(32) GK (2)
(2) FK (6)
(0) CK (14)

17A1 日米野球戰 東倶慘敗す

【東京四日發國通】日米大野球戰第一日は薄曇りの四日午後零時二十分先づ歷史的な入場式を行ひ、それより兩軍の守備練習があつて後一時五十五分、大隈侯の始球式があり、かくて一時五十八分全スタンドを埋める六萬餘の觀衆は熱狂裡に東京倶樂部先攻でクリーク（球）池田、天知（壘）三氏審判の下に此の豪華野球戰の火蓋は切られ豫想意外の開きを見せ結局十七A對一で米國軍勝つ、閉戰三時五十四分、兩軍のメンバー、スコアー左の如し

（東京）鄕田井武寺塚桝本片永宮久手高中菊保谷口 / 7 4 8 9 3 5 2 1 1 1 6

（米國）アネクマゲルゲフアミバホ / ジャーンジャー、マクネア、ゲリンジャー、ルース、ゲーリック、フオックス、アヴアリル、ミラー、バーグ、ホワイト / 6 4 7 3 5 8 9 2 1

東京	0 0 0	0 1 0	0 0 0	1
米國	2 3 1	2 4 0	2 3 A	17A

奉天金組竣工

【奉天電話】今春來平安通り四番地に起工中の奉天金融組合新事務所は昨今漸く竣工したので、同組合ではこの三、四の二日續き休日を利用し現在の春日町事務所より引越を行つたが、これに伴ひ來る十一日午後三時より臨時總會を開催し、事務所移轉に伴ふ定款一部改正を附議する筈

八相　狡い保險會社

◇僕の友人である電々會社新京勤務員某氏は、勸められるまゝに他の同僚と共に〇〇保險に加入を申込み、體格檢査もパスし、保險料もその社員に支拂ひ、一兩日中には本證券が送付されようとする間際に、不幸感電して即死した。

◇よつて遺族は〇〇生命に對して保險金の支拂方を申出たところ會社側は意外にも保險料の領收證は單なる預り證に過ぎず、本證券は交付してないとの理由で保險金の支拂を拒絶してゐる。

◇ところが、同時に加入した他の二人の同僚に對しては、會社は事件直後に本證券を屆けて居り、これで見ると會社が突嗟の間に如何に陰險な手段を弄したかが判るわけで、これを聞いて切齒扼腕せぬ者はない。

◇聞けば〇〇保險は第一回の保險料は殊更に預り證として置いて責任を回避してゐるとの事だ、保險はその名のごとく人生の危險を保證するもので、さればこそ個人は如何なる犧牲を忍んでもこれに加入するのだ、それを加入者の無知に乘じて加入者のために不利な解釋をして恬然たることは、法律上の責任は第二として保險事業そのものゝ使命を自ら輕んずるものではないか、保險會社の反省を促すと共に保險に新に加入せんとする人にも、かゝるトリックにかゝらぬやう警告したい。（電々會社 草木生）

鑛業監督署官制

【十一月一日公布】

第一條　鑛業監督署は實業部大臣の管理に屬し鑛業に關する事務を掌る

第二條　鑛業監督署を通じて左の職員を置く

署長	四人	薦任
理事官	四人	薦任
技正	四人	薦任
事務官	四人	薦任
技佐	六人	薦任
屬官	十六人	委任
技士	三十人	委任

第三條　署長は實業部大臣の指揮監督を承け署務を綜理し所屬職員を指揮監督す

第四條　理事官は署長の命を承け事務を掌る

第五條　技正は署長の命を承け技術を掌る

第六條　事務官は上司の命を承け事務を掌る

第七條　技佐は上司の命を承け技術を掌る

第八條　各鑛業監督署に鑛業監督官を置き理事官、技正、事務官及技佐を以て之に充つ

鑛業監督官は上司の命を承け鑛業警察に關する事務を掌る

第九條　屬官は上司の指揮を承け事務に從事す

第十條　技士は上司の指揮を承け技術に從事す

第十一條　各鑛業監督署に鑛業監督官補を置き屬官及技士を以て之に充つ

鑛業監督官補は上司の指揮を承け鑛業警察に關する事務に從事す

第十二條　鑛業監督署の名稱、位置及管轄區域は實業部大臣之を定む

本令は公布の日より之を施行す

[illegible]に拔擢されたものである（寫眞は沖田氏）

連鎖商店改組 創立總會

連鎖商店では合資會社としての改組創立總會を三日午後一時より開催、定款、株の申込みその他を決定していよ〳〵更生のスタートを切つた

清朝實錄の出版

ラマ廟をも修繕

日滿文化協會の準備

【東京特電四日發】滿洲國と支那に一擲死保存されてゐる清朝實錄は清の太祖から穆宗に至る三百年間の實際的政治の機密文書で未だ公開されたことがないが、昨年十月組織された日滿文化委員會では十二月より滿洲國皇帝御秘藏の七百五十八帙、三千八百一冊を經費二十三萬圓、二年計畫で出版することになつた、完成の上は東洋研究に新材料を提供し滿洲國敎化に資するところ大なるべく期待されてゐる、また同委員會古建築保護修繕は先づ熱河の八大喇嘛廟と離宮から始むべく、既に伊東忠太博士が工務所を建設したが來年の六日迄を調査期間とし七月より着工する筈、右につきさき頃渡滿した水野梅曉氏は語る

熱河の喇嘛廟は八廟の一つ一つが山嶺を中心として一大市街を創つた素晴らしいもので、世界的な大美術だ、二十日過ぎ再び渡滿して滿洲國文化のため盡したい

北安の明治節

【北安鎭特電四日發】十一月三日の明治節に當北安鎭においては日本小學校で午前九時より軍官民約二百名が參加の上盛大に擧行せられ、式終了後校舍裏の廣場において小學兒童の運動會が催された、初冬の空高く風一つなく、惠まれた小春日和に實に盛會裡に午後終了した

滿洲國參議一行參內

十月三十日夜入京した滿洲國參議一行は三十一日午前十時宮中に參內來朝の記名挨拶を行つた（寫眞は帝國ホテルより參內する一行）

財政經濟の轉機 增稅案打診（上）

衝擊甚大なる一投石

◇曩に岡田首相が、齋藤前內閣の政策を踏襲するといふ單純なる意味において、明年度は增稅せぬと言明したのは財政經濟に素人である首相のことだから、單にさう思つた所を語つたまでゝ、今日增稅實現の決定を見たからといつて二枚舌を告める譯にも行かぬが、兎に角首相の否認を裏切つて、增稅案が急に飛び出す事になつた。而して初めから增稅論者である藤井藏相が、今日此の決意をしたことは、敢て驚くには當らぬが、相談を受けた後ろ楯の高橋前藏相が之を應諾したことは多少意外の感がある。產業振興を唯一無二の經濟政策とし、事業界のインフレを促進することに努力して來た高橋老としては、增稅問題に尙早論者の高橋老が藤井藏相に全幅の信賴を繫いでゐるとはいへ、今迄行つて來た所謂高橋財政を變更し財政上の一轉機を劃する增稅であるから、例の財界講義の一くさりは必ずあるものと思つてゐたら案に相違して、已むを得ざれば增稅不可なしとの意見で機れ賛成だといふから、臨機應變の妙策に富む高橋老は又別に良い考へでもあるのだらうと心窃に望みを繫ぐ人もあるやうだ。

◇增稅は明確に國民の負擔を增すことである。幾ら特別利得稅と銘打つて、軍需工業のインフレを重心とし、非常時利得を稅源に狙つても、亦その利得の減ずる時の稅を約束しても、必要の財源として一旦賦課されたものが容易に廢滅を見ないことは、過去の事例が明示してゐるところである。又此の特殊稅源への課稅が凡ゆる方法を以て、大衆化されると同時に恒久化さるゝ事象も、多くの場合免れ難き所である。隨つて今回の增稅も各界に影響甚大なる一投石として、幾多の衝擊を政界財界等々に與へることは明かだ。特に注目すべきは、尨大軍事費豫算を削減する最後の切札として、恰も取つて置きの形であつた增稅を今日の機會に實現することは、財政と軍事との關係に重要なる轉機を劃することが看取される。時に八億に達せんとする滿洲事件費と兵器資材の改善を主とする陸軍の充實費及び海軍の補充計畫に要する軍事費が全豫算の四割三分を占むる狀態に於て、之を赤字公債で支拂してゐる間は直接國民の負擔として痛感されずに濟んだが一度增稅となると、軍事費と國民負擔の直接的關係に就て痛切なる影響が考へられることになる。

◇だから軍部は軍事費の查定に當り、其の削減額を復活し補塡する財源として非常時利得だけを目標とする增稅を强調し、大衆的負擔を回避する趣旨を明かにしてゐるのであるが、右の如く課稅の轉嫁は先づ業界が其の勞銀に無關心ではない筈で、失業豫備群を有せる時打算的の節約が實銀低下に動向することは餘りに明白だ。又生產と消費との複雜なる交錯を巧に利用する資本家階級の離れ技が、結局國民大衆への負擔に移行する方法も考へられるであらう。殊に今回の增稅をトップとして、全面的增稅が行はるゝ機運を見逃してはならぬ。卽ち斯かる增稅の波動を現在の稅制を基準として考へる時は、赤字公債を解消して、財政を常態に恢復する至當の理論の下に、今迄の赤字公債の負擔——少くとも差當りて其の利子——と今後も赤字公債に依る程度のものとを併せて逐次國民負擔の增加に動向することは殆ど疑ひを容れない。固より國防費を國民全體が負擔することは當然ではあるが、以上の觀點において四割以上の軍事費が增稅を促すといふ事實は、否認することが出來ない。

◇今回の增稅決定も軍事費支拂のために、軍部の强硬な要望を基調とするものであるが、それが軍部の要望するが如く非常時利得のみに局限されるならば、軍事費に依りて特殊利得を有する軍需工業を中心として、法人も個人も當然甘受すべき至當の負擔で、何人も異議ない所である。併し今迄は業界を萎縮させざるものとして、荒木前陸相の熱心なる提唱にも拘らず高橋財政の容るゝ所とならずとして今日に至つた。然らば今日は最早業界に何等の懸念なくこれを行ひ得る時機に達したかといふに、それは人に依りて所見を異にし、殊に全面的增稅を促進する前提として、證券界の悲觀的考察を初めインフレ景氣も段落だとして、一種の失望を以て迎へてゐる者もあるが、金融界も事業界も大所では敢て反對してゐない。寧ろ此の上やつたら惡性のインフレとなるといふ警戒から、增稅に賛成してゐる者もあるので、財政上の要求と共に財界も亦至當の結論？として迎へてゐる。此の消息が果して何を語るか頗る興味がある。（東京Y・H生）

明治の佳節奉天で 全滿在鄕軍人大會

宣言決議で非常時意識高調 軍縮代表へ激勵電

【奉天】明治節の佳き日を卜して全滿在鄕軍人大會が午後二時四十分より、商埠地敷島小學校講堂に於て左の如く開催された

一、開會の辭(村瀨中將)
二、會長推薦(谷田中將に決定)
三、經過報告
四、各地代表意見發表
五、祝辭祝電
六、宣言決議
七、起草委員選擧
八、宣言決議議決並に處置
九、閉會の辭(座長谷田中將)
一〇、萬歲
一一、閉會

村瀨中將の開會の辭に大會の幕は切つて落され、醫大の講師十川彌一氏の進行係でプログラムは順を追うて展開され各地代表の憂國の熱辯あり、續いて決議文起草委員は座長推薦により山本(安東)井上(蘇家屯)樋口(營口)加藤(撫順)村田、林、加藤、奧島、服部(奉天)の諸氏が指名され、二十分休憩の間に決議文作成、谷田座長朗讀發表するや滿場一致可決、なほ軍縮代表への激勵電文をも可決、谷田中將の閉會の辭ありて後、木下大佐の發聲により萬歲三唱、大喝采裡に暮靄迫る午後四時ごろ終了した、因に同大會の出席者は村瀨中將、谷田中將を始め山ノ內、大屋敷、水町少將外地方代表二十三名、講堂は當地有志で滿たされてゐた、尙閉會後一同は忠靈塔に參拜後午後六時より鹿鳴春において懇親會が開催された

宣言

今や皇國の鴻業は愈々その歩武を進め東洋平和の礎石益々堅きを加へんとするの秋に方り、內外の情勢は極めて多岐多難にして特に虎視眈々たる隣邦の策動並に軍縮會議の動向は東洋平和の確立を阻害せんとする、茲に日滿兩國興廢の岐路に直面せる吾人は滿天下に要望す、宜しく擧國一致翕然として蹶起し國策遂行に邁進以て聖業を翼賛せんことを

決議

一、吾人鄕軍は其本分に鑑み國難突破の先驅者たらんことを期す
二、滿洲國の現狀に對し內外の認識を是正し國論の統一を期す
三、滿洲新機構に關する政府案の速かなる實現と本問題を政爭の具に供せんとする策動の絕滅を期す
四、海軍軍縮に關する帝國案の徹底的貫徹を支持し國防自主權の確保を期す

皇紀二千五百九十四年明治佳節に際し於奉天
全滿在鄕軍人有志大會

軍縮代表激勵文

在滿在鄕軍人は各位の御健鬪を感謝し我主張の貫徹を期待す

を經て奉天より天津方面視察に向ふ豫定

鞍山郵便局 集配時刻

【鞍山】ダイヤ改正に伴ひ郵便局の集配時刻は一日から左の通り改正實施された

◇郵便函開函 一日三回午前七時二十分大連方面、午後五時三十分內地朝鮮新京撫順方面、同九時各地(但し午前七時三十分の一號便は醫院前、大正通、上臺町、守備隊前は開函せず)
◇配達 通常郵便物は一日二回午前八時、午後一時、鐵西は一回小包は午後一時一回

全滿中等學校 辯論大會 非常な盛況

【奉天】滿洲醫大主催全滿中等學校辯論大會は三日午後一時より春日小學校講堂で開かれたが、非常時を反映した若人の純眞な獅子吼に講堂を埋め盡した約五百の聽衆を陶醉させ、午後四時過ぎ盛大裡に散會した、入賞者並に選外入選者次の通りである

一等(醫大學長カップ)「親和」奉天商業 福岡 次夫
二等(醫大豫科主事カップ)「新日本建設に於ける青年の自覺」育成 鳴神 次雄
三等(辯論部長カップ)「我等は日本人」奉天中學 堀江 一夫
選外
「自己批判」南滿中學堂 徐 日發
「世界歷史上に於ける日本の地位」撫順中學 織田 富夫
「巨火を翳して」育成中學 外山 立也

開原院內在貨

【開原】當地院內在貨の十月下旬における數量次の如し(單位石)

品目	數量
大豆	一三、七九〇
高粱	三、五六〇
包米	二六〇
粟	一、一二〇
其の他雜穀種子	二、一八〇
籾	九、〇八〇
精米及玄米	六四〇
合計	三〇、六三〇

藝酌婦の花代 誤算を許さず 奉天署の不良征伐策

【奉天】奉天署保安係ではかつての龍の家問題、又最近城東區に於ての抱妓の待遇問題等樓主と抱妓との間に感心出來ぬ問題が起るので、管內に於ける各料理店の內情調査を行ふべく內偵中であるが、月末に於ける藝酌婦の花代計算に於いても屢々計算違ひを生ずる店には單に誤算とせず、帳場にはしつかりした者をおかしめ抱妓の不安を一掃せしめる方針であると右に就き保安係では語る

その中には抱妓二十人中十人迄に今月だけと云ふのでなく每月繰返してゐる店もあり、之等不正なる店には斷乎として處分する方針であるが今の所無許可賴母子の調査をしてゐるのでこれが一段落を見て不良料理店主の處分をする方針であるが中には相當惡辣な手段で抱妓から搾取してゐるのもある樣だ

煖房具の檢査

【奉天】嚴寒に向ふ折柄例年ストーヴの失火による火災の損害は莫大な額に上るので、事前にそなへて奉天署に於ては過般來附屬地內に於ける一萬六百七十五戸のストーヴの一齊檢査を行つたが、現在のところでは危險の注意を受けたもの

▲煙突九一五▲ストーヴ六一二

取付け箇所の變更を命じたるもの

▲煙突一八六▲ストーヴ一三六

計一千八百九十九戸であつたが現在ストーヴの取付けをなさゞる家屋もあり、引續き檢査を行ふ筈である

開原の明治節

【開原】當地における明治節佳節は淸澄なる天候に惠まれ午前十時開原神社において在住官民多數參拜裡に明治節祭を嚴かに執行、十一時半より公會堂にて祝賀宴あつた、此の日開原小學校にては去る十月三十日の教育勅語奉戴記念日を卜して五年生以上の生徒の謹書になる教育勅語を奉納することろあつた

七人組滿人强盜の 殘黨悉く逮捕

三日の佳節・奉天署に凱歌揚る

【奉天】一日吹雪の宵、奉天宇治町十六番地不二商會佐久間方を襲つた七人組滿人强盜の首魁朱華喜(二九)は自己の拳銃に傷き逮捕され二日留置場內で死亡したが、殘る一味逮捕のため奉天署にては鋭意探査の結果二日午後に至り所在を突き止め、三日午前四時拂曉を期して三浦司法主任、松尾次席以下全刑事隊は本署に集合し自動車三臺に分乘、北市場、大東邊門、魔軍屯の三方面に分れ出動し、それ〲宿所に寢込を襲ひ朝の靜寂を破る大亂鬪の末午前八時に至り犯人六名を逮捕、モーゼル一挺彈丸十數發を沒收し近來稀に見る大捕物陣で、三日佳節の輝かしい陽光を浴びて凱歌を揚げ歸署したが犯人は

山東省博平縣生れ奉天保安堡七條胡同 洋車夫 史長江(三三)
山東省博平縣生れ同上 洋車夫 王文昌(三二)
山東省淄陽縣生れ奉天北市場守前里 洋車夫 柴運寶(三七)
山東省博平縣生れ奉天大東邊門外 洋車夫 鄒恒有(二二)
山東省善縣生れ奉天魔軍屯大倉組工事現場 苦力 郭庚文(二五)
山東省善縣生れ同上 苦力・張桂江(三六)

の六名で、取調の結果今回の宇治町不二商會事件の他若松町木製木局殺人事件、白菊町競馬場事件、宇治町第二中川事件、柳町滿人雜貨商事件等を行つた兇惡なる强盜團の一味であることが判明したが、立川署長は本捕物に際して機構問題直後であり亦明治節に當つて斯くも機敏にこの大捕物を敢行した署員に對して慰勞のため金一封を送り表彰したが、司法係では以上の犯行を追究するため目下鋭意犯跡調査中である(寫眞捕はれた一味)

銀紙運動

集つた、集つた 袋に山盛り三杯

鞍山料理店組合の紅裙連や 健兒團の大童な活動

【鞍山】本紙の銀紙愛國運動は全滿各地で多大の後援を受けたが、殊に當地では創立直後の鞍山健兒團により率先各要所に「要らない銀紙を集めてお國の爲につくしませう」の投入函を設置して大小市民の愛國心に訴へたところから俄然全市民の絕大なる後援を受け、學校を始めとして官衙、會社、商店からカフエー、料理屋に至るまであらゆる方面に銀紙報國が實行されて蒐集實績は素よりその精神的效果は實に偉大なるものがあつた、本社では十月末を以て第一回の蒐集銀紙を大連の本社に集めることゝなつたので支局では關係方面に右通知の上目下發送準備中であるが、鞍山健兒團では本日早速各投入函の銀紙を集めて逸早く支局へ持參し、又柳町料理店組合では藝妓一同によつて集められ、僅かの期間中に集まつた銀紙はメリケン袋大の袋に三杯、目方にして三貫餘匁恐らく幾萬枚に達する銀紙であらうなほ支局では第一回分として即日列車便にて大連に發送したが未發送者は至急支局まで持參されたい

邦人質屋の 贓品を沒收

【奉天】滿洲國警察官が城外の日本人質店に於て質店取締令を濫用して贓品を沒收した事件があつた小西邊門外木原市郎が小東關大街に永成當(質店)を經營してをりその店に第二區警察署員某が先月二十九日午後一時ごろ來て「贓品を出せ!出さねば三百圓の罰金に處す」と言明したので滿人店員劉は警察官の言ふがまゝ十六圓五十錢で入質した品物を渡し劉は早速この旨店主木原に報告したところ未だ治外法權撤廢されざる今日滿洲國警官の指圖を受ける道筋でないと二日午前十時領警に屆出て來たので、領警では早速事實調査すべく目下瀋陽警察廳に問合せ中

惱む鞍山體育協會 改組して存續

體協の下に三團體組織

【鞍山】維持負擔其他の關係から更生か解消かとかれて問題となつてゐた鞍山體育協會の善後策については其の後地方事務所、製鋼所及市中側各當事者間において夫々研究中であつたが、ウィンタースポーツの季節を控へてこの際早急解決の必要ありとし、二日午後二時前記三團體より代表委員各數名出席の上協議を遂げたが、その結果市民の體育はやはり全市民一致これに當るべきものとして體育協會の更生改善をはかることに一致その方法としては從來全部を體協にて統制實施し來つたものを分つて二種類とし柔道、劍道、大弓は體協直裁すること、野球、庭球、スポンヂ、排球、スケート、角力等は三團體別に維持經營することに一決、九日更に總會を開いて正式に決定することを申合せて散會

依つて今後の鞍山體育界は滿鐵製鋼所市中の三團體が體協の統制下に對立的に發展向上することゝなつたわけで、屢々對抗試合も演ぜられ他都市對抗の場合等も三團體リーグ戰を行つて優勝者を鞍山代表として派遣する由であるが、市民運動會は特別制度に依つて盛大に擧行すると

大谷光暢師 撫順を視察 表忠碑、殉職者碑に參拜

【撫順】來滿中の大谷光暢師同裏方は既報の如く二日奉天北陵參拜午前十一時二十分奉撫國道を自動車で來撫、表忠碑前に出迎への在撫有力者に挨拶をなしそれより表忠碑、炭礦殉職社員碑に參拜して午後二時本願寺に到り一般信徒に親教、同二時裏方の親話あり終つて盛大な歸敬式を行ひ炭礦ホテルに向つたが、一泊の上三日は午前七時ホテル發炭礦各所を見學同九時本願寺發再び自動車で奉撫國道

匪首郭新會 惡運盡き捕はる

復縣警務局の活動

【瓦房店】復縣警務局では去る三十一日交戰一時間匪首郭新會(三九)に三彈を浴せかけて遂に生捕にした、郭は滿洲國成立前に於て既に匪賊と化し、部下十數名と共に匪襲地たる復縣第四區大房身(瓦房店より七十二支里西方)四區、五區を中心に各地の村公署を襲擊して銃器を掠奪或ひは富家を襲うて人質を拉致、身代金を强要、放火射殺等ありと凡ゆる兇暴を逞しうし治安を攪亂しつゝあつた凶匪不敵の頭目であるが、復縣警察隊の追擊急なるため莊河縣に逃れ一時行方を晦ましてゐたが本年九月上旬又復舊城附近に舞戾り神出鬼沒豪農を荒し廻つた稀代の首魁である、警務局では本部を舊城警察署に移し、搜查隊數班を編成し保甲團員千六百餘名と協力、不眠不休寢食を忘れて搜查に腐心してゐたが被害者は後難を恐れて屆出をなさず亦匪賊の立ち廻り先を知りながら報告せざる事實判明せるを以て匪賊の行動を報告せざる者は斷然處分する布告を發し、潛行搜查中十月三十一日午前十時頃第五區管內王家屯東方高地の廟に潛伏してゐる報告に接した、此の報告により警務局は俄然色めき有山警佐岡本、益原、高橋の各指導及警察隊員二十餘名、トラックに分乘時を移さず急行騎馬隊と共に王家屯廟高地を包圍し一時間半交戰の結果、匪首郭新會は身に三彈を負ひ步行出來ず這ひながら山を下る處を生捕にした、この戰鬪に勇敢にも賊軍に接近し頭目に重傷を負はした殊勳は姚啓堂、申坤榮の兩警士である、岡本取調官に對し犯行の全部をスラ〲と自供し死刑は覺悟だが、今一度妻子に會はしてくれと願出た、係官も如何に獰猛の匪首でも罪を憎んで人を憎まず妻子の情に變りなく面會を許してやると云へば淚を流して喜んだと云ふ、是れで縣內は全く安全鄕となつた譯である(寫眞は匪首郭新會と逮捕の殊勳者)

滿人の極樂境 八日に開業

六、七兩日披露映畫會

【鞍山】既報鞍山鐵西滿人市街唯一の娛樂場として開館を急いでゐた鞍山劇場株式會社の滿人向映畫常設世界館は今回愈々工事竣工其筋の使用認可を受くるに至つたので同館では、六、七兩日に亘り新設館披露映畫會を開催、日滿各方面の有志數百名を招待その前途を祝福するとゝもに八日より早速一般公開することゝなつたが、工費だけでも二萬五千圓を投じて新設された近代的映畫館とて早くも製鋼所滿人從事員乃至は鐵西市街並附近部落滿人間に異常の人氣を呼び開館を待たれてゐる

瓦房店の奉祝

【瓦房店】明治節の式典は三日午前十時より瓦房店小學校において擧行、定刻官民百五十餘名正裝禮服に威儀を正して參列、式場は秋を彩る白菊の花を兩側に飾り拭き淸められた講堂に一同着席、雪本校長靜かに恐懼して御眞影開帳一同敬禮、君ケ代合唱次に雪本校長「夏の夜も寢覺めがちにて明しける世の爲思ふ事多くして」と御製を讀みあげ御治世を述べて大帝の御偉德を偲び國是の遂行に努力せねばならぬと懇告唱歌も高らかに十一時修了した

營口の明治節

【營口】爽なる晩秋の十一月三日は明治大帝の御偉德を偲び奉り萬民一齊に記念すべき佳き日で營口にては朝來昨日迄の寒さも何所へやら紺碧を流した樣な空に一點の雲もなく小春日和の暖かさに加へて風もなく恰も無風の狀態で鷄の曉を告げる聲も和やかに明治節奉祝に相應しい日であつた、午前九時から同四十分迄營口領事館で拜賀式擧行官民の往來織るが如く引續いて同十時より營口小學校にては同校庭にて國旗掲揚式に次いで講堂に於て擧式十一時より營口神社にて福島神職始め氏子總代に依つて嚴肅に祭典執行、正午より小學校講堂で官民の奉祝宴を催した定刻となるや高橋庶務係長開會を宣し一同國歌を合唱、武田地方事務所長の祝辭に次いで營口憲兵分隊長大畑大尉の發聲で天皇陛下萬歲を三唱、宴に移り次いで松本地方委員の音頭にて大日本帝國萬歲を三唱、官民和氣藹々の裡に散會午後零時四十五分であつた

會と催し

◇鞍山附屬地外滿人無料施療 遼陽赤十字支部が九日劉二堡、十日唐馬寨、十一日八卦溝
◇熊岳城小學校開校記念式 十一月一日同校にて
◇飯島曹長慰靈祭 五日午後二時より湯崗子驛西側山頂の記念碑前にて
◇南滿瓦斯鞍山支店移轉 かねて北四條八に事務所新築中のところ今般竣工を見たので三日同所に移轉
◇鞍山圖書館浮世繪展 四日から六日まで每日午前九時より午後八時迄公開
◇鞍山滿電慰安映畫會 需要家慰安のため四、五兩日富士校講堂
◇鞍山署射擊會 降雨のため延期中のところ五日午前八時より石家峪射擊場にて

各地人事

▲郡山滿鐵理事 七日午前八時四十七分着列車で來安、同日午後七時卅五分離安湯崗子一泊豫定
▲田村主計大尉(佐鎭航空隊主計長)八日午前八時出發赴任
▲井之上遼陽警察署長 二日警察署長會議出席の爲め奉天往復
▲多田晃氏(滿鐵地方課長)同上
▲鹿野豐氏(大石橋滿鐵病院內科醫員)安東病院に轉勤三日午後八時半第一七列車にて離石す

日本棋院 大手合戰譜(十九局)

先 初段 松浦 勝治
三段 宮下 秀洋

制限時間各七時間(但し一分以內は切捨)

●一四一 ろ十三(5分)
○一四二 [illegible]
●一四三 を十二
○一四四 ち十四(1分)
●一四五 ち十五
○一四六 [illegible]
●一四七 と十五
○一四八 と十三
●一四九 り十八
○一五〇 [illegible]
●一五一 ほ十四
○一五二 ほ 七(2分)
●一五三 へ 八(1分)
○一五四 [illegible]
●一五五 は 五(1分)
○一五六 り 七(13分)
●一五七 ぬ 七(5分)
○一五八 [illegible]
●一五九 ぬ 六(4分)
○一六〇 り 八(1分)

【8】

對局者の言葉

所要時間累計(白 五時五十三分 黑 六時廿四分)

(黑)百四十一、百四十三でホッとしました(白)百四十四以下百四十八まで先手なので打つて了つたのですが(白)百五十二は百五十四のツケから打つのが手順でしたが一貫は黑百五十三と此方から出られるのをうつかりしてゐました(白)百五十六て百五十八位からでは間に合ひさうもありません

戰の跡

◇黑百四十三で漸く安心したものゝ、白百四十四以下百四十八まで先手で此地を滅茶々々にされた上、五十一以下の三子の取りが殘つて居るのでは黑はダメ許り打つてゐたのにすぎない畢竟黑百二十九と白百三十と交換したゝめの餘波に外ならず、此れでは形勢全く不明に陷つた◇白百五十に次いで黑(を十九)ならば白(わ十八)黑(わ十八)ならば白(を十九)で何れも白に死形はない◇白百五十二は手筋には相違ないが、黑百五十三の妙手があるのならば、百五十四のツケを先にすべきだつた◇黑百五十三で(ほ八)から遮るのは百五十五に次いで白(は七)と切りを入れられる、其時黑(は六)ならば白百五十三と出られるし、黑(に七)の方ならば白(い六)と先手にワタラれる◇黑百五十五て(い六)ただと白(は七)黑(は六)白(ほ八)と出る手順がある、そこで黑(ほ九)と强引に行くと、白(ほ十)黑(に七)白(に六)黑ツギ白百五十五て恰もよく取られてしまふ

物凄い一瞬時だ

ギリシヤのレスリング選手ジム・ロンドスと「山の人」と綽名とつたディーンとのリグレイ・フィールドにおける熱戰。觀衆は無慮四萬だつた。文字通り虛々實々の力鬪を演じたあげく、第二回の追擊でロンドスはディーンを苦もなくリング外へ投げ出したが、寫眞は將にリング外へ飛行しやうとするディーンのくるめかしき一瞬です

ラヂオ 五日

大連(JQAK 六五〇KC)

午前の部

六・三〇 ラヂオ體操
七・〇〇 ラヂオ體操
八・三〇 (東京より)經濟市況
九・四〇 經濟市況
一〇・〇〇 料理獻立「物菜料理」大連羽衣女學校紫藤タカ子
一〇・四〇 經濟市況、公設市場値段

午後の部

一二・〇〇 時報、經濟市況、ニュース、レコード
〇・五〇 (東京より)日米對抗野球試合實況(明治神宮外苑野球場より中繼)
二・〇〇 經濟市況(野球中斷)
三・三〇 經濟市況、ニュース
五・〇〇 (大阪より)子供の時間 お話「殉死と埴輪」天坊幸彥、コドモノシンブン
六・〇〇 ニュース、告知事項、職業紹介事項
六・三〇 (東京より)講演「博物館の本分」杉榮三郎
七・〇〇 (東京より)連續講談(第一夜)「靑砥政談」一龍齋貞山
七・三〇 東海道演藝道中(第十二夜)=桑名附近桑名町中橋座より中繼=解說西村樂天▲前奏樂「お江戶日本橋」▲浪花節「木曾川治水記薩摩義士」敷島大藏▲俚謠「名取祭はやし」▲宮詣での唄▲新民謠(一)宮田小唄、(二)競馬小唄―桑名町連中
八・三〇 時報、ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組のおしらせ
八・五〇 義太夫伽羅先代萩(政岡忠義之段)彈語り―野澤吉種

奉天(MTBY 八九〇KC)

午前の部

六・五〇 (東京より)ラヂオ體操(日語)
七・一〇 (新京より)ラヂオ體操(滿語)
八・三〇 (東京より)經濟市況
八・四五 天氣實況(日滿語)
一〇・〇〇 料理獻立
一〇・四〇 (東京より)經濟市況、時報
一一・四〇 (東京より)ニュース
一一・五九 時報(滿語)

午後の部

〇・〇五 經濟市況(日滿語)
〇・三〇 ニュース
〇・五〇 日米對抗野球試合實況(大連と同じ)
一・〇〇 (新京より)演藝(滿語)
二・五〇 (東京より)經濟市況(野球實況なき場合)
三・〇〇 (東京より)ニュース
三・三〇 經濟市況(日滿語)
四・〇〇 公示事項、ニュース(日語)
四・二〇 (新京より)滿語講座―高宮盛逸
四・四〇 日語講座―近藤喜助
五・〇〇 (ハルビンより)子供の時間
五・三〇 ニュース、番組豫告(滿語)
六・〇〇 (東京より)全國ニュース
六・三〇 講演(大連と同じ)
七・〇〇 連續講談(大連と同じ)
七・三〇 東海道演藝道中(大連と同じ)
八・三〇 時報、全國ニュース、天氣實況、番組豫告
九・〇〇 (奉天より)演藝(滿語)

京城(JODK 九〇〇KC)

午前の部(滿洲時間)

六・〇〇 (大阪より)基礎獨語講座(十六)目黑三郎
六・三〇 (東京より)神典講義古事記(三)文學博士植田直一郎
六・五一 ラヂオ體操
九・〇〇 氣象通報
一一・〇〇 時報、今日のプログラム發表
一一・〇五 歌謠曲(一)サーカスの唄(二)さらば故鄕(三)急げ幌馬車(四)希望の首途(五)南の島へ(六)並木の雨 大谷俊雄、伴奏DKオーケストラ
一一・四〇 ニュース

午後の部

〇・五〇 日米對抗戰野球試合實況(大連と同じ)
三・〇〇 ニュース、職業紹介事項
五・〇〇 お話(大連と同じ)天坊幸彥
五・二〇 (東京より)コドモの新聞、關屋五十二
五・二五 (東京より)基礎英語講座(二二)岡倉由三郎
六・〇〇 ニュース、天氣豫報
六・三〇 講演(大連と同じ)
七・〇〇 連續講談(大連と同じ)
七・三〇 東海道演藝道中(大連と同じ)
八、三〇 時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談小規
一、ラヂオに關する一切の事項
一、ハガキに限る
一、宛名 大連市東公園町滿洲日報社內「ラヂオ相談係」

昭和九年十一月
滿洲日報社

本社特選 高段新手合【其八】

平手
先 六段 平野 信助
六段 飯塚 勘一郎

【圖は六二飛迄の局面】

平野氏持駒 銀歩歩歩歩

△三三歩成 ▲五四玉
△四三と ▲同玉
△二三飛成 ▲五四玉
△四三銀 ▲同金
△六二角成 ▲五三銀打
△四四角 ▲同玉
累計八十四手

講評 土居八段

▲飯塚君はこゝで、幾分とも混戰に導びく意圖の下に五四玉と上つたのだが、敵に四三と、と嚴しく攻められたので、同玉の已むなきに至つた。
△平野君の四四角迄の手段は、最善を盡したよい攻め筋である。

觀戰記 七段 萩原 淳

◇巧妙を極むる平野氏の攻擊に、飯塚氏は、身惡戰の苦境にありながらも、よく五四玉と指して、敵もし四二と、ならば七二飛廻りの含みで、敵に飛角の交換を强要する意圖に出たのである。が、平野氏の四三と、の輕手によつて、惜しくも七二飛廻りの順を消されその上、同玉から二三飛と手順に成られ、なほ次に四三銀の好手によつてこゝに、六二角と成られては、流石力戰强豪の飯塚氏も挽回に策なく敗色愈々濃然たるものがある。

ラヂオ相談

晝間聽えぬ自己組立の受信機

【問】一、自己組立のスーパー八球(テロダイン受信機を使用中ですが、朝の七時頃から夕方四時頃迄は全く聽取出來ません。何とか聽取出來る方法はないものでせうか。改造して出來るものなれば、改造の方法を御知らせ下さい。二〇一A球使用
一、此の種受信機組立に最も有益の參考書有れば書名、發行所、價格を御知らせ下さい。(間島YZR生)

【答】一、晝間は受信感度が惡いですから、間島では京城位しか受信出來ません。
一、初步のラヂオ、ラヂオ讀本=無線實驗社編各一圓、JOAKラヂオ講義錄一圓、誠文堂發行(電々會社・係)

接續し放しても差支へないか

【問】一、アンテナアースを何時もつけて居りますが、受信機に惡影響はないでせうか。スキッチは取付けて居りません。
二、眞空管の良否及故障の見分け方を素人にわかるやうに御教示願ひます(藤四郎生)

【答】一、雷雲のある際危險ですから保安用として切換スキッチを取付けた方が良いです。
二、素人の方に出來る方法としては、受信機の相當ソケットに押込んで比較試驗するより外に方法がありません(電々會社係)

威風堂々微動だもせざる

滿洲土木建築協會の陣容

滿洲土木建築業協會は滿洲における土木建築請負業者の向上進歩を謀り斯業に關する學術技藝の研究をなし併せて同業の健實なる發達に努むる目的の下に明治四十一年（當時組合）滿洲に在住する土木建築請負業の權威者を以て組織せるに始まり、昭和三年九月組織を變更して公益法人と爲し今日に及んだものであつて、現在正會員（關東軍、滿鐵會社、關東廳、滿洲國その他滿洲における主なる事業會社の指定請負人）數實に八十名、準會員（正會員の支店出張所主任）亦百八十四名を抱擁し、新京並に奉天に分會を、鞍山、安東、撫順、ハルビンに支部を圖們、牡丹江、錦州、チチハル、北安鎭等の全滿樞要の地及び土木建築工事繁忙の地に連絡事務所を置き、以て該協會の機能發揮に遺憾なからしめ、滿洲土木建築界に多大の貢獻をなし來つた、いま此處に事業の大要を述ぶれば（一）會報の發行（二）土木建築に關する學術技藝の研究、講演、著述及び技術員の養成（三）工事用材料品質、品格の査定（四）勞銀物價工事費及び工事成績の調査（五）勞働者の善導及びその需給調節、（六）工事用材料並器具類の紹介（七）官公署並公共團體其の他に對する諸問照會事項の應答（八）使用人及工事、業員の善行表彰又は惡風の矯正（九）會員相互間に生じたる紛議の仲裁判斷（一〇）官廳並公共團體其他の依頼に應じ土木建築工事に關する諸調査又は査定並に工事監督、請負業者の推薦等で、陣容又他に冠たり、隨つて其の一擧一動は常に斯界にセンセイションを捲き起してゐる

滿洲土建界の元老
人格力量兼備の高岡組主
軍部の信頼厚きは業界第一

◇寫眞說明
（上）高岡又一郎氏（高岡組主）△（中）岡常次郎氏（岡組主）（左）渡邊俊藏氏（清水組主任）（右）長谷川萬雄氏（長谷川坂本組主）△（下右）坂本泰通氏（長谷川坂本組主）（同左）原牛次郎氏（原組主）

高岡又一郎氏は同業者に稀に見る德望家、其の證據は滿洲土木建築業協會の副會長に二期に亙つて推されてゐるのでも判る、氏は又學理の研究を實際に應用した人、本年還暦の祝ひを行ひ、特に滿洲に於ける建築界の元老でありながらその

意氣　と力の偉大さは實に壯者を凌ぐものあるは土建界に取つて洵に慶祝に堪へない、氏は明治二十四年小學校准教員を拜命して以來四十二年まで約二十年間官職に在つた、即ち明治二十八年五月陸軍教導團工兵科卒業後同三十年陸軍士官學校技術助教授となり更に三十二年に築城部函館支部を命ぜられ當時我が國の重要要塞と言はれてゐた函館要塞竝に附屬建物の設計及び工事係主任の大任を負はされ、完全に職責を果した爾來陸軍側の信望益々加はり同三十五年には工兵會議審査係に昇格したのである、かくて同三十六年東京建物

會社　に懇望されて入り、天津支店勤務を命ぜられ卅八年には新民府軍政署囑託となり、同三十九年には關東都督府、陸軍經理部に轉出、再び軍職に身を置き同四十年陸軍技手となり、四十一年には陸軍經理部大連出張所主任を命ぜられ、同四十二年遂に官職を辭して始めて請負業者となりて柳生組に入り滿鐵竝に民政部の工事に從事するやうになつた、その後十四年加藤洋行工事部主任として活躍すること十年大正八年二月藤定吉氏より工事部の營業一切を讓り受け工學士久留弘文氏と共に經營を以て高岡久留組の看板を掲げ獨立請負業を開始してゐる内

昨年　久留氏病亡するに及

で高岡組と改稱し今や滿洲の建築界は高岡氏の右に出づるものなきまでに至つた、しかし滿洲に於て土木事業に成功せるもの多きに比し建築方面は殆ど破產せるもの多きに獨り高岡組のみ燦として建築界の王座を占めてゐるのは、これ一に高岡氏の二十數年間に學理と獨立まで數年間に得た體驗及び其の人格の然らしむる處であるといはれる、書畫骨董を愛し文學に趣味を有ち批評に於ても一家言を立てゐるといふ餘裕綽々たるを見せる處他をして一層に畏敬せしめて餘りある。

堅實として鳴り
德望斯界に高き岡氏
◇…涙ぐましき出世物語

岡常次郎氏は滿洲に於て土木請負業者中立志傳中の一人として誰知らぬ者なく卓越せる手腕と圓滿なる人格は同業者中隨一と言はれるの

人物　である、氏は岡山縣後月郡玉島町に生れ當年五十三歲、滿洲の土木工事方面の重鎭として滿鐵、滿洲國、軍部方面の信望厚く業績益々擧り今や土建協會の中堅人物として今春四月同協會役員改選に際しては副會長候補に推されたほどで、來るべき改選期には當然副會長に推されるではあるまいかと協會員中に呼び聲が高い、しかし今日の地位を獲得するまでの氏の奮闘努力は實に涙ぐましい程である、明治三十二年、當時十七歲の青年であつた氏は實兄謙市郎氏の請負に係る阪鶴鐵道工事の

現場　見習として朝早くから

その後大正二年歸國して初めて本立の請負人の名乘を掲げ、佐賀縣嬉野電鐵工事、山口縣長州鐵道朝鮮鐵道工事等に於て大いに業名を高め、偶々大正七年久保田組の招聘によりて再び大連に渡り活躍したのであつたが、大正十一年保田男吉氏の歿後

原組の覇業
全滿をモルタル化の計畫
意氣振ふ原氏

原牛次郎氏は大阪府堺市に生れ

滿洲の育ての親―
福昌公司の偉大な功績
川邊重役の采配冴ゆ

頭腦の人―
大同組の湯淺氏
斯界のダークホース

建設史に輝く
鹿島組の功績！
◇…威容亦堂々

「建築の三田」
愈よ光る
組主の人格
業界畏敬の的

福井高梨・岡の―トリオ
名
福井高梨組の偉容
名聲頓に揚る

最高學府を
苦學卒業の碇山氏
伸び行く力拿よ物凄し

石材王
多田工務所
本年度供給二十萬切
若き店主の擧れ

民間の信用
他の追從を許さず
異色に富む共進組

橋梁の間組
小原主任の才腕
東洋一の松花江橋完成

智德兼備の
名將は今井組主
餘裕綽々即吟追分の妙

新制度下の滿洲國十省……(二)

濱江省

輝く北滿の寶庫

濱北、拉濱、北鐵東部の各線を含んだ農、商、工業地

【ハルビン】濱江省の新設は今度の行政區劃改正の政治上の因襲と舊殻とを打破する主旨に最も適した處置だらう、卽ち北鐵南部線拉濱線方面、東部線附近の全部、濱北線中海倫までの沿線及背後地北鐵西部線地方一部並びにハルビンを中心にして松花江上下流一部の區域は從來吉林、黑龍江兩省に分轄されてゐたが實際に於いては特殊の地域をなし經濟的にも警備上にもハルビンを中心にして一範圍と見做すのが當然である、所謂「繩張り」式に分轄して不自然な區劃から脱して實狀に卽した一區域を形成したものと言ひ得やう、殊に

經濟的中心地

たるハルビンが行政上の中心となつたことは今後の北滿開發上極めて意義深いものがあらう、濱江省に編入された地域及人口は左の通り(面積は單位滿方里)

▲ハルビン附近

縣名	人口	面積
双城	四一〇、一四三	三三、五〇〇
阿城	一四〇、四三三	一三、〇〇〇
五常	三五四、一六〇	一一、九六七
木蘭	一六六、〇六七	二一、二二〇
東興	三一、五九七	六、五六〇
巴彦	二七三、二七三	四、六二四
呼蘭	三五四、九二〇	一八、七〇四
安達	六〇、八二四	一八、二四九
蘭西	一五〇、五一〇	九、〇三三
肇東	一三六、四〇七	一四、八四九
肇州	一三六、九三六	二八、七四九

▲北鐵東部線方面

縣名	人口	面積
珠河	二〇四、一〇八	六、三〇〇
葦河	一六八、三三三	二六、七六八
賓縣	三三二、〇六八	三三、〇一四
延壽	一五〇、七六四	二三、六五〇
寧安	二六二、六一八	八八、三〇〇
東寧	一六六、一四三	四四、二〇〇
穆稜	四八、五七三	三三、〇〇〇
密山	一一七、六〇七	一三三、五〇〇
虎林	二五、九〇四	二〇、八五〇

▲濱北線方面

縣名	人口	面積
慶城	一四七、三七三	一〇、一四四
鐵驪	七、五九七	二三、〇〇〇
綏化	二三八、五三六	九、三六〇
綏稜	五七、六五六	六、三二七
海倫	二二九、八四一	一八、〇四九
望奎	一六〇、六八八	七、四四六
青岡	一四七、二二一	一〇、一四四
合計	四、三二七、〇五一	六六六、一五五

從來黑龍江省の一部として行政上ハルビンと隔絕してゐた濱北線沿線及び背後地をなす諸縣は北滿の穀倉と稱ぜられ、その特產物たる大豆の大部分はハルビン市場に送られた後各海港に仕向けられたもので經濟的に不可分の地域であるまた輸入物資に於いて同樣である北鐵東部線方面は元より言ふまでもない、その他警備上においても兩地方は既に從來ハルビンを中心として治安工作を行つたものでこの方面から見ても最も顯著な改善である

濱江省の特色は地形的に

北滿特別區

及びハルビン特別市を包含することで殊に東部線方面の如きは完全に特別區の兩側を圍つてゐる、この點は行政上却て種々不便を伴ふかも知れない、そのため特區廢止問題が擡頭してゐるが特別區は北鐵と云ふ特殊鐵道のあること、條約上の關係、外國人が多數居住すること、縣に比較して高度の文化施設が施されてゐること等複雜な事情によるもので、今直に廢止するところは困難と見做され存續するに略方針を決定した模樣だが、省公署にも總務、民政、警務、敎育の四處を置き特區公署と大體同樣の機構を有してゐるので、相互の連絡又は單一化を必要とするものも多いだらうと見做されてゐる、濱江省は北滿に於て最も人口多く產業も發達し交通至便な區域であるから北滿全般に對する經濟が中心區域として今後特色を發揮するだらう、その一部分たる東部方面が依然として治安不充分な狀態に置かれてゐるのみでハルビン附近の各縣は殆ど南滿方面とかはらぬ平穩な狀態に歸し、日本資本家の投資計畫なども續々進められてゐる、濱江省の

物產として

は濱北線方面の大豆其他農作物、北鐵東部線方面の木材、石炭等が主なるものであるが同省の特色は奥地とハルビン又は特別區との中間に位して交通の衝に當つてゐる點にある、卽ちハルビンを中心に濱北、拉濱兩線を始め夏期は船舶によつて下流三江省の各埠頭へ、上流は太賚、吉林方面に、又嫩江により江橋に通じ冬期は自動車によつて各主要地に連絡してゐる、之等交通の衝にある濱北省內の治安は奥地の開發に至大の關係を有してゐるから省新設と共に治安工作は最も急務と見做してゐる

龍江省

北部の沃野を喪ひ

南部牧畜地帶に進出

期待される鐵網道の普及

【チチハル】滿洲國行政區劃の改定といふ歴史的な政治劇に登場したゞ一人薄倖な役割を引きうけて滿場の觀客から同情の涙をそゝがれたものがあつた、黑龍江省の嗣子龍江省が卽ちそれである、曩に左翼のコロンバイル地方を興安省に奪はれ、今また右翼のアムール沿岸を黑河省に、松花江岸を濱江三江兩省にそれ〲捥ぎとられてその代償に得たものは哀れ不毛の地沙漠の洮遼七縣であつた、新區劃によれば龍江省は二十五縣で、現在の四十六縣に比較して二十一縣の減少である、卽ち一等縣では呼蘭、綏化、海倫及び克山、二等縣では綏稜、肇州、蘭西、木蘭、望奎および肇東など、經濟上の原動力たるべき各縣を失ふだけにその打擊は少くないが、伸びゆく滿洲國の前途を考ふるとき、斯かる犧牲は寧ろ當然のことであり貴き捨石にもめぐりくる春のあるを待望しつゝ記者は龍江省の片鱗を紹介したい。◇

新設省

の著るしい特色は國境線を失つたことである、アムールを隔てゝ蘇聯と相對峙し、曰く滿洲國汽船砲擊事件、曰く蘇聯兵の不法越境等々、枚擧に遑なき國境色濃厚な事件の勃發に神經を尖らせてゐる今日に比較して今後は興安、黑河、濱江、三江、奉天等各省と境を接し一望千里の北滿大平原に抱かれて夢を破ることなき理想的な平和郷が建設されるであらう。

更に新管轄縣及洮遼地方の一部を除いて完全に肅清された無匪賊地帶であり、平齊、齊北、海北の三線をはじめ、近く買收される北鐵西部線、又は敷設中の〇〇、〇〇兩線の完成と相俟つて張りめぐらされた鐵道網に匪賊の跋扈だに許されない、たゞ惜むらくは北安鎭方面の炭疽病の恐怖今なほ去らざる今日、更に洮遼地方の所謂黑死病發生地帶の戰慄を一枚加へて、傳染病省の觀を呈し、先づ衞生施設に力瘤を入れねばならぬのは笑へぬナンセンス的な特色であらう

黑河省 ◇

の新設と洮遼地方の編入はソ聯との紛爭に對する煩を避けた反面、蒙古人の增加による滿、漢、蒙三民族の醜き闘爭に再び省治の癌を擁はされた感はあるが、斯かる問題は暫く措き省の南遷は必然的に〃北滿〃の慣用語を抹消せしめ、南滿の延長として政治經濟的には勿論、あらゆる方面に利便を享有することになるであらう、卑近な一例をあげるならば朝に奉天を發した列車は夕に至るもなほ奉天省の洮南附近を驀進し黑龍江省遠しの感を抱かせてゐたものが、今後は龍江省の風光を車窓より賞しつゝ晝食をとられ得ることゝなり、北滿恐怖病患者を一掃して商人或は視察團の進出だけでも激增することは想像するに難くない、斯くの如き地理的に換言すれば時間的に南滿との接近はひいては文化の接近となり、無智なる土民の啓蒙敎化に及ぼす影響のみにても甚大であるといはねばならぬ。◇

財政難

の黑龍江省が呼蘭、蘭西、肇東、綏稜、通河、湯原などの歲入超過縣を濱江、三江、黑河三省に分割して獻じ、その後釜に熨斗をつけて貰つたのが歲出超過の洮遼七縣ときては浮ぶ瀨もない、アムール沿岸の砂金と漁業、小興安嶺一帶の鑛山脈、海倫、綏化の豐沃なる穀倉を失はれた後の產業黑龍江省はどうであるか、その主要なるものを一瞥するに

△**農業** 基本たるべき作付面積の一〇〇、〇〇〇陌以上の縣は龍江、明水、訥河、克山、拜泉の五縣に過ぎず拜泉の大豆、龍江の小麥等が大宗である

△**畜產業** 厄介視されてゐる洮遼地區も萬更捨てたものでなく、洮南の羊は五萬五千頭に達し、拜泉の牛馬とゝもに牧畜業發達の樞軸をなし、多分なる將來性を持つてゐる

△**鑛業** 訥河、嫩江附近の石炭、克東の花崗石などの非金屬鑛業があげられてゐるが、未だ開發するに至らず、金屬鑛業に至つては絕無と稱するも過言ではない

△**工業** 電氣事業が電業會社の統制下に近く入れらる、今日民營としては僅かに二三のマッチ及び製粉工場をみるのみであり、畜產業の發達と相俟つて皮革業も有望視されてゐる

斯くの如き狀態と加ふるに鐵道網の完成は必然的に商業の發達を促すべく、チチハル、北安鎭を中心とする商業都市の躍進はめざましきものがあるであらう ◇

とまれ、北は墨爾根から南は開通に至る蜿蜒數百里、滿洲國の中央に位し黑河、三河、濱江、吉林、奉天及び興安の六省と境界を接し心臟チチハルから大動脈たる嫩江或は平齊、齊北線を通じて二百萬省民に送り出す血液こそ、內鮮滿蒙露五族混血融和の特異的なものであり、我等はその成育に多大なる期待を投げかけても差支へないであらう

安取代行會社 下旬設立の豫定

柞蠶糸上場をも要望

【安東】鈔平銀廢止以來國幣のみの上場を行つて居る、安東取引所では株式上場を行ふべく代行會社設立準備を急いで居るが、資本金十二萬五千圓で此の內十萬圓は中央銀行より二分利で以て借入れる事となり、十一月下旬には設立を見る豫定である、從つて設立と同時に株式取引は安東取引所に於ても行はるゝこととなり、安東殷盛への一助として期待されてゐるが柞蠶糸の上場も集散地の面目上から行ふべしとされてをり、近く國營糸檢所の設立と相俟つて糸業發展の曉には當然上場さるゝものと期待されて居る

全滿の小賣物價 大連以外は續騰

【關東廳調査】全滿各地における十月分小賣物價を同月十五日現在により調査するに、大連が前月より八厘安と久しぶりに反落したのみで旅順以下沿線各地は何れも續騰してゐる、卽ち最高安東の二分三厘高を筆頭に營口一分五厘、奉天一分一厘、旅順は僅か九厘の騰貴である、これを前年同月に比すれば最高奉天三分一厘高、營口、安東各二分八厘高、旅順は五厘高と最低位にある、なほ指數基準の五年一月に比較すれば新京が一〇〇・八と當時より八厘高を示してゐるのみで、大連は八九・三となほ一〇・七の低位にある、各地別に表示すれば左の通り

	前月基準指數	前年同月同上	五年一月同上
大連	九九・二	一〇一・〇	八九・三
旅順	一〇一・九	一〇〇・五	九〇・二
營口	一〇一・五	一〇二・八	九六・八
奉天	一〇一・一	一〇三・一	九五・一
撫順	一〇一・七	一〇二・七	九三・五
四平街	一〇〇・五	一〇一・七	九六・四
新京	一〇〇・二	一〇一・〇	一〇〇・八
安東	一〇一・三	一〇二・八	九六・一

なほ金解禁直前の昭和六年十一月に比すれば新京は三割六分高、奉天二割七分五厘高、安東二割五分四厘高、大連二割二分三厘高となつてゐる、主要地別內容左の通り

大連 調査品目六十二種中騰貴は干瓢の二割高を始じめ鷄卵、小袖綿、朝鮮米、白米(檢査一等、無檢査一等)▲下落は澤庵(二割五分)味噌(滿洲物)淸酒(菊正)石炭の四種▲保合五十二品

營口 調査品目五十六種中騰貴は綿ネルの二割高、干瓢の一割二分五厘高を始め煉乳、鹽、鷄卵、醬油(龜甲萬)白砂糖、淸酒(菊正)晒木綿、椎茸、白米(無檢査一等)蒲團綿の十二種▲下落は金巾、石炭、木炭の三種▲保合四十一種

奉天 調査品目六十種中騰貴は玉葱、干瓢、鹽、鷄卵、椎茸、綿ネル、煙草(ウエストミンスター)の七種▲低落は石炭一種▲保合五十二種

新京 調査品目六十種中騰貴は鷄卵、白砂糖、煙草(ウエストミンスター)角砂糖の四種▲下落は玉葱、鹽鮭、石炭、鰹節の四種▲保合五十二種

安東 調査品目五十九種中騰貴は綿ネルの二割八分六厘高をはじめ豆腐、鷄卵、澤庵(滿洲物)小袖綿、椎茸、煙草(ウエストミンスター)モス、白米(無檢査一等)毛糸(內地物)石油、蒲團綿の十二種▲下落は石炭一種▲保合五十六種

佛國の二財閥

對滿投資に合流

【新京電話】對滿投資の目的を以て今春フランスのド・リヴイエ氏の來滿により佛國海外發展協會と滿鐵との間に諒解成立した日佛對滿事業公司は、現在のところ何ら活躍をなしてゐないが最近に至り米國產業視察團の來滿あり、對滿投資の有望であることが益々確實となつて來たので、この度大使館への情報によればフランスにおける有力なる財閥と目せらるゝ興業金融組合並びにモアラン會社も海外發展協會に合流し大いに對滿投資に活躍することである

衰勢著しき ソウェート貿易

三年間に實に半減

【ハルビン】蘇聯邦の外國貿易は一九三一年以來逐年減退を示し左の如き趨勢を遮つてゐる(單位千留)

	輸出	輸入	合計
一九三一年	八一一、三一〇	一、一〇五、〇四四	一、九一六、三五四
一九三二年	五六三、六四四	六六三、六四三	一、二二七、二八七
一九三三年	四九五、六七六	三四八、八三六	八四四、五一二

而して一九三四年度上半期に於ては更にこの傾向は甚だしい、殊に輸入の減少率が益々增大しつゝあるのは注目に價しやう、今昨年度同期と比較すれば

	三四年上半	三三年同	減少
輸出	二八一、四二四	三一四、五七一	三三、一四七
輸入	一一〇、五九四	一九〇、〇一四	八〇、四二〇
合計	三九二、〇一八	五〇四、五八五	一一二、五六七
出超	一七〇、八三〇	一二四、五五七	[illegible]

國別に見ると對獨貿易が第一位を占め輸出三千三百五萬七千留で輸出に於て一千四百七十萬留、輸入に於て八千二百七十六萬留の何れも減少、對英國は輸出三千三百五十六萬三千留、輸入二千百五十三萬九千留で輸出において百七十九萬留の增加、輸入において三百二十八萬二千留の減少を示してゐる

之に次で佛國、和蘭、伊國の順位である、對亞細亞貿易は外蒙共和國への輸出一千六百八十六萬留、輸入六百十八萬五千留を首位とし波斯、烏梁海、日本、支那の順位であるが特に外蒙及び烏梁海への輸出が激增してゐるのは注目されてゐる、對米貿易は輸出六百五十二萬一千留、輸入八百七十七萬八千留で前者に於て十萬留、後者に於て三百十三萬留の增加を示してゐるが對歐洲諸國貿易に比しては遙かに振はない、輸出品の主なるものは石油及同製品を首位とし木材、毛皮、小麥其他雜穀、肥料、石炭の順序である、輸入品は各種機械類を首位とし鐵及有色金屬並にその製品、生ゴム、茶、羊毛その他である、石油の輸出は之亦昨年同期に比し激減し左の通り(單位噸)

	數量	金額
三三年上半	二、五三三、九二一	四四、九三七、〇〇〇
三四年上半	一、三三六、六八〇	三一、一一三、〇〇〇

特に金額に於て千三百八十三萬五千留を減じてゐる、主なる仕向國は佛、西、獨、米、瑞典、白耳義國である、日ソ貿易は左の通り(ソ聯外國貿易人民委員部發表、單位千留)

	三四年上半	三三年間	減少
日本から	七二	八〇三	六二
ソ聯から	一、七六二	二、八〇四	一、〇四二
合計	一、八三四	二、七〇六	一、一〇三

卽ち日ソ貿易も本年上半期は極度の不振にあるが主なる品目は日本からの輸出は茶、汽罐及機械類、金屬製品、艦船類及附屬品等で日本への輸入は石油、石綿、魚類、化學及藥劑製品等である

週間經濟 二十八日―二日

二十八日(日曜)日支諸懸案解決のため蔣支那駐日公使は愈々積極的工作を起す模樣にて我當局も好意的に折衝の旨入電
◇北支問題で蔣介石氏近く柴山武官と會見の旨入電
◇北鐵交涉成立を前に最近ソ聯の車輛盜引千五百餘萬金留に上る
◇赤峰にも輸入日本品に對し落地稅を賦課する旨熱河省稅務監督署赤峰出張所より諒解を求めたるに對し我赤峰領事館は婉曲に拒絕せる旨入報す
◇大藏省十年度經常部歲入決定總額十三億三千三百萬圓に決定

二十九日(月曜)大連中央卸賣市場の場外取引益々甚しく市今後の取締方針注目さる
◇滿洲パルプ會社では安圖、撫松、濛江三縣の材積を空中調査の結果二億三千七百餘萬石と判定
◇十一月三日より三日間朝鮮物產展示會を新京、ハルビンで開催
◇日本海員組合本部より停船命令來り大連在滯O・S・Kの船舶出帆を見合す
◇藏相は愈增稅決意の旨入電す
◇大藏省は軍部の十年度豫算九億四千萬圓のみを承認の旨入電

三十日(火曜)日本海員組合の爭議は本日解決の旨入電、本爭議の原因は前回爭議の解決案を大阪商船のみ實施せざるに起因せるも複雜なる內紛問題ある由傳へらる
◇藏相增稅決意に對し一般金融界は政府のインフレ方針に底が見えたといふ感を抱きデフレーシヨンへの轉向を非常に警戒し出した模樣にて藏相への信賴を失はんとする傾向顯る
◇特產出廻期に入り內地向運賃上向く
◇大連揚げ臺灣バナナは今年度廿萬籠にて今後は增加を豫想さる
◇日滿合辦滿洲滑石股份有限公司に內紛生じ滑石業の統制危惧さる
◇滿洲石油會社の年產額は差當り十二萬噸と見らる

三十一日(水曜)增稅說に怯え各市場諸株一齊崩落を傳ふ
◇新京手形交換所開業す
◇奉天、南滿方面の棉花收穫は昨年より二、三割增收を豫想され相場は一割二、三分方昨年比高にて農民を喜ばせてゐる
◇日滿郵便爲替條約の細目協定成立す

一日(木曜)日本の石油業法に對し米國の抗議について目下關係當局にて審議中であるが、英米石油會社を誘致して內地に內外石油會社共同出資の石油會社を設立し內外石油會社をして均しい立場から石油業法に服せしむる模樣の旨入電
◇新京土建界は依然殷盛にして最近の許可累計一〇七六件に達す
◇增稅說に對し起債市場怯え滿鐵社債覺束なき模樣
◇米國大豆二、三割增收を傳ふ
◇北鐵特產輸送最近の成績は拉濱線を壓倒す

二日(金曜)淸津埠頭を出庫指定地とする京圖、圖寧、拉濱各鐵道沿線の特產混合保管は十二月一日より實施するに鐵路總局と滿鐵北鮮管理局との交涉成立
◇大連稅關事務改善座談會開催さる

迷宮入りの四人殺し

痴情による怨恨！子供と知合ひか

三人の口を叩き割つた譯は萬一の自白を恐れて

犯人は滿人か？日本人か？また原因は怨恨か？痴情か？右の疑問符は如何にして解かれるのか、現在見込み捜査の中心となつてゐる諸點は次の如くである

▲日本人と思惟される點

一、犯人はその足跡より少くとも屋内では裸足であつた――滿人は裸足は殆んどなし、又日本人といへども當夜は北風強く降雨中であつたので、足袋すらはいて居なかつた點より附近居住の日本人ではないかとの見込み

二、奥八疊に座布團が出されてあり、電氣コンロにニユームの藥罐がかけてあつた――電氣コンロには點火され、湯は全部蒸發してゐたが、これは被害者萬壽子と面識ある日本人が訪れたためではないかとの見込み

▲滿人と思惟される點

一、殺人手段の殘虐なる點

二、妻萬壽子、長女美美枝の局部に傷を加へてある點――これは滿支人間に考へられてゐる最大の侮辱

三、計畫的な殺人で、兇器に斧を選んでゐる點

右の外妻萬壽子、次男壽、長女美美枝の三名が何れも口を斧でたゝかれてゐる點より犯人は被害者達が蘇生して犯行について語ることを極度に恐れた模樣があり、この點より犯人は被害者達がよく知つてゐる人物と思はれ、又午後十時過ぎに訪れたのを萬壽子がこれを迎へて座布團をすゝめ、湯をわかしてゐる點より相當深い關係にあるものではないかとも思はれ、又犯人が兇器を自ら持ち來つてゐる點より計畫的であることは明らかであるが、萬壽子と相當深く知る間柄でありながら計畫的殺意を持ち、主人の留守を狙つたこと等より痴情による怨恨說が目下有力である、が謎は餘りにも複雜化されて判斷するものを苦しめてゐる

當局は不眠不休 而も手懸りは皆無

マンホールの總浚ひ

木枯し吹きすさぶ二日午前零時過ぎ突發した聖德街親子四人殺し事件は久しく殺人事件を耳にしなかつた市民に戰慄の霰彈を浴せかけたが、その後二晝夜半に亘る所轄署沙河口警察署全員の必死の努力も何等酬いられる處なく、僅かに單なる「流し」の强盜が犯した殺人說が葬められたのみで、滿人か日本人か、又犯行の直接原因は痴情か？怨恨か？これ等の疑問は依然として渦卷いてゐる、血面の冷笑者犯人は、何處の屋根の下に潜んでゐるのか、捜査本部たる沙河口署司法室には三日四日の祭日、日曜にも拘らず、中澤司法主任はもとより池内首席檢察官、千葉本廳捜査主任、廣石署長等がつめきつて第一線よりの快報を待ちわびてゐるが、中澤主任は非番巡査を召集し、四日午前十時より土木課の應援を求めて全市のマンホールを調べ、血に染められてゐるであらう處の犯人の衣類を捜査すべく第二段の活動を命じ、二晝夜半に亘る不眠不休の活躍が何の程度の手がゝりを得るか、謎の扉は打ち閉ざされたまゝ事件はいよいよ獵奇の彩を濃く彩ごつて行く

（寫眞はマンホールの捜査）

新京の愛國婦人會が敬老と孝子節婦表彰

日滿親善を婦人の手よりといふ理想の下に愛と力により活躍しつゝある愛婦新京支部では、三日の佳節を卜し午前十一時より新京商業講堂において敬老と孝子節婦の表彰並に愛婦有功章傳達式が盛大に行はれた（寫眞は孝子節婦の表彰式と表彰された節婦と孝子、向つて右より關相強、辛于關、矢野よし女）

謎のS・O・Sは中國汽船か

所在未だに判明せず

大連無線入電によれば、二日午前八時五十分鎭南浦出帆大連に向け航海中の中國汽船同福號は同日午前八時四十分東經百三十五度北緯卅五度四〇の地點に於て浸水のため遭難行方不明となつた、目下手配中であるが所在不明で本紙夕刊既報の「謎のS・O・S」は同船から發せられたものと思惟される

工專寮祭

三日賑かに

南滿工專自治寮では三日寮祭を催した、南北寮の階上階下二十室はそれぞれ趣向を絞つた飾り物に飾られ階段廊下も隙間もなくポスターが貼りめぐらされ、この種の催しの珍しい大連では玄關の萬國旗アーチを潜るものなか〳〵多く、午前九時より正午過ぎまでに既に子供を除いて二千五百名を超えた、金ボタンがサービスする食堂も滿員盛況を示した、室内裝飾は各室競爭で一般から銓衡投票を募つてゐたが、眼立つたのはその思ひ付やギヤグがすべて通俗なナンセンスに終始してゐることで、時代傾向の學園への反映を如實に示してゐた

妙な投身自殺

濟通丸の騷ぎ

これは又變つた投身自殺――三日午後六時頃安東より入港した濟通丸の檢疫中投身自殺した滿人があつたが、原籍山東省莒縣潘月輪（五三）で、原因は同人が同船中の蔡范氏（二三）といふ娘が用便中扉を開いたことから同行の李瑞動（六二）黃鳳濤（四二）の兩人が憤慨「只ぢや置かねえ」と罵倒したところ後難を恐れて投身したらしいが、この話を聞いて矢張り同船中の周錫剛（五二）といふ安東の博徒の親分がどうした譯か發作的に氣が狂ひ出し海中へ飛込まうとしたので船員五、六名が取押へ水上署へ突出したが妙な因果關係で留置された周は留置場でうわあ〳〵となつて署員を困らせてゐる

全く跡を絶つた東部線の匪禍

技術事故が僅か一回

【ハルビン特電四日發】北鐵東部線は本年春から夏にかけて列車顚覆事件頻發し殆ど運行不可能の狀態にまで立至つたが、九月以來全くこれ等不祥事件は跡を絶つに至つた、路警處の調査に依れば顚覆事件その他匪賊被害の最も多かつたのは穆稜、石頭河子間で地形上匪賊に最も好都合なためであるが警察總隊其の他巡警の徹底的討匪により今では殆ど四散し僅かに海林、山市間に多少賊がゐるが統制を缺き何事も出來ない狀態にある右によつても從來の匪禍は赤系從業員が指揮したことが明らかで穆稜、石頭河子間で逮捕したこれ等赤系一味は數十名に上つてゐる、近時林區において自警團を組織し積極的に匪賊討滅を實行したのも掃匪に絶大な效果があつた、最近は十月末に技術的理由で顚覆事件が一件あつたばかりで、匪賊の襲撃事件は跡を絶ち東部線は全く秩序を回復した

駈落の破戒僧 內地から護送

人妻と駈け落ちした破戒僧が姦婦と同道若松署員に護送され四日入港たこま丸で滿洲へ逆戻りして來た、長崎縣西彼杵郡西浦上村生れ黑龍江省北安鎭驛前川俣末男（二五）の內緣妻村山さく（二三）は大分縣南海部郡直見村生れ北安鎭北安寺僧侶下川智玄（二七）と戀に陷り、川俣の金五千餘圓を拐帶して、兩人は駈落、福岡縣若松市に夫婦氣取りで愛の巢を營んでゐたところチチハル領事館の手配により去月三十一日若松署に逮捕されたものである右犯人の引渡を受けた大連水上署の取調べによると裏面にはさらに複雜した事情あり、さくは北安鎭で料理屋を開くべく夫と相談の上若松へ女を探しに出掛けたもので、智玄とは偶然道伴れになつたに過ぎないと述べてゐるが、なほ一應取調べの上兩名は午後九時發列車でチチハルへ護送された（寫眞は護送の兩名）

奉天署に謝電

【奉天電話】奉天署に於いては曩に七人組强盜團を檢擧したが、之に對し大場警務局長より立川署長宛て左の如き謝電が寄せられた

周到なる計畫の下に嘗て附屬地內に於いて兇暴を逞うした首魁以下七名の匪團を檢擧され、し勞を多とす

北鐵圖書館長が不穩文書出版

出版法違反で悶着か

【ハルビン四日發國通】曩に不穩文書の集散所赤化宣傳の策動所の廉で閉鎖された北鐵中央圖書館は爾今斯る行動は絕對にせずとの一札を入れて再開してゐたが、同館長ウストリロロフ博士は去る八月頃「吾人の時代」の表題の下に眞向から白系露人に惡罵を浴せ、日滿兩國の政策を批評し最後に階級なき社會の點で無條件にソ聯邦を謳歌した書籍を出版し、之を頒布したこと暴露、警察で嚴重に取調べられる一方、家宅搜査を受け不穩文書を押收されたが、ウ博士は右書籍は上海で出版したと稱してゐるが事實は官憲の眼を晦ますため書籍の表題の下に上海出版としたのみで、相當の運動資金を投じてハルビンで秘かに出版したものと判明、治安維持出版法違反に抵觸する問題として一悶着は免れぬ事となつた

表彰金を傳達

【新京電話】新京地方事務所、總領事館及び新京居留民會ではさきに合同で村上久米太郎氏に對する表彰金を募集したが、四日午後二時三十分より村上氏の出席を求めて新京地方事務所に於てこれが傳達式を擧行した、なほメトロ社ではさきにわが外務省を通じて村上氏に對し五百圓の表彰金を傳達方依賴して來たが、これも同日村上氏に傳達された

海軍將校養成

滿人青年を選拔

【新京三日發國通】滿洲國海軍將校養成のため最初の試みとして今回軍政部で中等學校卒業程度の學歷を有する十六歲より二十歲迄の滿人青年を四名選拔して世界の海軍國日本で四ケ年間實地研究を行はせることゝなつた、この選拔試驗は明年一月十五、七、八、九の四日間軍政部と駐日公使館の二ケ所で行はれ、三月中に銓衡を終り兵科士官候補生二名、輪機科軍需科士官候補生一名を決定四月上旬赴日せしめ、東京高等商船學校初め海軍特科諸學校、海軍經理學校において夫々專門教育を受け、卒業後は滿洲國海軍の第一線に起つて活躍するものである

〃醜學校〃の名付親 白木屋店主謝まる

謝罪廣告で一段落

曩に大連市內中等學校では一中の奈良中佐考案に依り國防的見地より一齊にカーキ色制服制帽を着用せしむることに決し、市內製作者（大連工業會社、滿鐵消費組合、勝又洋服店、白木屋洋服店）の間に協定を結び、各校一樣に同質同型たらしめることゝしその製作方を依賴したが、九月下旬學校職員の檢査員が製品檢査の結果白木屋洋服店の納品が不合格となつた爲め悶着を生じ其の成行は注目されてゐたところ、果然去る三十一日某新聞紙に掲載された白木屋の學生服值下廣告文中〃大連醜學校〃と題し暗に大連中學と實業を諷し如何にも大膽極まる文字が公然と掲げられ、これがその後二日間に亘り連載されて、二日は西部大連方面に同一のビラ刷りを配布し公然挑戰するに至つたゝめ、大連中等教育界に異常なセンセイションを捲き起すに至つた

白木屋が斯の如き挑戰に出た直接的動機としては去九月の檢査に依る不合格の爲め納入出來なくなつたことにも依るが、內地毛糸相場は本年五、六月頃迄は二圓八十錢前後のものが目下約一圓八十錢に下落してゐるため自家工場製作では三號型冬服は一着十圓五十錢で出來るにも拘はらず、合格品が十四圓であるのはその間種紗ブローカー佐藤太三郎商店が介在し、不當なる中間値上をなすためとし、而も檢査の結果不合格になつたが大連中學、實業の二校のみこれを默許せず既に學生が着用し汚れたる制服をも突き戾して來たのみならず、某檢查官が〃白木屋製品は佐藤商店より羅紗を購入しないから〃と云ふ如き態度に憤慨したもの〻如くである

醜學校と刻印付けられた大連中學實業兩校當局では二日午前十時頃福島實業校長、池田大連中學校長は市役所を訪問岡野助役、吉野總務課長と會見の上羅紗ブローカーと結託云々を打消し諒解を求むる一方、午後三時より二中校長室に於て緊急中等學校長會議を開き福海白木屋店主を招致して責任を追究するや、白木屋側では行き掛り上これに對し相當强硬な態度を示したが結局不利と見て謝罪の意を表し、且つ近く謝罪廣告を出すことを誓ひ事件は一先づ解決した

張大臣を擁し和かな懷舊談

【東京特電四日發】來朝中の滿洲國實業部大臣張燕卿氏は學習院の出身であるが、四日學習院の先生達に招かれ、東京會館で和やかな美しい懷舊談に耽つたが、張氏は奈良大將の斡旋により黎元洪氏の子息と共に入學したので、當時保證人となつて世話した瀨川秀雄博士は

張君は頭がよく稚氣もあり、學校の成績も大變良かつた

盛況を極める美術家協會展

きのふ蓋開けの第一回滿洲美術家協會展は十一月のカレンダーなめくつても猶珍しき好天續きと日曜に惠まれ、朝來本社講堂會場には續々觀衆の姿を加へ滿洲の洋畫家連をオール・スターキヤストとした展覽會だけに我等が美展の雰圍氣を包はしつゝ盛況を極めてゐる

殊に近年著しき滿洲畫壇の進展は各種の畫傾向に研究の技を伸ばした力作を綜合して年々質的に固まりつゝある全貌が見える中でも會員達の努力目覺しく稻葉氏の色彩豐かな玩具の鄕土色後藤氏の牧歌的東陵の廢墟、境野氏の滿洲の感覺に基調したビユリズムの仕事、二瓶氏の達者な技巧、高橋氏の森のフアンタジー、市村、山城氏の洗煉された色彩小品、檜原氏の躍動的な元氣な畫面、久留島氏の質感を生かした風景、杉野氏の氣のきいた版畫、長谷川氏の紀元型の味を見せた花、永原氏の寫實傾向、大森、池田氏の大作を揃へて在滿畫人の氣を吐いてゐるなほ會期は八日まで…。

光暢師を迎へ東本願寺法要

……と嬉しそうに述懷してゐた

若狹町東本願寺別院では左記の通り大法要を同派管長大谷光暢師及裏方の臨場を得て親修する筈、尙ほ歸敬式希望の人は至急申込まれたしと

御遷佛慶讚法要　十一月九日午後二時

闡德法要（死亡者追弔會）　十一月十日午後二時

眞宗婦人會大會　十一月十十午後三時

歸敬式　十一月十日午前七時

尙ほ九日午後七時より河崎隨行布敎使の記念講演がある

浮世繪展覽會

埠頭圖書館で

埠頭圖書館、日出町圖書館合同主催の「浮世繪展覽會」は埠頭圖書館にて開催されてゐるが、大連圖書館が秘庫を開いて提供した優秀版畫二百三十七枚、畫集資料百五十冊を中心に市中好事家の出品を合せて出陳四百三十七點の多數に及び一般愛好家の參觀鑑賞する者每日約四百名に達してゐるが、會期はなほ五、六、七の三日間を餘してゐるので未觀の向は此の機を逸せず鑑賞さるゝやう兩圖書館では希望してゐる

損失七百萬圓

【ハルビン四日發國通】最近の調査によると北鐵は六ケ月間に約七百萬圓の損失を蒙つてゐる

けふのメモ

▼太宰府神社萬靈祭　連鎖街元ゴルフ場跡の新神社に於いて

▼コクテール・パーテイー　午後五時より福本稅關長官邸に於て

▼浮世繪展覽會　午前九時より埠頭圖書館に於いて

▼圖書館週間　七日まで市內各圖書館に於いて

▼五果會美術展　午前九時より社員俱樂部に於いて

安樂椅子

一日夜水上署に現れた男「私は殺されさうです助けて下さい」と顏色を眞靑にして歎願するので驚いて取調べると、三重縣四日市東八幡町一七八三賀縣籍（ブローカー）大澤秀一（三二）といふ人物。

……◇……

新興の滿洲で一旗揚げて大實業家にならんと遠大の理想を抱き年老た母と妹を故鄕に殘し、滿洲は匪賊が多いから氣をつけろと散々威かされつゝ一日入港の香港丸で大連の土を踏んだが、この男生來餘程の小膽者と見え上陸第一歩に支那人を見て驚きながら大連の町を歩く中、會ふ支那人每にその全部が匪賊ではないかと心配し出し、それが昂じた揚句遂にキ印になつたものと判明した。

……◇……

所でこの男、保護室に入れられるや、既にツムジをまげ「私は死刑になることを覺悟してゐますから食物をとりません、その代り早く外に出して下さい」と頑張り出し、一日夜うどん一杯を喰つた切り、何をやつても受けつけずハンストを敢行して居るので流石の保宿も大弱り。

由比正雪 (77)

悟道軒圓玉 演　武田一路 畫

睨んだ千兩

怪しい旅人は額を叩いて、

「こいつア宜い。併し何れほど歩きなさるネ」

傳達はうろさゝうに、

「さうだのう、一日に二十四五里は歩むことも出來るであらうか」

「二十四五里、それでは自慢する程のことはれえ」

「さうか。お前はもつと歩むか」

「さやうさ。江戸を立つて其の日の泊りが駿府だれ」

「何だ。江戸を立つて其の日の泊りが駿府(靜岡)だと。これ江戸から駿府までは四十八里あるぞ」

「それは言はず共存じて居ります。足の早いのは自慢だ。先づ京都まで二晩泊り、百三十里ありますぜ、一昨年の暮のことでしたが江戸から長崎へ往つた時には五日かゝりましたが、此の時は草臥ました」

「大仰なことを言ふナ」

「先づ三十五六里ならば屹度歩いて見せます。ところで御出家さま、お前さんは增上寺の坊さんだれね。それは袈裟で判ります」

「ハ、ア、さうかナ」

「して、今日の晝食は何處にしますれ」

「さうだの、戸塚か、それとも平塚か」

「平塚などで晝食をするやうな料簡では長道は出來ねえ。私は小田原が晝だと思つて居ます」

「馬鹿な事を云ふナ。江戸から小田原まで二十里以上ある」

「二十里あらうが三十里あらうが晝飯は小田原が宜うがせう」

「江戸を拂曉に出立したとは申せ、二十里離れた小田原が晝食とは大きな法螺だな」

旅人はアハヽと笑ひ、

「法螺ではございません、これは眞實さ。同じ食物でも小田原は萬事江戸前で私共の口にしつくり合ひます。それに領主は大久保加賀守樣、德川の譜代大名で、高は十一萬石、今の殿樣は江戸ッ子ですから、町も江戸のやうに出來てゐます。急いで小田原へ行つて美味い物を食べませう」

話しながら宛つて來たは戸塚の宿。

「御出家さま御覽なさいまし、此所が武藏と相模の國境、燒餅坂に權太坂、信濃坂を戸塚の三坂といひます」

「お前は東海道の地形は詳しいナ」

「それは詳しい譯です、一月に二三度往來しますから。時に御出家さま、あなたは大金を持つてゐますれ」

傳達はこれを聞いて、さてはおれの察した通り此奴は胡麻の蠅だナ。さて油斷はならぬ

「イヤそれはお前の目違ひだ、わしは坊主のことゝて大金を持つてゐる身分ではない」

「隱すだけ詐しいや、お前さんは大金を持つてゐる。その證據には草鞋を見れば判ります」

傳達はびつくりして、

「ハヽア草鞋で判るかナ」

「それは判りますとア。大金を持つてゐると足の前に力が入り、從つて草鞋の前壺が早く切れますから隱す事は出來ません」

「ウーム成程、道によつて賢しとやら、然しこんな事は愚な方が宜い。併し何程持つてゐるかそれは判るまいナ」

「さうですれ、二百兩や三百兩ではなからう、その振分けの包には五百兩宛入つてゐるかナ」

傳達は眼を圓くしてヂッと職人を見詰めたが、

「恐ろしい奴だ。いかにもお前の察しの通り千兩持つてゐる」

「たうとう白狀したれ。正直に言つてくれゝば私も嬉しいや」

「お前は道中を荒し廻る胡麻の蠅だナ、何うだ、おれの睨んだ眼に狂ひはあるまい」

「冗談云つちやア叶けねえ。私はそんな者ではござんせん。とは云へお出家さま、人を見たらば泥棒と思へと云ふこともあり、まア〳〵私を泥棒だと思つて、一緒にお出でなせえ」

なぞと話しつゝ、藤澤の宿も後にして馬入川を渡り、これから小田原の城下に入つて來た。